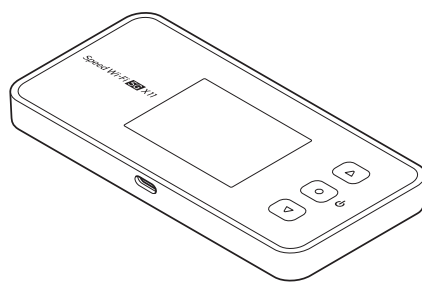


Speed Wi-Fi **5G** X11

User Guide 取扱説明書 詳細版



機能とサービスの読み替えについて

ご契約内容により機能とサービスが異なります。

以下の内容をご確認いただき、本製品をお使いください。

項目	au をご契約の場合	au 以外の WiMAX 事業者をご契約の場合
お問い合わせ先 アフターサービス ・ 修理を依頼されるとき ・ 故障紛失サポート	巻末の「au サポート」参照	ご契約された WiMAX 事業者へお問い合わせください。
au 世界サービス対応 海外利用	対応あり	対応なし (国外での使用はできません。)
FCC	FCC 準拠	対応なし
国際ローミング、UTMS 方式	機能あり (海外利用時)	機能なし (国外での使用はできません。)
au IC カード (SIM カード) の種別	au Nano IC Card O4 LE	au Nano IC Card O4 LE U
周辺機器	X11 クレードル TypeC 共通 AC アダプタ 01 TypeC 共通 AC アダプタ 02	X11 クレードル TypeC 共通 AC アダプタ 01U
	NAR01PUA (別売) O601PQA (別売) O602PQA (別売)	NAR01PUU (別売) O601PQV (別売)

本書では、特に記載のある場合を除き、au および au 以外の WiMAX 事業者を総称して「通信事業者」と表記しています。

ごあいさつ

このたびは、Speed Wi-Fi 5G X11（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

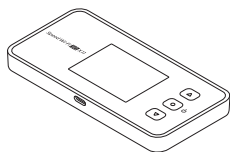
ご使用前に『取扱説明書 詳細版』（本書）をお読みいただき、正しくお使いください。

本製品の取扱説明書として、同梱の『つなぎかたガイド』および『ご利用にあたっての注意事項』、『取扱説明書 詳細版』（本書）をご用意しています。本書ではこれらを総称して『取扱説明書』と表記します。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

- Speed Wi-Fi 5G X11 本体



- つなぎかたガイド

- ご利用にあたっての注意事項（保証書）

※ 保証書を含め同梱品は大切に保管してください。

※ ACアダプタ・USBケーブルは同梱されていません。指定の充電用機器（別売）・USBケーブル（市販品）をお買い求めください。詳しくは、「11-4 周辺機器」（▶ P.116）を参照してください。

※ 電池は本製品に内蔵されています。

※ 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■ 『つなぎかたガイド』

本製品をお使いになるための、主な機能の主な操作および設定のみ説明しています。

■ 『ご利用にあたっての注意事項』

初めてお使いになる前に必要な情報や注意事項を説明しています。

■ 『取扱説明書 詳細版』（本書）

本製品のさまざまな機能や操作および設定をより詳しく説明しています。



■ 『取扱説明書』ダウンロード

- 最新の『取扱説明書』のPDFファイルは、WiMAX Support Information ホームページからダウンロードできます。

<https://www.necplatforms.co.jp/support/wimax/x11/index.html>



- ※ au ホームページからもダウンロードできます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Setup Guide" and "Notes on usage" from the WiMAX Support Information website (available from approximately one month after the product is released).

- 『つなぎかたガイド』（英語版）と『ご利用にあたっての注意事項』（英語版）をWiMAX Support Information ホームページに掲載しています（発売約1ヶ月後から）。

Download URL :

<https://www.necplatforms.co.jp/support/wimax/x11/index.html>

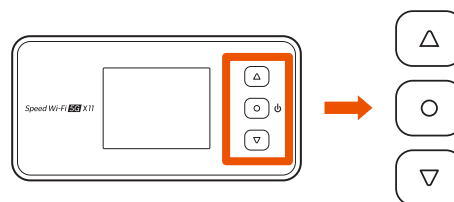
- ※ au ホームページからもダウンロードできます（発売約1ヶ月後から）。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

◎本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

◎本書では、操作手順を以下のように表記しています。

- △ボタン：ディスプレイのメニューや項目を上方向にカーソル移動して選択する
- ▽ボタン：ディスプレイのメニューや項目を下方向にカーソル移動して選択する
- （電源・決定）ボタン：ディスプレイのメニューや項目を決定する

【表示例】

[端末情報] で ▽ と ○（決定）ボタンを使って、「認証情報」を表示する



▽を押すと、次の認証情報画面を表示します

○を押して、「ホーム画面に戻りますか?」画面で、「はい」を選択・決定し、ホーム画面に戻ります

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

◎本書では「au Nano IC Card O4 LE」（au をご契約の場合）、「au Nano IC Card O4 LE U」（au 以外の WiMAX 事業者をご契約の場合）の名称を「SIM カード」と表記しています。

◎本書は特に記載のある場合を除き、SIM カードを取り付けた状態の画面表示・操作方法などの説明内容となります。

◎本書に記載されているイラストや画面は、実際の製品や画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◎本書では本体カラー「チタニウムグレー」の表示を例に説明しています。

◎本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、® マークを省略している場合があります。

読み替えについて

ご契約内容により機能とサービスが異なります。

詳しくは巻頭の「機能とサービスの読み替えについて」(▶ P.1)を参照してください。

本製品のご利用について

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意（必ずお守りください）」(▶ P.7)をお読みの上、正しくご使用ください。
- 故障とお考えの前に、本書の「11-2 故障とお考えになる前に」(▶ P.113)で症状をご確認ください。
- 通信中は、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。
- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。（ただし、5G 方式、LTE 方式、WiMAX 2+ 方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- au 以外の WiMAX 事業者をご契約の場合、本製品は国内でのご利用を前提としています。国外での使用はできません。（If you subscribe to the WiMAX operator other than au, this Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）
- au をご契約の場合、本製品は au 世界サービス対応の機種ですが、「取扱説明書」で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「本製品の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客さまが利用されている本製品の IMEI 情報を自動的に通信事業者に送信いたします。
- au をご契約の機種で海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらにより生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）の回収にご協力ください。au ショップ／au Style など本製品の回収を行っております。
- 本文中で使用しているイラストはイメージです。実物とは形状が異なる場合や、一部省略などがあります。ご了承ください。

※本書で表す「当社」とは、ご契約された通信事業者および製造元（NECプラットフォームズ株式会社）を指します。

- ◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ OS の仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- ◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

目次

機能とサービスの読み替えについて	1
ごあいさつ	2
同梱品一覧	2
取扱説明書について	2
本書の表記方法について	2
読み替えについて	3
本製品のご利用について	3
目次	5
注意事項	7
安全上のご注意 (必ずお守りください)	7
材質一覧	9
取り扱い上のご注意	9
無線 LAN (Wi-Fi®) / Bluetooth® 機能について	11
電波障害自主規制について	12
高調波電流規制について	12
各種暗証番号 / PIN コードについて	12
マナーも携帯する	12
1章 ご利用の準備	
1-1 本製品の使いかた	14
ご利用になる前に	14
スマートフォンなどの通信機器との接続	14
1-2 各部の名称と機能	15
本体	15
クレードル (別売)	17
1-3 SIM カードについて	18
SIM カードを取り付ける	18
SIM カードを取り外す	18
1-4 充電する	19
指定の AC アダプタ (別売) を使って充電する	19
充電時間	19
電池残量	19
ロングライフ充電	20
1-5 電源を入れる / 切る	21
電源を入れる	21
電源を切る	21
再起動する	21
画面をロックする / 画面ロックを解除する	21
1-6 端末情報を確認する	23
電話番号などの端末情報の確認方法	23
1-7 あらかじめ確認してください	24
接続端末の準備	24
2章 基本操作	
2-1 基本的な操作を覚える	28
ボタン操作	28
数字を入力する	28
2-2 クイック設定 Web について	29
クイック設定 Web を起動する	29
クイック設定 Web のトップページ	29
詳細設定にログインする	30
詳細設定のトップページ設定画面	31
3章 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続 / USB 接続	
3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する	34
ディスプレイメニューで Wi-Fi 情報を確認する	36
設定ウィザードを利用して無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する	36
Windows パソコンを接続する	39
Mac を接続する	40
スマートフォン / タブレット (Android™ 端末) を接続する	41

iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を接続する	44
ゲーム機を接続する	46
WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続する	47
3-2 USB で接続する	48
USB 接続モードについて	48
Windows パソコンに USB で接続する場合	48
Mac で USB 接続する場合	48

4章 WAN 側回線の接続設定

4-1 WAN 側回線接続	50
新規にプロファイルを作成する場合	50
4-2 通信モードを切り替える	51
「プラスエリア (+A)」モードに切り替える	51
「プラスエリア (+A)」モードを利用規制する	51
「ワンタイム +A」モードに切り替える	52

5章 便利な機能

5-1 5GHz 帯で利用する	54
5GHz 帯と 2.4GHz 帯を同時利用する	54
5-2 スマートフォンアプリを使う	55
「NEC WiMAX +5G Tool」をダウンロード / インストールする	55
接続設定ウィザード	55
情報表示	56
設定	58
休止状態から起動する (リモート起動)	60
お知らせ機能	61
5-3 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う	62
設定方法	62
5-4 ECO 機能を使う	63
自動省電力設定	63
省電力モード	64
5-5 データ通信量推移を確認する	65
データ通信量推移を表示する	65
5-6 データ通信量で通信を制限する	66
通信停止画面から通信を再開する	66
5-7 その他の便利な機能	67
IP パケットフィルタリング	67
ポートマッピング	67
UPnP 機能	67
ブリッジモード	67

6章 セキュリティ対策をする

6-1 セキュリティ機能について	70
セキュリティ機能について	70
暗号化	70
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	70
MAC アドレスフィルタリング機能	71
プライバシーセパレータ機能	71
アドバンスド NAT (IP マスカレード / NAT)	72
不正アクセス検出機能	72
ダイナミックポートコントロール機能	72
6-2 初期パスワードの変更について	73
クイック設定 Web でパスワード変更	73
スマートフォンアプリの管理者パスワード登録	74

7章 工場出荷時の状態に戻す (初期化)

7-1 ディスプレメニューで初期化する	76
ディスプレイメニューで初期化する	76
7-2 クイック設定 Web で初期化する	77
クイック設定 Web で初期化する	77

8章 機能設定

8-1 クイック設定 Web について	79
クイック設定 Web を起動する.....	79
クイック設定 Web のトップページ.....	79
詳細設定にログインする	80
詳細設定のトップページ設定画面.....	81
8-2 各種機能の詳細設定をする (詳細設定).....	83
8-3 ネットワーク設定.....	84
基本設定	84
接続設定	84
プロファイル設定.....	85
通信量カウンター	85
8-4 Wi-Fi 設定	86
Wi-Fi 設定	86
ゲスト SSID 設定	87
MAC アドレスフィルタリング.....	87
WPS 設定	88
8-5 ECO 設定.....	89
ECO 設定	89
8-6 セキュリティ設定.....	90
セキュリティ設定.....	90
8-7 詳細設定	91
LAN 側設定.....	91
DHCP 固定割当設定	91
IPv4 パケットフィルタ設定	91
IPv6 パケットフィルタ設定	93
ポートマッピング設定.....	93
その他の設定.....	94
8-8 メンテナンス	95
管理者パスワードの変更	95
設定値の保存&復元.....	95
設定値の初期化.....	95
ファームウェア更新.....	95
PIN コード管理	96
再起動	97
ディスプレイ設定.....	97
8-9 情報.....	98
現在の状態	98
UPnP の状態.....	98
マニュアル	98

9章 本製品のディスプレイメニューについて

9-1 ディスプレイメニュー一覧.....	100
9-2 メッセージ一覧.....	103

10章 海外利用 (au をご契約の場合)

10-1 au 世界サービスについて	105
10-2 海外利用に関する設定を行う	106
10-3 お問い合わせ方法.....	107
10-4 海外でのご利用上のご注意	108

11章 付録

11-1 ファームウェアを更新する	110
ディスプレイメニューからのバージョンアップ.....	110
クイック設定 Web 画面でのバージョンアップ.....	111
11-2 故障とお考えになる前に	113
11-3 アフターサービスについて	115
修理を依頼されるときは (au をご契約の場合).....	115
補修用性能部品について	115
保証書について.....	115
故障紛失サポートについて (au をご契約の場合).....	115
SIM カードについて	115
11-4 周辺機器	116




11-5 製品仕様	117
Speed Wi-Fi 5G X11 本体仕様	117
X11 クレードル (NAR01PUA/NAR01PUU) (別売) 仕様.....	118
11-6 データ通信端末の比吸収率 (SAR) について	119
11-7 FCC Notice (au をご契約の場合).....	120
11-8 輸出管理規制	121
11-9 知的財産権について	122
商標について.....	122
11-10 索引.....	123

本製品で使用しているソフトウェアについて	125
----------------------------	-----

注意事項







安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です。

- ※ 1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※ 2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※ 3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIM カード、周辺機器共通

危険

- 高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
 - スボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
 - 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
 - ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
 - 電車やバスなどの座席シートに挟み込む
- 分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

- 本製品の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- オプション品は、当社が指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告

- 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。
- ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。
- 使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
 - 充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜く。
 - 本製品の電源を切る。
 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。ご契約された通信事業者までご連絡ください。

注意

- 破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがなどの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
- 本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。
データ通信など、継続しての使用や充電中は、本製品や内蔵電池・充電用機器（別売）の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客さまの体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険

- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
発火により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 本製品内部の物質が目や口などの中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

- 本製品の USB ポートや本製品内の SIM カードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、SIM カードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- ディスプレイ部を破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
- ベットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

- ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、au ショップ / au Style などの窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
- 内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

- 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
- 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶ P.9) を参照してください。
- ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告

- 指定の充電用機器（別売）や USB ケーブル（市販品）のコードが傷だらけで使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 雷が鳴り出したら、充電用機器（別売）や USB ケーブル（市販品）には触れないでください。
感電などの原因となります。
- コンセントにつないだ状態で接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）や USB ケーブル（市販品）のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- コンセントに充電用機器（別売）を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 充電用機器（別売）に変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。
- 本製品に充電用機器（別売）を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 濡れた手で充電用機器（別売）のコードや USB ケーブル（市販品）、接続端子、電源プラグ、クレードル（別売）に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な充電用機器（市販品）で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
充電用機器（別売）：100V AC（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能な充電用機器（市販品）：100V ~ 240V AC（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
- 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 充電用機器（別売）をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜く場合は、充電用機器（別売）のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、充電用機器（別売）を持って抜いてください。
充電用機器（別売）のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 本製品に充電用機器（別売）や USB ケーブル（市販品）を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
接続端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 使用しない場合は、充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いてください。付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。
- お手入れの際は、充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意

- コンセントにつないだ状態で充電用機器（別売）に継続して触れないでください。やけどなどの原因となります。

SIM カードについて

注意

- SIM カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

医療機器近くおよび医療機関内での使用について

警告

- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を 15cm 以上離して携行および使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください（電源オフなど）。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

< Speed Wi-Fi 5G X11 本体 >

使用箇所	材質 / 表面処理
外装ケース	PC 樹脂 / 塗装
ディスプレイ部	PC 樹脂
電源・決定ボタン、△ボタン、▽ボタン	PC 樹脂 / 塗装・印刷
SIM カバー	PC 樹脂 / 塗装・印刷、TEEE 樹脂

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIM カード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないよう使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度 5℃～35℃、湿度 35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 消毒液や除菌シートなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通信中や充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 本体が高温になった場合、保護機構が働き、自動的に電源が切れることがあります。その際は、しばらくしてから電源を入れ直して使用してください。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。故障の原因となります。
- お客さまによる分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 水などの液体をかけないでください。また風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。
- 水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 充電中に濡れた場合には直ちに充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの操作はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の操作は法律で禁止されています。また、自転車運転中の操作も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器（別売）や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客さま自身では交換できません。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク」が本製品のディスプレイで確認できるようになっております。〈確認方法〉ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「認証情報」で、「認証情報」を表示
本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部品に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といえます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- USB コネクタに外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常はSIM カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。誤って内部にほこり・水などが入ったときは、本製品の電源を切り、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 本製品内のSIM カードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、ご契約された通信事業者までご連絡ください。

■ ディスプレイについて

- ディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、ディスプレイ照明の明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変わる場合があります。これは、ディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- ディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってすじ状の色むらや明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

■ 内蔵電池について



(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないうと、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをACアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器（別売）のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。ACアダプタやUSBケーブル（市販品）のコードの上に重いものをせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ SIM カードについて

- SIM カードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、SIM カードを挿入して故障した場合は、お客さまの責任となりますのでご注意ください。
- SIM カードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIM カードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- SIM カードに損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ 著作権・肖像権について

- お客さまが本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

無線 LAN (Wi-Fi®) / Bluetooth® 機能について

- 本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能および Bluetooth® 機能は日本国内での無線規格および FCC 規格に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国/地域では無線 LAN (Wi-Fi®) 機能および Bluetooth® 機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。(au をご契約の場合)
- 無線 LAN (Wi-Fi®) や Bluetooth® 機器が使用する 2.4GHz 帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN (Wi-Fi®) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

■ 2.4GHz 帯ご使用上の注意

本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能 / Bluetooth® 機能は 2.4GHz 帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- ◎ 本製品はすべての無線 LAN (Wi-Fi®)・Bluetooth® 対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべての無線 LAN (Wi-Fi®)・Bluetooth® 対応機器との動作を保証するものではありません。
 - ◎ 無線通信時のセキュリティとして、無線 LAN (Wi-Fi®) の標準仕様準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。無線 LAN (Wi-Fi®) によるデータ通信を行う際はご注意ください。
 - ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
 - ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) と Bluetooth® は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの無線 LAN (Wi-Fi®)、Bluetooth® のいずれかの使用を中止してください。

本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能および Bluetooth® 機能は、2.4GHz 帯の周波数を使用します。

- 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能：2.4DS4/OF4
本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。与干渉距離は約 40m 以下です。
- Bluetooth® 機能：2.4FH4/XX8
本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調とその他の変調方式を採用し、与干渉距離はそれぞれ約 40m 以下、約 80m 以下です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。(au をご契約の場合)

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4DS4/OF4/FH4/XX8	2.4	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
IEEE802.11b/g/n/ax	DS4	: DS-SS 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
	OF4	: OFDM 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■■	FH4	: FH-SS 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
	XX8	: 変調方式は他の方式で想定される干渉距離が 80m 以下であることを示す
		: 全帯域を使用し、かつ本製品としては移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する

- 本製品を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として CH1、CH6、CH11 のいずれかにすることを推奨します。ただし、無線 LAN (Wi-Fi®) 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の CH1、CH6、CH11 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。(使用チャンネルの設定方法は、「8-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.86) を参照してください。)

■ 5GHz 帯ご使用上の注意

本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は 5GHz 帯を使用します。電波法により 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の屋外利用は禁止されております。(5.2GHz 帯高出力データ通信システムのアクセスポイント / 陸上移動中継局と通信する場合を除く。)

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

IEEE802.11a/n/ac/ax	W52 (5.2GHz 帯 / 36, 40, 44, 48ch)
W52 W53 W56	W56 (5.6GHz 帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144ch)

- W56 (5.6GHz 帯 / 132, 136, 140ch) は、ご利用できません。(2021 年 9 月現在)
- 本製品は、「5GHz 帯 Wi-Fi 利用上の注意事項」をディスプレイで電子的に表示しています。
表示方法：ホーム画面 - 「情報」 - 「端末情報」 - 「5GHz 帯利用の注意」を表示

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

- 本装置は、VCCI協会の運用規程に基づく技術基準に適合したマークをディスプレイに電子的に表示しています。
表示の操作方法：ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「認証情報」で「認証情報」を表示

高調波電流規制について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品
※ 消費電力 75W 以下のため適合

各種暗証番号／PINコードについて

■ 各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客さまの独自の番号に変更の上お使いください。

- 画面ロックの設定
使用例 画面ロックの設定／解除をする場合
初期値 1234

■ PINコードについて

■ PINコード

第三者によるSIMカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「無効にする」に設定されていますが、お客さまの必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「有効にする」に変更できます。
「有効にする」で使用する場合は、必ずお客さま独自の番号に変更の上ご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、SIMカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、ご契約された通信事業者までお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 本製品の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

1 章 ご利用の準備

1-1 本製品の使いかた.....	14
1-2 各部の名称と機能.....	15
1-3 SIM カードについて.....	18
1-4 充電する.....	19
1-5 電源を入れる／切る.....	21
1-6 端末情報を確認する.....	23
1-7 あらかじめ確認してください.....	24

1-1 本製品の使いかた

ご利用になる前に

本製品は無線基地局と 5G 方式、LTE 方式、WiMAX 2+ 方式を利用してデータ通信を行うことができます。ご利用になる際は以下の通信モードを選択いただけます。

- 各通信モードの選択、設定方法については、「4-2 通信モードを切り替える」(▶ P.51) を参照してください。

「スタンダード (ST)」モード	5G、LTE、または WiMAX 2+ ネットワークに接続します。
「プラスエリア (+A)」モード	5G、LTE、または WiMAX 2+ ネットワークに接続します。 「スタンダード (ST)」モードより広いエリアでの通信が可能となります。

※ 初期設定は、「スタンダード (ST)」モードです。

※ 「スタンダード (ST)」モードで通信できないエリアに移動した場合に、一時的に「プラスエリア (+A)」モードに切り替える「ワнтаイム +A」モードがあります。

！ ご注意

- 「プラスエリア (+A)」モードまたは「ワнтаイム +A」モードを設定するとお客様の料金プランによっては追加料金が掛かる場合がございますので、ご注意ください。

memo

◎ au をご契約の場合、海外では、LTE 方式および UMTS 方式を利用してデータ通信を行うことができます。詳しくは「10-1 au 世界サービスについて」(▶ P.105) を参照してください。

スマートフォンなどの通信機器との接続

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能によりスマートフォンやパソコン、ゲーム機などの複数の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末と接続することができます。また、USB ケーブル (市販品) やクレードル (別売) を使って有線で接続することができます。

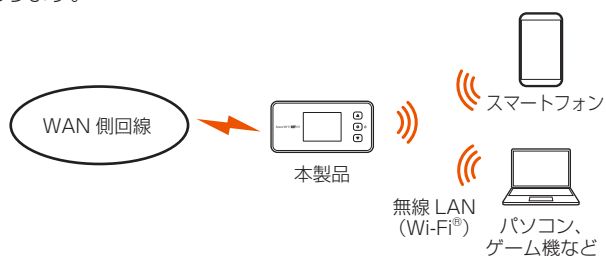
さらに、接続した端末から本製品を経由して 5G 方式、LTE 方式または WiMAX 2+ 方式を使ったインターネット接続でデータ通信ができます。

- 本製品とスマートフォンやパソコンなどの通信機器との接続については、「3 章 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続 / USB 接続」(▶ P.33) を参照してください。

■ 無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続する

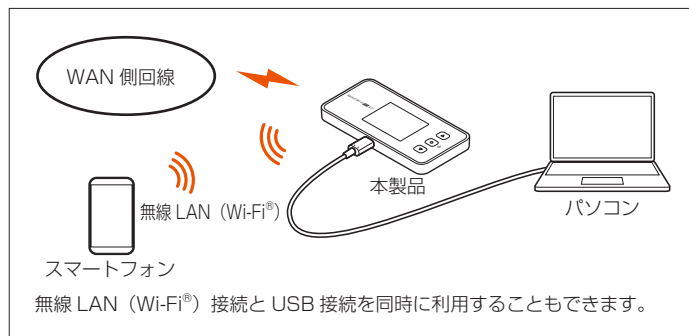
本製品とスマートフォンやパソコン、ゲーム機などの無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を接続し、データ通信ができます。

本製品に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を最大 16 台まで接続することが可能です。ただし、周囲の電波環境によっては上限まで接続できない場合があります。



■ USB ケーブル (市販品) で接続する

本製品とパソコンを USB ケーブル (市販品) で接続するだけで、データ通信ができます。



■ クレードル (別売) に Ethernet ケーブルを接続して通信する

クレードル (別売) を使って、パソコンと有線 LAN 接続することができます。

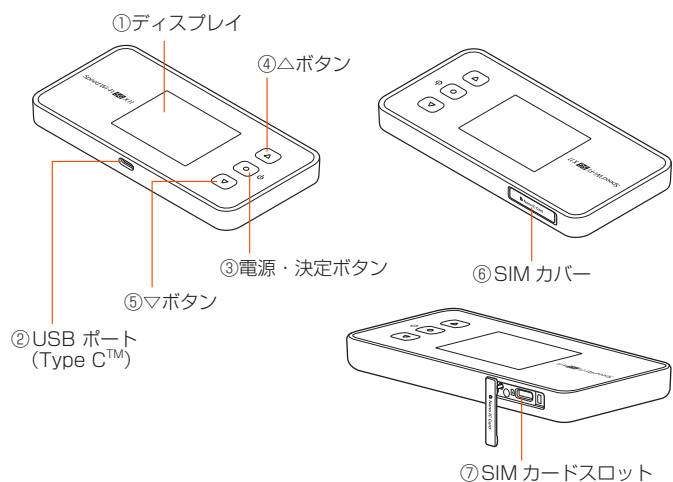
クレードル (別売) の使いかたについては、X11 クレードル (別売) に同梱の「X11 クレードル取扱説明書」を参照してください。

memo

◎ USB 接続または有線 LAN 接続と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続を同時に利用した場合、合わせて最大 17 台まで接続できます。

1-2 各部の名称と機能

本体

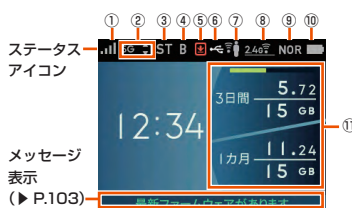


- ・アンテナは、本体に内蔵されています。通信中に本体を手でおおうと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
- ・外装ケースは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。また、電池は本体に内蔵されており、お客さまによる取り外しはできません。

名称	機能
① ディスプレイ	本製品の状態や通知情報などが表示されます。また、本製品の情報を確認したり、主要な設定ができます。
② USB ポート (Type C™)	USB ケーブル (市販品) を接続するとき、またはクレードル (別売) に接続するときを使用します。
③ 電源・決定ボタン ○	電源の ON/OFF を行います。 ディスプレイを点灯 / 消灯させるときに使用します。 休止状態にするときや、休止状態やウェイトングから復帰するときを使用します。
④ △ボタン △	ディスプレイのメニューや項目を決定するときを使用します。
⑤ ▽ボタン ▽	ディスプレイのメニューや項目を下方方向にカーソル移動して選択するときを使用します。
⑥ SIM カバー	SIM カバーを開けると、中に SIM カードスロットがあります。通常は閉じて使用してください。
⑦ SIM カードスロット	SIM カードを挿入します。

■ ディスプレイ表示について

<ホーム画面とステータスアイコン>



<ホーム (メニュー表示) 画面>
ホーム画面で、△または▽を押すと表示されます。



<クイックメニュー画面>



- ・ [ファームウェア更新] は、新ファームウェアがあるときに表示します

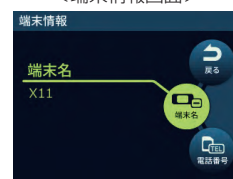
<情報画面>



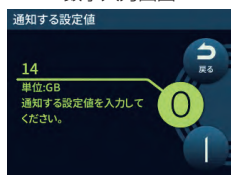
<詳細設定画面>



<端末情報画面>

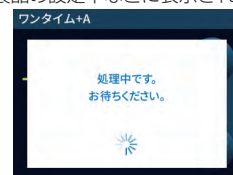


<数字入力画面>

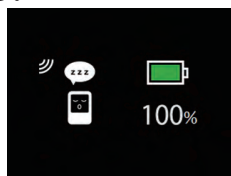


- (例) 月次通信量の通知する設定値入力画面

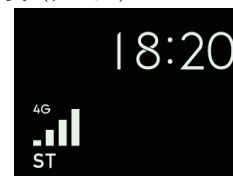
<設定メッセージ表示>
本製品の設定中などに表示されます。



<休止状態表示>
電源ボタン ○ を押したときに表示されます。



<時刻常時表示画面>
クレードル (別売) に接続時に表示されます。(▶ P.94)



名称	表示	状態	説明
① 電波受信レベル		点灯	WAN 側回線の信号の強度を 4 段階で表示
		点灯	圏外するとき
② 接続ネットワーク		点灯	5G で接続しているとき
		点灯	LTE、WiMAX 2+ で接続しているとき
		点灯	国際ローミングを「使用する」に設定して、海外で 3G で接続しているとき (au をご契約の場合)
		消灯	接続状態確認中、接続なし
		通信時は 送信時 受信時 表示	
③ 接続状態		点灯	「スタンダード (ST)」モードでインターネットに接続しているとき
		点灯	「プラスエリア (+A)」モードでインターネットに接続しているとき ¹⁾
		点灯	「ワнтаイム +A」モードでインターネットに接続しているとき ¹⁾
		点灯	Wi-Fi アクセスポイントモードでクレードル (別売) に接続しているとき
		点灯	国際ローミングを「使用する」に設定しているとき (au をご契約の場合)
④ ブリッジモード設定		点灯	ブリッジモードが設定されているとき
⑤ ファームウェア更新通知		点灯	新ファームウェア公開中で、ファームウェアの更新が必要なとき
⑥ 有線接続の状態		点灯	LAN 側を USB で接続しているとき
		点灯	クレードル (別売) に接続し、有線 LAN で接続しているとき
⑦ ゲスト SSID の状態		点灯	ゲスト SSID がオンのとき
		消灯	ゲスト SSID がオフのとき
⑧ 無線 LAN (Wi-Fi®) 帯域		点灯	2.4GHz 帯で接続しているとき (右下の数字は接続台数)
		点灯	5GHz 帯 (屋外) で接続しているとき (右下の数字は接続台数)
		点滅	利用チャネル確認中 (DFS チェック中)
		点灯	5GHz 帯 (屋内) で接続しているとき (右下の数字は接続台数)
		点灯	Wi-Fi 周波数が 2.4G/5G 同時 (屋外) で接続しているとき (右下の数字は接続台数)
		点滅	Wi-Fi 周波数が 2.4G/5G 同時 (屋外) で、5GHz 帯の利用チャネル確認中
		点灯	Wi-Fi 周波数が 2.4G/5G 同時 (屋内) で接続しているとき (右下の数字は接続台数)
⑨ 省電力モード		点灯	「エコ」モードで動作中
		点灯	「ノーマル」モードで電池残量が少なくなるときに省電力動作中
		点灯	「ノーマル」モードで動作中
		点灯	「ハイパフォーマンス」モード (通信速度優先) で動作中
⑩ 電池状態		点灯	電池残量を 6 段階で表示
		点灯	充電中
		点灯	電池残量を 6 段階で表示 (ロングライフ充電機能 ON 時)
		点灯	充電中 (ロングライフ充電機能 ON 時)
⑪ データ通信量表示	現在のデータ通信量を表示 (データ通信量の 3 日間と 1 か月の累積値*2 / 上限設定値) 使用した通信量をバーの長さで表示		

* 1 「プラスエリア (+A)」モードまたは「ワнтаイム +A」モードへ切り替えてご利用の場合、お客さまの料金プランによっては追加料金がかかる場合があります。

* 2 1か月の通信量は、「プラスエリア (+A)」モードと「ワнтаイム +A」モードの通信をカウントします。通信量カウントするモードは変更できます。(詳細は「8-3 ネットワーク設定」「通信量カウンター」(▶ P.85) 参照)

! ご注意

● 本製品の操作が一定時間*なかったときは、本製品のディスプレイ表示が自動的に消えます。再度ディスプレイを表示させるには、電源ボタン を押してください。

※「自動消灯時間」(▶ P.89) と連動しています。「自動消灯時間」で設定した時間が経過すると消灯します。(初期値: 15 秒)

memo

◎ 本製品は工場出荷時の状態で自動消灯時間 (15 秒)、省電力状態切り替え機能 (休止状態) が設定されており、起動後 15 秒でディスプレイは消灯し、10 分後に休止状態になります。電源ボタン を押して一時的に解除した場合、一定時間はディスプレイが表示されます。ただし、下記の条件では自動消灯 (初期値: 15 秒) は無効となります。

- Wi-Fi 設定お引越し中
- WPS で Wi-Fi 設定を実行中
- ファームウェアのバージョンアップ中
- 利用チャネル確認中

◎ 下記のときは、自動消灯時間の設定にかかわらず、10 分間ディスプレイ表示します。

- 設定ウィザード画面
- Wi-Fi 設定お引越し開始前の確認画面
- Wi-Fi 情報画面
- Wi-Fi QR コード画面
- データ通信量画面
- PIN 入力画面
- 5GHz 帯 Wi-Fi の利用上の注意事項画面

◎ 下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に電源を OFF にします。

- 直射日光に当たるところで使用した場合
- 高温下で充電しながら使用した場合
- かばんなどに入れて密封して使用した場合

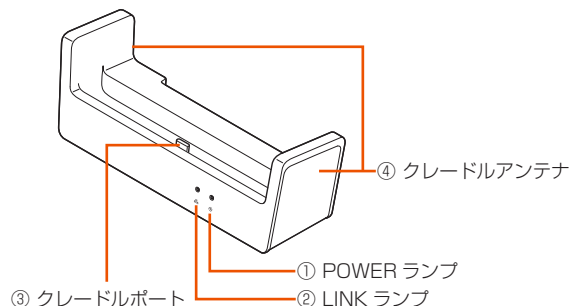
その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。

◎ Wi-Fi アクセスポイントモードについてはクレードル (別売) に同梱の「IX11 クレードル取扱説明書」を参照してください。



クレードル（別売）

クレードル（別売）は、本製品を接続し、据え置きで充電をしたり、有線 LAN 接続やブロードバンドルータを接続して Wi-Fi アクセスポイントとしてご利用いただけます。クレードル（別売）の使いかたについては、別売の X11 クレードルに同梱の『X11 クレードル取扱説明書』を参照してください。

■ 前面



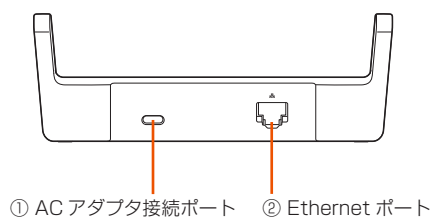
【ランプ表示】

ランプの種類	色	状態	クレードル（別売）の状態
① POWER ランプ (電源) 	緑	点灯	AC アダプタ（別売）が接続され、給電しているとき
	—	消灯	AC アダプタ（別売）が接続されていないとき
② LINK ランプ（有線 LAN 通信状態表示） 	緑	点灯	Ethernet ポートのリンクが確立しているとき
	緑	点滅	Ethernet ポートがデータ送受信しているとき
	—	消灯	Ethernet ポートのリンクが確立していないとき

【各部の名称と機能】

名称	説明
③ クレードルポート	本製品を接続します。
④ クレードルアンテナ	無給電 非接触アンテナ（内蔵）により、WAN 側回線（5G/WiMAX 2+）の通信性能が向上します。

■ 背面



名称	説明
① AC アダプタ接続ポート	指定の充電用機器（別売）と接続します。
② Ethernet ポート	Ethernet ケーブル（市販品）で、パソコンなどと接続します。

！ ご注意

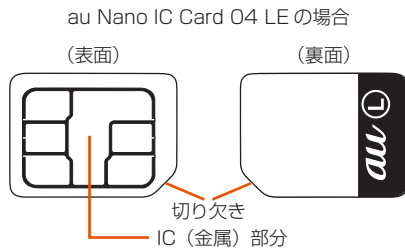
- クレードル（別売）を使用する際は AC アダプタ（別売）を必ず接続してください。
パソコンなどの USB ポートからの給電は、動作しないことがあります。
- 本製品が Wi-Fi アクセスポイントモードに設定されているときに着脱を行うと再起動します。

memo

- ◎ AC アダプタ（別売）は、必ず指定のものをお使いください。
本製品の電源 ON 時にクレードル（別売）で充電する場合は、消費電力が大きいため、TypeC 共通 AC アダプタ O1（O601PQA）（別売）、TypeC 共通 AC アダプタ O1U（O601PQU）（別売）、または TypeC 共通 AC アダプタ O2（O602PQA）（別売）のご使用を推奨します。
- ◎ クレードル（別売）の AC アダプタ接続ポートでは、USB 通信はできません。電源供給用の接続ポートです。
- ◎ Ethernet ケーブル（市販品）をクレードル（別売）に接続する際は、Ethernet ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
- ◎ 本製品をクレードル（別売）にセットした後、または取り外した後は、切り替え確認をします。本製品のボタン操作をするときは、約 10 秒待ってから操作してください。

1-3 SIM カードについて

WAN 側回線通信サービスをご利用になるには、ご契約された通信事業者から提供される SIM カードが必要です。SIM カードにはお客様の電話番号などの情報が記録されています。本製品を使用するには SIM カードを本体に取り付ける必要があります。SIM カードを取り付けないと、WAN 側回線でのデータ通信などをご利用できません。



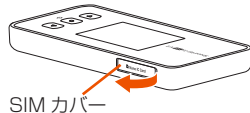
・SD カードや変換アダプタを取り付けた IC カードを挿入しないでください。故障の原因になります。

memo

- ◎ SIM カードの取り付け／取り外しは本製品の電源を切ってから行ってください。無理な取り付けや取り外しはしないでください。
- ◎ PIN コードの設定をしている SIM カードをお使いの場合は、PIN コードの入力が必要です。(▶ P.12、P.96)
- ◎ SIM カードには、お客様の電話番号が記録されていますが、本製品で音声電話の発着信などはできません。
- ◎ SIM カードを正しく取り付けしていない場合や SIM カードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。

SIM カードを取り付ける

- 1 本製品の電源が ON になっているときは、電源ボタン を長押しし、電源オプション画面で「電源 OFF」を選択・決定する
- 2 本製品と AC アダプタ (別売) / USB ケーブル (市販品) / クレドール (別売) が接続されているときは取り外す
- 3 本製品側面の SIM カバーを開ける
※ ミゾに爪などをかけて矢印方向に開けます。



- 4 SIM カードの IC (金属) 面を上にして、SIM カードスロットにまっすぐに差し込み、カチッと音がするまで指先などで押し込む
※ SIM カードの IC (金属) 部分には触れないでください。
※ 切り欠き部の方向にご確認ください。
※ 正しい挿入方向をご確認ください。故障や破損の原因となります。
※ SD カードや変換アダプタを取り付けた IC カードを挿入しないでください。故障の原因となります。
※ 無理な押し込みや取り付けはしないでください。故障や破損の原因となります。

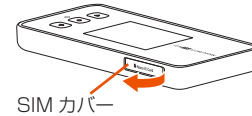


※ 指先を斜めにするとう押し込みやすいです

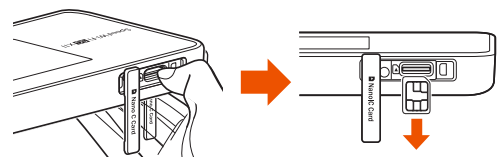
- 5 SIM カバーを閉じる

SIM カードを取り外す

- 1 本製品の電源が ON になっているときは、電源ボタン を長押しし、電源オプション画面で「電源 OFF」を選択する
- 2 本製品と AC アダプタ (別売) / USB ケーブル (市販品) / クレドール (別売) が接続されているときは取り外す
- 3 本製品側面の SIM カバーを開ける
※ ミゾに爪などをかけて矢印方向に開けます。



- 4 SIM カードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込み、音がしたら、SIM カードに指を添えながらゆっくり引き抜く



- 5 SIM カバーを閉じる

! ご注意

- 取り外した SIM カードは紛失しないようご注意ください。

1-4 充電する

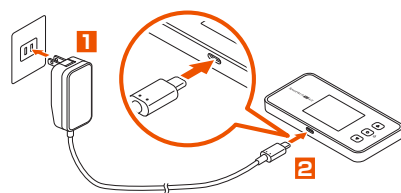
お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。

- 本製品の充電は、電源 OFF または休止状態時に行うことをおすすめします。
- 電源 ON の状態や、本体や内蔵電池の温度が高い場合、電池保護のために満充電になっていなくても充電を停止することがあります。また、電源 ON 状態で長時間充電を続けると、電池保護のため自動的に電池残量を徐々に減少させる「ロングライフ充電」の状態（最大充電容量が約 70%）になります。
- ディスプレイが点灯した状態や通信状態でも充電はできますが、充電時間がやや長くなります。
- 電池の温度が、低温や高温時は電池保護のため、充電が停止したり充電時間が長くなる場合があります。
高温時は電池の温度が下がってから充電してください。
- USB ケーブル（市販品）を使用してパソコンの USB ポートからの充電も可能です。なお、USB ポートからの充電は、指定の充電用機器（別売）を使用した場合よりも充電時間が長くなります。
- 本製品は TypeC 共通 AC アダプタ 01（0601PQA）（別売）、TypeC 共通 AC アダプタ 01U（0601PQV）（別売）を使用して急速充電が可能です。
- 本製品は USB ハブ（市販品）を使用して接続しないでください。
- 充電時間は、本製品の利用環境・状態により異なります。
- 電池残量が約 80%以上の状態では、電池の消耗を防ぐため充電を開始しない場合があります。

指定の AC アダプタ（別売）を使って充電する

ここでは TypeC 共通 AC アダプタ 02（0602PQA）（別売）を使って充電する方法を説明します。




- 1 AC アダプタ（別売）の電源プラグを電源コンセントに接続する**
- 2 本製品の USB ポート（Type C）に、AC アダプタ（別売）の USB コネクタ（Type C）を接続する**
充電が開始されます。
 - USB コネクタ（Type C）は本製品の USB ポート（Type C）にまっすぐに差し込んでください。
 - 無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。



！ ご注意

- AC アダプタ（別売）は、必ず本製品指定の周辺機器をお使いください。

memo

- ◎ 電源 OFF 状態または休止状態での充電中に電源ボタン  を押し、充電の状態（%）が表示されます。
- ◎ 電源 ON 状態での充電中に、充電の状態（電池残量）を確認する場合は、電源ボタン  を押ししてください。ディスプレイ右上に電池状態アイコン  が表示されます。（▶ P.16）
（電池残量の表示は目安です。本製品の利用環境・状態により異なります。）
- ◎ 内蔵電池の寿命は、お客さまのご利用環境により変わります。充電のしかたによっては、劣化しやすくなりますので、寿命が短くなりにくい利用方法をおすすめします。
 - 電池残量が十分に残っている状態で充電を繰り返すと劣化が早くなりますので、電池残量が、30%以下になってからの充電をおすすめします。
- ◎ 充電が完了してから長時間指定の充電用機器（別売）を接続したままにしていると、内蔵電池は充電と放電を繰り返し劣化を早めてしまいます。内蔵電池の充電が完了したら、指定の充電用機器（別売）を外してください。
- ◎ AC アダプタ（別売）やクレードル（別売）に接続したにもかかわらず充電できない場合は、接続し直してください。

充電時間

電源 OFF 時の充電時間（電池残量がない状態から満充電になるまで）

接続する機器	充電時間
TypeC 共通 AC アダプタ 01（0601PQA）（別売）、 TypeC 共通 AC アダプタ 01U（0601PQV）（別売）	約 190 分
TypeC 共通 AC アダプタ 02（0602PQA）（別売）	約 220 分

電池残量

以下の方法で確認することができます。

- 本製品のディスプレイがホーム画面表示のとき
設定方法：ホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「ディスプレイ」－「電池残量表示（%）」を「使用する」（初期設定：使用しない）
確認方法：ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「端末情報」－「電池残量」



- クイック設定 Web 画面（▶ P.29、P.79）
- スマートフォンアプリ（▶ P.56）

memo

- ◎ 本製品は、工場出荷時の状態で自動消灯時間（15 秒）、省電力状態切り替え機能（休止状態）が設定されており、起動後 15 秒でディスプレイは消灯し、10 分後に休止状態になります。休止状態から復帰する際、しばらくの間、電池残量が正しく表示されない場合があります。

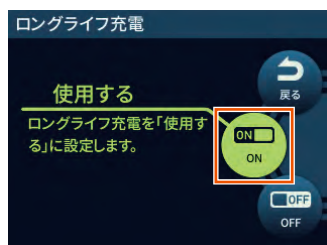
ロングライフ充電

「ロングライフ充電」機能を ON にすると、電池残量が約 70% で充電を停止します。

電池残量が十分ある状態で頻繁に充放電を繰り返すことによる内蔵電池の劣化が早まることを防止します。

充電の上限が約 70% になりますので、使用時間は短くなります。

- 1 本製品のホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「ECO」 - 「ロングライフ充電」で、「使用する」を選択・決定する



- ・ステータスバーの電池状態が緑色表示になります。(▶ P.16)


memo

◎ ロングライフ充電を「使用する (ON)」に設定した場合、電池残量が約 60% 以上の状態では、充電を開始しない場合があります。

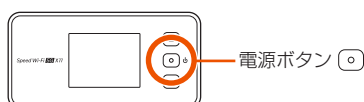
1-5 電源を入れる／切る

電源を入れる


1 電源ボタン を長押しする

本製品のディスプレイに「NEC」と表示されるまで電源ボタン  を長押しして、電源を入れてください。起動するまでにしばらくかかります。

(完全電源 OFF から電源を入れた場合は、「NEC」と表示される途中で、電池残量を表示します。)




memo

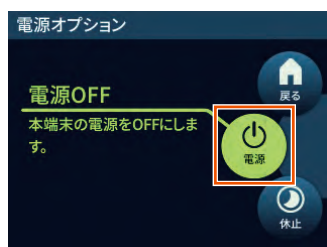
- ◎最新のファームウェアであることを、ホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「メンテナンス」－「ファームウェア更新」で確認してください。本製品のバージョンは、ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「端末情報」－「ファームウェアバージョン」で確認します。(▶ P.102)
- ◎電源を ON にしたとき「電池残量が不足しています。充電してください。」と表示された場合は、AC アダプタ (別売) を接続して 30 分以上充電してから電源を入れ直してください。
- ◎本製品は、工場出荷時の状態で自動消灯時間 (15 秒)、省電力状態切り替え機能 (休止状態) が設定されており、起動後 15 秒でディスプレイは消灯し、10 分後に休止状態になります。それぞれクイック設定 Web から設定を変更することができます。(▶ P.89)
- ◎パスコードを設定しているときは、パスコード入力画面が表示されるので、パスコードを入力してください。
- ◎「完全電源 OFF」は、電源ボタン  を「完全電源 OFF に移行します」表示するまで長押しします。完全電源 OFF は、電源 OFF よりも本製品の起動時間が長くなりますが、電源 OFF よりも連続待受時間が長くなります。

電源を切る



1 電源ボタン を長押しする

ホーム画面を表示しているときに電源ボタン  を長押しすると、電源オプション画面が表示されます。

2 電源オプション画面で「電源 OFF」を選択・決定する

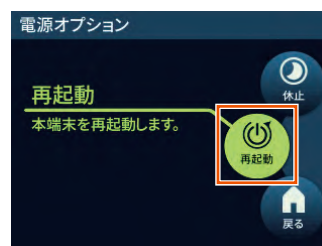


memo

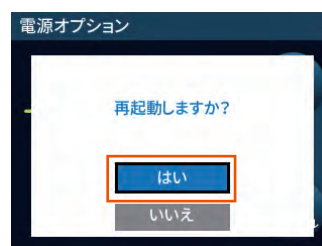
- ◎手順 1 で電源ボタン  を長押し続けると、「完全電源 OFF に移行します」と表示され、電源 OFF します。この操作でも電源を切ることができます。
- ◎本製品の電源を切ると、本製品と接続されていた無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末との接続が自動的に切れます。
- ◎電源オプション画面で「休止」を選択すると、休止状態になります。休止状態から電源を切る場合は、休止状態から復帰 (▶ P.63) させディスプレイがホーム画面表示になってから電源ボタン  を長押しして、電源オプション画面で「電源 OFF」を選択して電源を切ってください。

再起動する

1 電源ボタン を長押しし、電源オプション画面で「再起動」を選択する



2 確認画面で、「はい」を選択する



再起動します。

画面をロックする／画面ロックを解除する

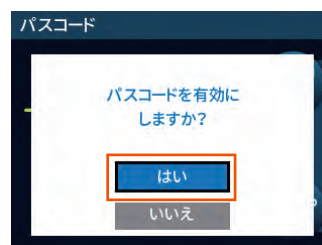
■ 画面をロックする

1 本製品のホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「セキュリティ」－「パスコード」－「ディスプレイ」を選択する

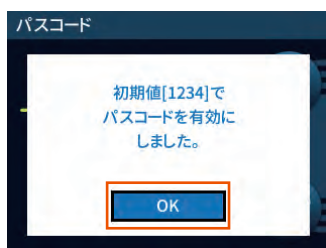
(初期設定：OFF)



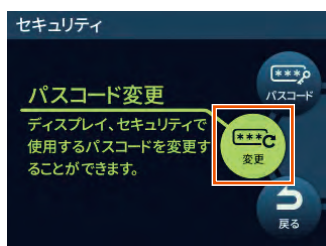
2 「パスコードを有効にしますか？」と表示されるので、「はい」を選択・決定する




- 3 「初期値 [1234] でパスコードを有効にしました。」と表示されるので、「OK」を選択・決定する

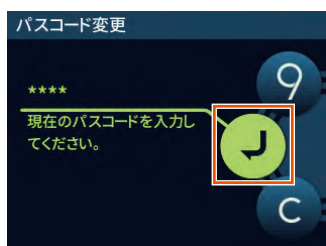


- 4 本製品のホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「セキュリティ」－「パスコード変更」を選択・決定する



- 5 「現在のパスコードを入力」画面で、「1234」（初期値）を入力し、 で数字を確定する

数字の入力のしかたは、「2-1 基本的な操作を覚える」(▶ P.28)を参照してください。



- 6 「新しいパスコードを入力」画面で、新しいパスコード（数字4桁）を入力する

- 7 「新しいパスコードを再度入力」画面で、同じパスコードを入力する

- 8 「パスコードを変更しました。」と表示されるので、「OK」を選択する

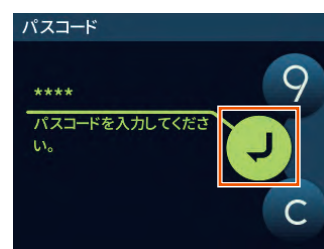
画面をロックするパスコード設定をしました。

memo

- ◎ 初期値は必ずお客様の独自の番号に変更の上お使いください。
- ◎ 変更したパスコードは、忘れないように控えておいてください。
- ◎ すでにパスコードの設定が済んでいる場合は、手順 3 で「設定した値でパスコードを有効にしました。」と表示されるので「OK」を選択します。
- ◎ セキュリティ設定の詳細は、「8-6 セキュリティ設定」(▶ P.90)を参照してください。

■ 画面ロックを解除する

- 1 電源を入れると、「パスコードを入力してください」と表示されるので、設定したパスコード（数字4桁）を入力する



画面ロックが解除され、ホーム画面が表示されます。

memo

- ◎ パスコードを OFF にするときは、本製品のホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「セキュリティ」－「パスコード」－「OFF」を選択・決定します。

1-6 端末情報を確認する

ディスプレイの端末情報画面で本製品の端末情報を確認できます。

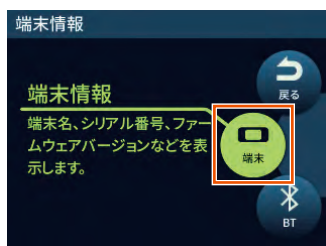
端末情報	端末名 電話番号* ¹ ICCID* ¹ IMEI シリアル番号 ファームウェアバージョン 電池残量* ² WAN 側 IP アドレス* ¹ LAN 側 IP アドレス* ¹ USB MAC アドレス UIM/PIN クイック設定 Web への URL* ¹ 管理者パスワードの初期値
Bluetooth 情報	デバイス名 (リモート起動) MAC アドレス (リモート起動)
接続機器管理	接続機器数 接続機器 MAC アドレス
認証情報	電気通信事業法・電波法の技術基準適合認定の番号 など

* 1 「アクセスポイントモード」を「ON」に設定してクレードル (別売) に接続した場合は、「-」表示します。

* 2 「電池残量表示 (%)」設定が「(使用しない)」のときは、表示しません。(初期設定：(使用しない)、▶ P.89、P.100 参照)

電話番号などの端末情報の確認方法

- 1 本製品のホーム画面から  ボタンと  ボタンを使って、「情報」 - 「端末情報」 - 「端末情報」を選択・決定する



- 2 端末情報画面で  ボタンを使って、端末情報を確認する



1-7 あらかじめ確認してください

本製品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

接続端末の準備

お使いの接続端末が本製品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- Web ブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること (▶ P.25)
- ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
本製品設定の前に、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない(起動したまま)と本製品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(パソコンによっては、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。)
- クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておくこと (▶ P.25)

〈無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続する場合〉

- 無線 LAN (Wi-Fi[®]) に対応していること

〈USB で接続する場合〉

- USB ポート (USB2.0 以上推奨) が装備されていること
USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 以上でのご使用をおすすめします。

〈クレードル (別売) を使用して Ethernet ポートに有線で接続する場合〉

- LAN ポートが装備されていること
- TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- パソコンのネットワーク設定を確認すること (▶ 右記)

■ 対応 OS について

本製品は、Windows[®]、Mac、Linux など TCP/IP プロトコルスタックに対応した OS にて、ご利用いただけます (利用可能 OS は日本語版に限ります)。

ただし、USB 接続時の対応 OS は、以下の通りです。

Windows[®] 10、Windows[®] 8.1 (SP1 以降) の日本語版かつ 32bit (x86) 版、または、64bit (x64) 版、macOS 11 (Intel)、10.15 (Intel)、10.14 (Intel)、10.13 (Intel)、10.12 (Intel)、OS X 10.11 (Intel)、10.10 (Intel)、10.9 (Intel) の日本語版

■ 対応ブラウザについて

クイック設定 Web で設定を行う場合にご利用いただける Web ブラウザは以下の通りです。また、サポート対象は、以下 OS のプレインストール製品、またはメーカーが以下 OS の利用を保証している製品です。(自作パソコンはサポート対象外です) (2021 年 9 月現在)

Windows[®] 10 の場合

- Microsoft Edge に対応
- Internet Explorer 11.0 に対応

Windows[®] 8.1 の場合

- Internet Explorer 11.0 に対応

macOS 11/10.15/10.14/10.13/10.12/OS X 10.11/10.10/10.9 の場合

- Safari に対応

Android (10/9/8.1/8.0/7.1/7.0/6.0/5.1/5.0) の場合

- Google Chrome に対応

iOS (14.x/13.x/12.4/12.3/12.2/12.1/12.0/11.4/11.3/11.2/11.1/11.0) の場合

- Safari に対応

iPadOS (14.x/13.x) の場合

- Safari に対応

memo

◎ 対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。

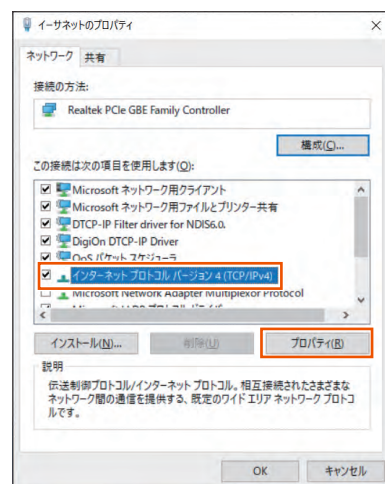
パソコンのネットワークの確認 (USB 接続 / 有線 LAN 接続の場合)

パソコンのネットワークの設定が、Windows の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

■ Windows パソコンの場合

以下は Windows[®] 10 を例に説明しています。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックする
- 3 [イーサネット接続] (または [イーサネット] または [ローカルエリア接続]) を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする
- 5 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



(画面は Windows[®] 10 の例です。)

- 6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 7 [OK] をクリックする
- 8 [閉じる] をクリックする


memo

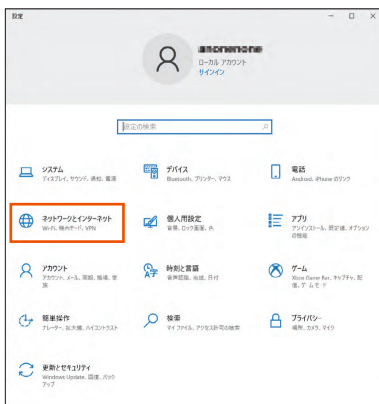
- ◎ 有線 LAN 接続については、X11 クレドール（別売）に同梱の「X11 クレドール取扱説明書」を参照してください。
- ◎ Windows® 10/8.1 の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ◎ ここでは、Windows® 10/8.1 の通常表示モード（カテゴリ表示）を前提に記述しています。

Web ブラウザの設定確認

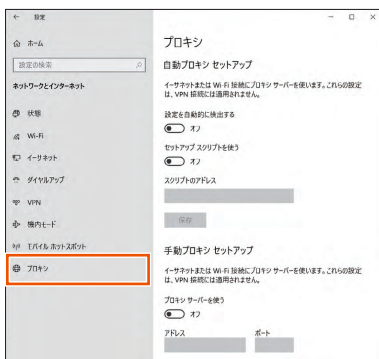
Web ブラウザの接続設定を「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は Windows® 10 で Microsoft Edge をご利用の場合の設定方法の一例です。お客さまの使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

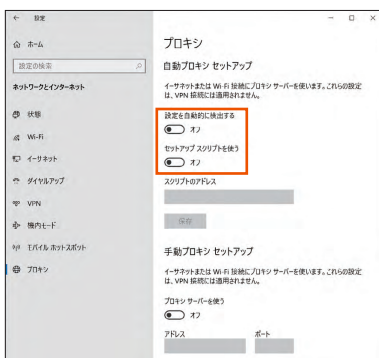
- 1 Windows のロゴボタンをクリックし、（設定）をクリックする
- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックする



- 3 [プロキシ] をクリックする

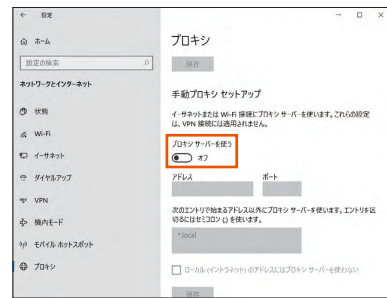


- 4 「自動プロキシ セットアップ」で「設定を自動的に検出する」と「セットアップ スクリプトを使う」を「オフ」にする



- 5 「手動プロキシ セットアップ」で「プロキシサーバーを使う」を「オフ」にする

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



- 6 [保存] をクリックする

memo

- ◎ 専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

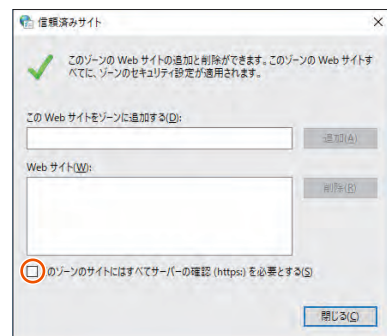
Web ブラウザからクイック設定 Web を利用して設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。Web ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本製品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

Internet Explorer をご利用の場合 (Windows 版)

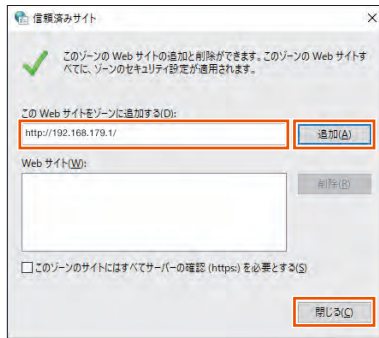
以下は、Windows® 10 で Internet Explorer 11.0 を使用している場合の例です。

Microsoft Edge では、「有効」に設定されています。以下の確認は不要です。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] をクリックする
- 3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする
- 4 [サイト] をクリックする
- 5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す

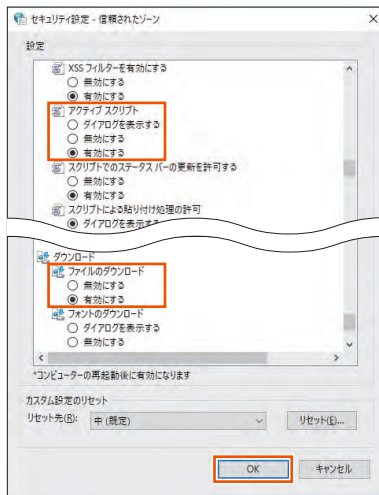


- 6 [この Web サイトをゾーンに追加する] に [http://192.168.179.1/] を入力し [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする



IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

- 7 [レベルのカスタマイズ] をクリックする
- 8 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] と [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする
- 「このゾーンの設定を変更しますか?」の画面が表示された場合は、[はい] (または [はい] - [適用]) をクリックしてください。



- 9 [OK] をクリックする

■ Safari をご利用の場合 (Mac 版)

以下は、macOS v10.15 で Safari を使用している場合の例です。

- 1 Safari を起動する
- 2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする
- 3 [セキュリティ] をクリックする
- 4 「JavaScript を有効にする」にチェックを入れる



- 5 メニューバーの [Safari] から [Safari を終了] をクリックし、Safari を終了させる

■ Android 端末で Google Chrome をご利用の場合

以下は、Android 11 をご利用の場合の例です。

Google Chrome のバージョンにより、手順が異なる場合があります。

- 1 Google Chrome を起動する
- 2 Google Chrome のメニューを開く
- 3 [設定] をタップする
- 4 [サイトの設定] をタップする
- 5 [JavaScript] がオフになっている場合は、ボタンをタップしてオンにする

■ iOS/iPadOS 端末で Safari をご利用の場合

以下は iOS 14.x で Safari を使用している場合の例です。




- 1 ホーム画面の [設定] アイコンをタップする
- 2 設定メニューの [Safari] をタップする
- 3 [詳細] をタップする
- 4 [JavaScript] がオフになっている場合は、ボタンをタップしてオンにする




2章 基本操作

2-1 基本的な操作を覚える	28
2-2 クイック設定 Web について	29

2-1 基本的な操作を覚える

ボタン操作

本製品は、ディスプレイ右側の  (△ボタン) /  (▽ボタン) /  (電源・決定ボタン) をメニュー操作することで、各種設定や情報の確認をすることができます。

-  : ディスプレイのメニューや項目を上方向にカーソル移動して選択する
-  : ディスプレイのメニューや項目を下方向にカーソル移動して選択する
-  : ディスプレイのメニューや項目を決定する

画面は表示例です。



ホーム画面

ホーム (メニュー表示) 画面

情報画面

ホーム画面に戻るときは  ホーム または  を選択して  を押しします。

画面を上下に移動するときは、 /  を使います。

ホーム (メニュー表示) 画面で、 クイックメニュー を選択して  を押しすと、クイックメニュー画面を表示します。



クイックメニュー画面

本書では、メニューを選択して  (決定ボタン) を押し操作を、「選択・決定する」と表記します。

数字を入力する






①数字入力欄

選択した数字が順番に入力されます。

パスコード、PIN コード、PIN ロック解除コード入力時には、入力した数字が「★」で表示されます。

②選択する数字表示

 /  で数字列が回りセンターに表示したとき、 で数字を入力します。

③数字入力を確定

④クリア

入力した数字をすべて削除します。

⑤戻る

前の画面 (メニュー項目) に戻ります。

2-2 クイック設定 Web について

本製品に接続したパソコンなどの Web ブラウザから、Speed Wi-Fi 5G X11 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。以下の手順は無線 LAN (Wi-Fi®) で接続した場合を例にしています。本製品では、Speed Wi-Fi 5G X11 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。

memo

- ◎ クイック設定 Web が利用できる Web ブラウザについては、「接続端末の準備」(▶ P.24) を参照してください。
- ◎ 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS によって異なります。
- ◎ クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) のゲスト SSID 接続では、クイック設定 Web は表示できません。
- ◎ 本製品をクレードル (別売) に接続し、Wi-Fi アクセスポイントモードで使用する場合は、クイック設定 Web を開くことができません。本製品をクレードル (別売) から外してから行ってください。

クイック設定 Web を起動する

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。
 (「3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する」(▶ P.34)、
 「3-2 USB で接続する」(▶ P.48) 参照)

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に

「http://192.168.179.1/」を入力する

クイック設定 Web が表示されます。

! ご注意

- 本製品のメニュー操作中など、ディスプレイ点灯中に、クイック設定 Web で設定変更すると「処理中のためリクエストを受け付けることができませんでした。しばらくしてから、再度実行してください。」と表示されます。その場合は、メニュー操作をやめ、ホーム画面表示に戻し設定変更を行ってください。
- ディスプレイ表示中 (ホーム画面以外) のときは、クイック設定 Web で設定できません。また、クイック設定 Web で設定中に本製品のボタンを操作すると、クイック設定 Web での設定が中断される場合があります。

クイック設定 Web のトップページ



① ピクト表示

WAN 接続 (5G/4G/3G) と通信モード (ST/+A) の電波状態、無線 LAN (Wi-Fi®) の周波数帯 (2.4GHz/5GHz (屋内) /5GHz (屋外)) と接続端末の台数、電池状態を表示します。

② 使い方

このページの項目に関する説明を表示します。

③ ログイン

詳細設定する場合は、ログインをし、各種機能の詳細設定をします。

④ 最新の状態に更新 (または更新)

情報を最新の状態に更新します。

⑤ 装置情報

以下の情報を表示します。

- ・機種名
- ・ファームウェアバージョン
- ・接続ステータス
- ・接続通信事業者名
- ・プロフィール
- ・データ通信量（月次、日次）
- ・接続時間
- ・現在時刻
- ・IMEI

⑥ SIM カード情報

ICCID と電話番号を表示します。

⑦ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- ・プロフィールの設定
使用するプロフィールを選択します。

⑧ Wi-Fi 周波数設定

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 周波数の帯域設定切り替えができます。2.4GHz、5GHz（屋内）、5GHz（屋外 144ch 含む）、5GHz（屋外 144ch 含まない）、2.4GHz/5GHz（屋内）、2.4GHz/5GHz（屋外 144ch 含む）、2.4GHz/5GHz（屋外 144ch 含まない）から選択します。

⑨ 言語（English / 日本語）

日本語と英語の切り替えができます。

切り替えるには、ログインが必要です。

詳細設定にログインする

1 クイック設定 Web のログイン画面で、管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックする

「パスワード」には、管理者パスワードの初期値を入力してください。

- ・「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

操作方法: ホーム画面 - 「情報」 - 「端末情報」 - 「端末情報」 - 「管理者パスワードの初期値」



2 管理者パスワードの変更画面が表示されたら、「初期パスワード」欄に現在の管理者パスワードの初期値を入力し、「新しいパスワード」「新しいパスワードの再入力」欄に新しい管理者パスワード（※）を入力し、[変更] をクリックする

- ・「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

※ パスワードに使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、-（ハイフン）、_（アンダースコア）で、半角 8 文字以上、最大半角 64 文字まで有効です。

この管理者パスワードは、本製品の「クイック設定 Web」を開くときに必要となります。忘れないように控えておいてください。

3 「Wi-Fi 設定」の「Wi-Fi アクセスポイント（親機）設定」画面が表示されたら、「ネットワーク名（SSID）」欄に新しいネットワーク名（SSID）（※ 1）を入力し、「WPA 暗号化キー（PSK）」欄に新しい暗号化キー（パスワード）（※ 2）を入力し、[変更] をクリックする

変更をスキップすることもできます。

※ 1 ネットワーク名（SSID）に使用できる文字は、最大 32 文字までの半角英数字、-（ハイフン）、_（アンダースコア）です。

※ 2 暗号化キー（パスワード）に使用できる文字は、8 文字以上 63 文字までの英数記号（0～9、a～z、A～Z）です。

この「ネットワーク名（SSID）」と「暗号化キー（パスワード）」は、本製品と無線 LAN（Wi-Fi[®]）接続するとき必要となります。忘れないように控えておいてください。

詳細設定のトップページ設定画面

クイック設定Web

Speed Wi-Fi 5G

お使いの機器は X11-xxxxxxx

ホーム 使い方 ログアウト

① ② ③ ④

⑤ 最新の状態に更新

⑥ 装置情報

機種名	X11
ファームウェアバージョン	X.X.X
接続ステータス	インターネット利用可能
接続通信事業者名	
プロファイル	Internet
データ通信量(月次)	0.00 byte/15 GB
データ通信量(日次)	0.00 byte/15 GB
接続時間	XX:XX:XX
現在時刻	XX:XX
IMEI	

⑦ SIMカード情報

ICCID	
電話番号	xxxxxxxxxxx

⑧ 簡易設定

プロファイルの設定: Internet

設定

⑨ Wi-Fi周波数設定

帯域設定: 2.4GHz

設定

⑩ ネットワーク設定

- 基本設定
- 接続設定
- プロファイル設定
- 通信量カウンター

Wi-Fi設定

- Wi-Fi設定
- ゲストSSID設定
- MACアドレスフィルタリング
- WPS設定

⑪

⑫ ECO設定

- ECO設定

⑬ セキュリティ設定

- セキュリティ設定

⑭ 詳細設定

- LAN側設定
- DHCP固定割当設定
- IPv4パケットフィルタ設定
- IPv6パケットフィルタ設定
- ポートマッピング設定
- その他の設定

メンテナンス

- 管理者パスワードの変更
- 設定値の保存 & 復元
- 設定値の初期化
- ファームウェア更新
- PINコード管理
- 再起動
- ディスプレイ設定

⑮

⑯ 情報

- 現在の状態
- URLの状況
- マニュアル

⑰ English

② ③ ④

Copyright© NEC Platforms, Ltd. 2021

① ピクト表示

WAN 接続(5G/4G/3G)と通信モード(ST/+A)の電波状態、無線 LAN(Wi-Fi[®])の周波数帯(2.4GHz/5GHz(屋内)/5GHz(屋外))と接続端末の台数、電池状態を表示します。

② ホーム

詳細設定のトップページを表示します。

③ 使い方

このページの項目に関する説明を表示します。

④ ログアウト

クイック設定 Web をログアウトします。
再度、ログインする場合は、Web ブラウザを一度終了したあと、再度開き直してください。

⑤ 最新の状態に更新(または更新)

情報を最新の状態に更新します。

⑥ 装置情報

以下の情報を表示します。

- 機種名
- ファームウェアバージョン
最新のファームウェアがあるときは、[ファームウェア更新] を表示します。
ファームウェア更新できます。
- 接続ステータス
- 接続通信事業者名
- プロファイル
- データ通信量(月次、日次)
- 接続時間
- 現在時刻
- IMEI

⑦ SIM カード情報

ICCID と電話番号を表示します。

⑧ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- プロファイルの設定
使用するプロファイルを選択します。

⑨ Wi-Fi 周波数設定

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 周波数の帯域設定切り替えができます。2.4GHz、5GHz(屋内)、5GHz(屋外 144ch 含む)、5GHz(屋外 144ch 含まない)、2.4GHz/5GHz(屋内)、2.4GHz/5GHz(屋外 144ch 含む)、2.4GHz/5GHz(屋外 144ch 含まない) から選択します。

⑩ ネットワーク設定

以下のページを表示します。

- 基本設定
- 帯域設定
- プロファイル設定
- 通信量カウンター

⑪ Wi-Fi 設定

以下のページを表示します。

- Wi-Fi 設定
- ゲスト SSID 設定
- MAC アドレスフィルタリング
- WPS 設定

⑫ ECO 設定

ECO 設定のページを表示します。

⑬ セキュリティ設定

セキュリティ設定のページを表示します。

⑭ 詳細設定

以下のページを表示します。

- LAN 側設定
- DHCP 固定割当設定
- IPv4 パケットフィルタ設定
- IPv6 パケットフィルタ設定
- ポートマッピング設定
- その他の設定

⑮ メンテナンス

以下のページを表示します。

- 管理者パスワードの変更
- 設定値の保存&復元
- 設定値の初期化
- ファームウェア更新
- PIN コード管理
- 再移動
- ディスプレイ設定

⑯ 情報

以下のページを表示します。

- 現在の状態
- UPnP の状態
- マニュアル

⑰ 言語 (English / 日本語)

日本語と英語の切り替えができます。

3章 無線LAN (Wi-Fi[®]) 接続/USB接続

3-1 無線LAN (Wi-Fi [®]) で接続する.....	34
3-2 USB で接続する	48

3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する

■ 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能について

本製品は IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax の無線 LAN (Wi-Fi®) 規格に準拠しており、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末 (パソコンやスマートフォン、ゲーム機など) を無線 LAN (Wi-Fi®) で接続して、データ通信ができます。

また、本製品のディスプレイを操作することで WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能に対応している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に簡単に接続することができます。

WPS 機能に対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末でも、本製品に設定されたネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (パスワード) を入力するだけで接続できます。

本製品のネットワーク名 (SSID) や暗号化キー (パスワード) は、本製品のディスプレイメニューから確認できます。本製品のネットワーク名 (SSID) は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯で同じネットワーク名 (SSID) を使用しています。

なお、本製品の工場出荷時状態におけるネットワーク名 (SSID) は、「SPW_X11_*****」で表示されます。お客さまが変更されない限り、他の表示のネットワークは近隣から送信されてくる無線 LAN (Wi-Fi®) ネットワークですので接続しないよう注意してください。

ここでは、本製品と Windows パソコン、Mac、スマートフォン、iPhone / iPod touch / iPad / iPad mini、ゲーム機、WPS 対応機器を初めて無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する場合の操作について説明しています。

! ご注意

- iOS12 以前は WPA3 に対応していないため、WPA3 が含まれる暗号化モードでは、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続できない場合があります。iOS12 以前で無線 LAN (Wi-Fi®) 接続できない場合は、暗号化モードを WPA2 に変更してご利用ください。

memo

- ◎ セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているネットワーク名 (SSID) および暗号化キー (パスワード) を変更してください。変更のしかたは「8-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.86) を参照してください。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続のための設定は、本製品と各無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、2 回目以降、自動的に接続が再開されます (無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は無線 LAN (Wi-Fi®) 接続の設定を行うと、周辺に設定済みの接続可能な Wi-Fi ネットワークがあると、自動的に Wi-Fi ネットワークに接続されます。周辺に設定済みの接続可能な Wi-Fi ネットワークが複数ある場合は、最後に設定した Wi-Fi ネットワークに接続されます。
- ◎ 必要に応じて、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、「8 章 機能設定」(▶ P.78) を参照してください。
- ◎ 本製品は無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を同時に 16 台まで接続することができます。
- ◎ 本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。
- ◎ 本製品の「SSID」「ゲスト SSID」の ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) が有効になっていると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末で本製品を検出できません。ESS-ID ステルス機能については、「6-1 セキュリティ機能について」(▶ P.70) を参照してください。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 通信を安定させるために、以下の方法があります。
 - 「Wi-Fi 暗号化強化」機能を設定変更する
「Wi-Fi 暗号化強化」機能 (▶ P.86) は、Wi-Fi 管理フレームの一部を保護して無線 LAN (Wi-Fi®) 端末と通信します。無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との接続が不安定な場合は、本機能を「OFF」にしてください。
(初期設定:「ON」)
 - ◆ 補足◆
本機能は、「暗号化モード」が「WPA2-PSK (AES)」または「WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)」の場合に無効にすることができます。
本機能は、本機能の使用を要求してきた無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に対してのみ働きます。
 - 「IEEE 802.11ax モード」を設定変更する
本製品は IEEE 802.11ax 技術を利用し、複数の端末と同時に安定した通信を実現するため、「IEEE 802.11ax モード」は初期設定で「ON」に設定されています。(▶ P.86)
「IEEE 802.11ax モード」を「OFF」にすると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては通信が安定する場合があります。
 - 「帯域設定」(チャンネル) を変更する
本製品は W56(144ch) に対応しています。
「5GHz (屋外 144ch 含まない)」(▶ P.86) を選択すると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては通信が安定する場合があります。
 - 「暗号化モード」を変更する
本製品は、「暗号化モード」(▶ P.86) の初期設定は「WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)」です。
「WPA2-PSK (AES)」または「WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)」を選択すると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては通信が安定する場合があります。

■ SSID について

ご利用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末から選択する本製品のネットワーク名です。

本製品はマルチ SSID 機能に対応し、2つのネットワーク名 (SSID) があります。暗号化方式によって使用する「SSID」「WPA Key」が異なります。

- ネットワーク名 (SSID) : 暗号化方式が WPA3/WPA2/WPA で接続するときには使用します。
クイック設定 Web に無線 LAN (Wi-Fi®) で接続するときには使用します。
 - WPA 暗号化キー (PSK) : 暗号化方式が WPA3/WPA2/WPA で接続するときには使用する暗号化キー (パスワード) です。
 - ネットワーク名 (ゲスト SSID) : ゲスト用に使用する SSID です。
- ※一部のゲーム機などでは WPA3/WPA2/WPA で接続できない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、「6-1 セキュリティ機能について」(▶ P.70) を参照してください。

・ゲスト SSID について

ゲスト SSID は、来客者用などに一時的にインターネット環境を作ることができます。

本製品では、お買い上げ時の状態で「ゲスト SSID」はご利用になれません。

詳しくは、「8-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.86) を参照してください。

「ゲスト SSID」は有効時間を設定できます。(「ゲスト SSID 設定」(▶ P.87) 参照)

ゲスト SSID に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末からは、クイック設定 Web およびスマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」が利用できません。

■ 5GHz 帯の使用について

・DFS 機能

本製品は無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯での電波干渉を避けるため、法令 (電波法) により、DFS 機能を搭載しています。本製品が利用する無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz の周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本製品を利用する場所によっては気象レーダーなどの電波干渉が起きる可能性があります。

そこで、本製品が無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS 機能が作動し、電波干渉を起こさない無線 LAN (Wi-Fi®) 2.4GHz 帯に自動的に切り替えます。

周囲に同じ無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を使っている無線 LAN (Wi-Fi®) 端末などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなる場合があります。

・DFS チェックについて

無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を利用して、屋外で本製品を使用する場合、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがいないかを最低でも 1 分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書では「DFS チェック」と呼びます。本製品を無線 LAN (Wi-Fi®) 2.4GHz 帯から無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯に切り替えたときや、無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯の設定で本製品の電源を入れたときなどに、DFS チェックが作動します。DFS チェック中は、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が一時的に停止され、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が再開するまでに 1 分間*程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。本製品に接続している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との接続も切断されますので、必要に応じて無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で再接続の操作を行ってください。5GHz から 2.4GHz に切り替えるときは、DFS チェックは作動しません。

※ DFS チェックの結果によっては、さらに時間がかかる場合があります。

memo

- ◎ ご利用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯に対応しているかご確認ください。ご利用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に 5GHz 帯に対応していないものがある場合は、本製品の設定を 2.4G/5G 同時または 2.4GHz 帯にしてご利用ください。
- ◎ 周波数を「5GHz」に設定した場合は本製品のディスプレイに確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認して「OK」を選択・決定してください。本製品の状態によって、その後の動作は以下のように異なります。DFS チェック実行中は、本製品のディスプレイに DFS チェック実行中のメッセージが表示されます。
約 1 分間*経過すると DFS チェックが終了し、無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯が利用可能になります。
※ DFS チェックの結果によっては、さらに時間がかかる場合があります。また、W56 使用時に気象レーダーなどと干渉した場合は、再度 DFS チェックが実行されます。
- ◎ 5GHz に切り替える方法については、「5-1 5GHz 帯で利用する」(▶ P.54) または「9-1 ディスプレイメニュー一覧」(▶ P.100) を参照してください。
- ◎ 以下の場合には、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が再起動することがあります。
 - ・ キャリアアグリゲーション (CA) が切り替わる時
 - ・ 周波数の 2.4GHz と 5GHz を切り替える時
 - ・ 省電力モードを切り替える時
 - ・ 無線 LAN (Wi-Fi®) の設定項目を変更するとき
 - ・ 通信モードのスタンダード (ST) とプラスエリア (+A) を切り替える時

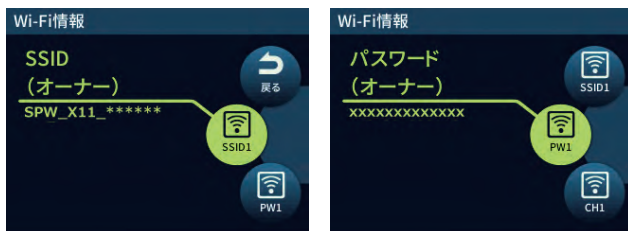
ディスプレイメニューで Wi-Fi 情報を確認する

■ SSID の場合

1 ホーム画面 - 「情報」 - 「Wi-Fi 情報」 を選択・決定する



2 Wi-Fi 情報画面で、「SSID (オーナー)」と「パスワード (オーナー)」を確認する



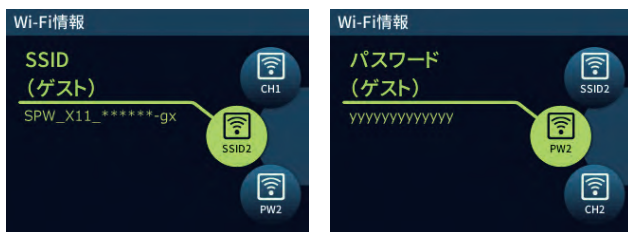
■ ゲスト SSID の場合

1 ホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「詳細設定」 - 「LAN 側設定」 で「ゲスト SSID」を「使用する」にする

ゲスト SSID が有効になります。

2 ホーム画面 - 「情報」 - 「Wi-Fi 情報」 を選択・決定する

3 Wi-Fi 情報画面で、「SSID (ゲスト)」と「パスワード (ゲスト)」を確認する



「Wi-Fi 情報 (初期値)」

下記の「***…」 「xxx…」 「yyy…」 は端末ごとに異なる値です。

ネットワーク名		暗号化キー (パスワード)	暗号化モード
SSID	SPW_X11_*****	xxxxxxxxxxxxxx	WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)
ゲスト SSID	SPW_X11_*****-gx	yyyyyyyyyyyyyy	WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)

■ ゲスト SSID について

本製品には 2 つのネットワーク「SSID」「ゲスト SSID」があります。本製品では、工場出荷時の状態で、「ゲスト SSID」はご利用できません。本製品のホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「詳細設定」 - 「LAN 側設定」画面でゲスト SSID を有効にするか、クイック設定 Web にて、ゲスト SSID を有効にしてください。 (▶ P.87)

■ 暗号化キーについて

接続のためのパスワードで、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれています。

初期値は、半角英数 13 桁 (0 ~ 9, a ~ f を使用) に設定されています。

- アルファベットの大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。
- 「b」(ビー) と「6」(ロク) を間違えないようご注意ください。なお「o」(オー) は使用していません。
- 英数字を 16 進数で入力する場合は読み替えてください。

読み替え方法：

英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	61	62	63	64	65	66

読み替え例：

0123456789abc → 30313233343536373839616263

- 暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8 ~ 63 桁の場合】 英数記号 (0 ~ 9, a ~ z, A ~ Z, 下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(.	:	>]	{	

- 「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】 16 進数 (0 ~ 9, a ~ f, A ~ F)

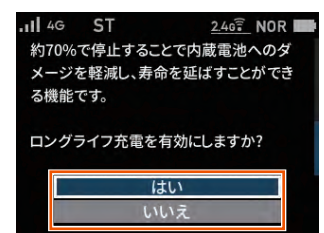
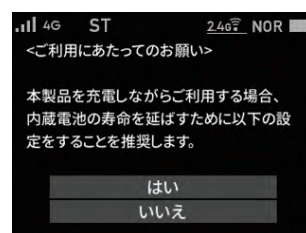
memo

◎ 暗号化モードに「WPA3-SAE (AES)」または「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」を設定している場合、64 桁の 16 進数を入力できません。(初期設定: 「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」)

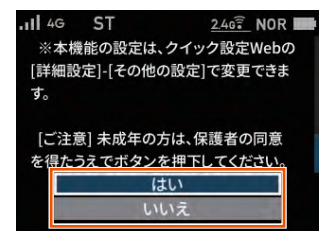
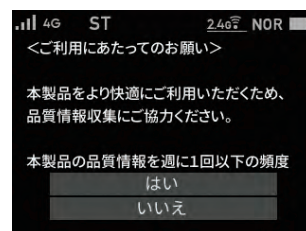
設定ウィザードを利用して無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する

設定ウィザードでは、WPS 機能を利用して簡単に接続する方法と、Wi-Fi 設定情報を手動入力して接続する方法のどちらかを選択し、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続します。WPS 機能に対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を利用する場合は、手動入力で行ってください。

- ご使用開始時、最初に電源を入れたとき (または初期化した後) は、設定ウィザードの前に「ご利用にあたってのお願い」(ロングライフ充電) が表示されます。ロングライフ充電を ON に設定するかどうかの確認です。下まで読んで「はい」または「いいえ」を選択・決定します。



- 「ご利用にあたってのお願い」(品質情報収集) が表示されます。品質情報を製造元 (NEC プラットフォームズ (株)) ヘレポート送信するかどうかの確認です。下まで読んで「はい」または「いいえ」を選択・決定します。



■ Wi-Fi 設定お引越し機能について

「Wi-Fi 設定お引越し」機能を使うと、以前に使用していたルータの無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を、本製品に引き継ぐことができます。設定のやり直しなどの作業が不要です。(「5-3 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う」(▶ P.62) 参照)

memo

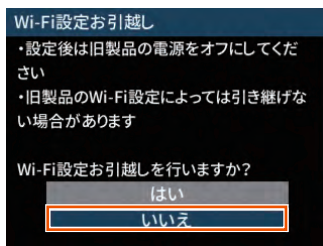
◎ 本製品の SSID とパスワード (セキュリティキー) は、本製品の情報メニューから確認できます。

操作方法: ホーム画面 - 「情報」 - 「Wi-Fi 情報」

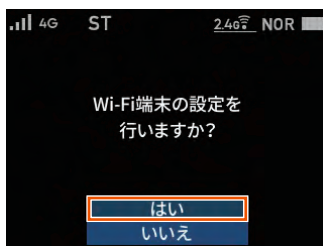
■ WPS 機能を利用して無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する場合

WPS 機能のプッシュボタン方式に対応している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末であれば、接続するために必要な SSID やセキュリティ方式などを入力することなく、簡単な操作で設定できます。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が WPS 機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などをご覧ください。

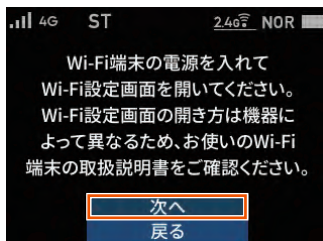
- 1 本製品のホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「Wi-Fi 接続」 - 「設定ウィザード」を選択・決定する
- 2 「設定ウィザードを開始しますか?」と表示されるので、「はい」を選択・決定する
- 3 「Wi-Fi 設定お引越し」機能の案内を下まで読んで、「いいえ」を選択・決定する



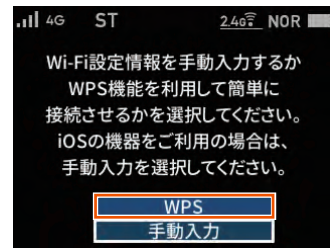
- 4 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の設定確認画面で「はい」を選択・決定する



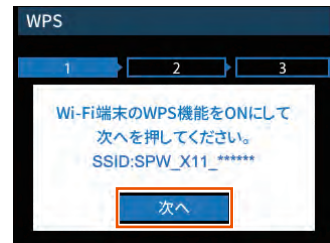
- 5 メッセージを確認し、「次へ」を選択・決定する



- 6 「WPS」を選択・決定する



- 7 SSID を確認し、「次へ」を選択・決定する



memo

◎ Wi-Fi 接続画面で「WPS」を選択・決定しても表示します。

- 8 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の接続設定画面を表示し、必要に応じて WPS 接続の準備をする
無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によって操作方法が異なります。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などをご覧ください。
- 9 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の WPS ボタンを押す
- 10 本製品の「WPS」を選択・決定する
本製品のディスプレイの「POWER」が緑/橙の交互点滅をします。



- 11 本製品に「接続に成功しました。」と表示されたら「終了」を選択・決定し、確認画面で「OK」を選択・決定する



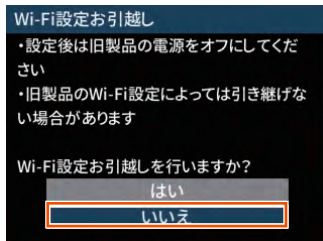
memo

- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が WPS 機能の PIN コード入力方式に対応している場合は、WPS PIN コードを利用して接続することもできます。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の操作方法については、お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などをご覧ください。本製品との接続は、クイック設定 Web を利用して行ってください。(▶ P.47)
- ◎ WPS 設定を利用した機器の接続中は、他の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の通信が切断される場合があります。
- ◎ MAC アドレスフィルタリングが設定された無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、WPS 設定に失敗する場合があります。

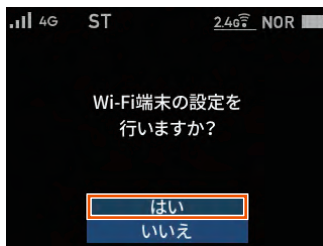
■ 手動で接続する場合

お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が WPS 機能に対応していない場合や、WPS 接続ができない場合などに手動で接続します。

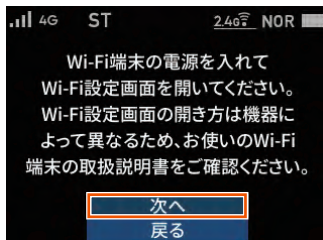
- 1 本製品のホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「Wi-Fi 接続」－「設定ウィザード」を選択・決定する
- 2 「設定ウィザードを開始しますか？」と表示されるので、「はい」を選択・決定する
- 3 「Wi-Fi 設定お引越し」機能の案内を下まで読んで、「いいえ」を選択・決定する



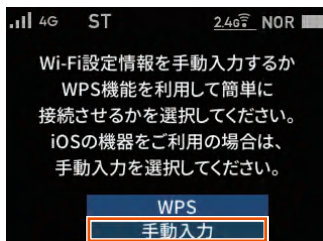
- 4 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の設定確認画面で「はい」を選択・決定する



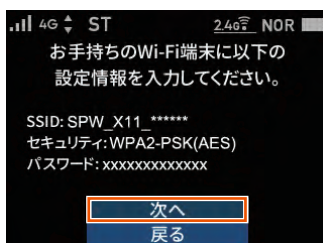
- 5 メッセージを確認し、「次へ」を選択・決定する



- 6 「手動入力」を選択・決定する



本製品の「SSID」と「パスワード」が表示されます。



- 7 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の接続設定画面を表示する

無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によって操作方法は異なります。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。

- 8 ネットワークを検索する

無線 LAN (Wi-Fi®) 機能を「ON」にしたり、「検索する」などして近くにあるネットワークを表示します。

- 9 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末のネットワーク一覧から、手順 6 の画面で表示された本製品の SSID を選択する

- 10 手順 6 の画面で表示されたパスワード(セキュリティキー)を入力し、設定を保存する

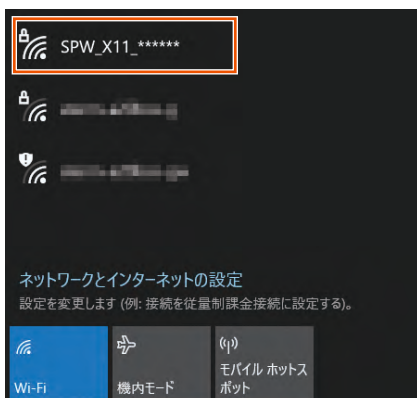
- 11 本製品の「次へ」を選択・決定し、「OK」を選択・決定する

Windows パソコンを接続する

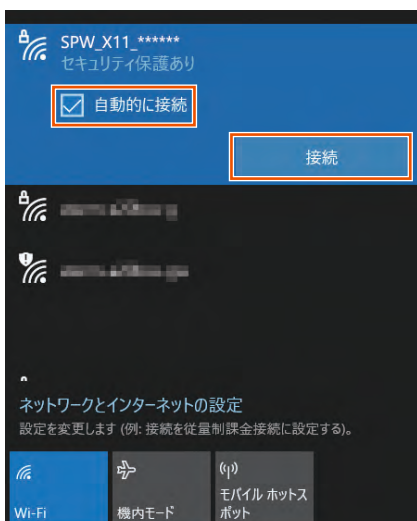
Windows® 10 で WPS による接続方法と手動で接続する方法を説明します。

■ WPS で接続する

- 1 パソコンの無線 LAN (Wi-Fi®) 機能を有効にする
設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているネットワークアイコンをクリックする
- 3 ネットワークの一覧の中から、本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する
本製品のネットワーク名 (SSID) は、ホーム画面 - 「情報」 - 「Wi-Fi 情報」 から確認してください。(▶ P.36)
- 4 「自動的に接続」にチェックを入れて、「接続」をクリックする



- 4 「自動的に接続」にチェックを入れて、「接続」をクリックする

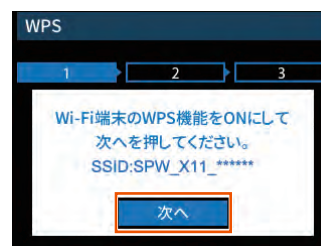


- 5 本製品のホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「詳細設定」 - 「Wi-Fi 接続」 - 「WPS」を選択・決定する

本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押してホーム画面表示にしてください。



- 6 「Wi-Fi 端末の WPS 機能を ON にして次へを押してください。SSID: SPW_X11_*****」と表示されるので、「次へ」を選択・決定する



- 7 「WPS ボタンを選択すると、設定を開始します。」と表示されるので、「WPS」を選択・決定する



- 8 「接続に成功しました。」と表示されるので、「終了」を選択・決定する



- 9 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する
接続台数が数字で表示されます。

■ 手動で接続する

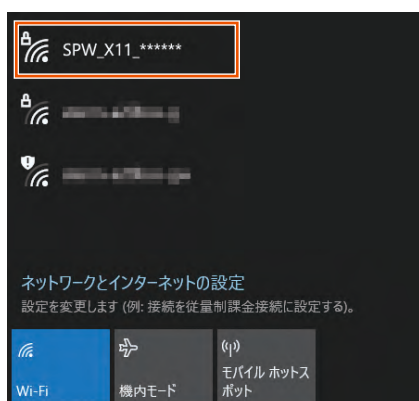
- 1 パソコンの無線 LAN (Wi-Fi®) 機能を有効にする
設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているネットワークアイコンをクリックする



・ネットワークアイコンが表示されていない場合は、「スタート」キー - 「設定」 - 「ネットワークとインターネット」 - 「Wi-Fi」 - 「利用できるネットワークの表示」をクリックする。

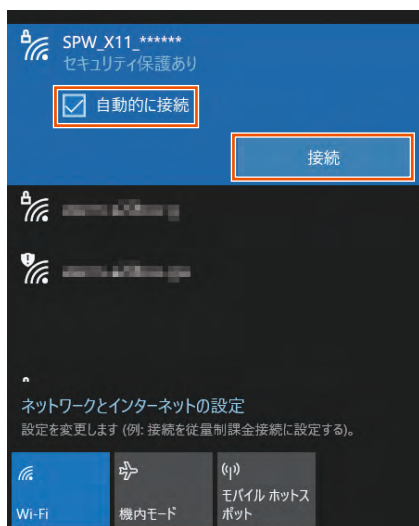
- 3 ネットワークの一覧の中から本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する

本製品のネットワーク名 (SSID) は、ホーム画面 - 「情報」 - 「Wi-Fi 情報」から確認してください。(▶ P.36)



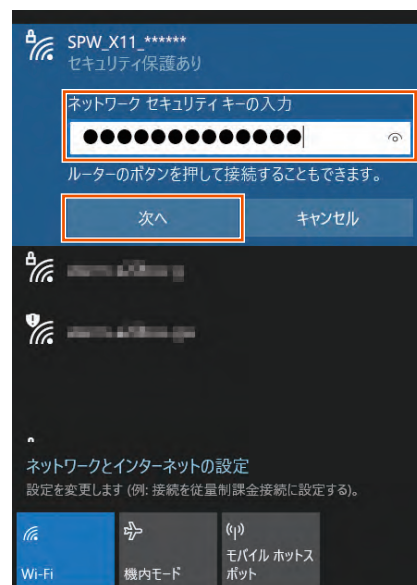
- 4 「接続」をクリックする

「自動的に接続」にチェックを入れておくと、次の接続からは自動的に接続されます。



- 5 本製品の暗号化キー (パスワード) を入力し、[次へ] をクリックする

本製品の暗号化キーは、ホーム画面 - 「情報」 - 「Wi-Fi 情報」から確認してください。(▶ P.36)



- 6 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

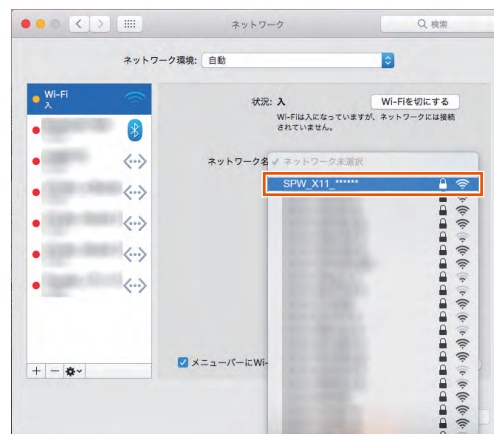
Mac を接続する

macOS v10.14 を手動で接続する方法を説明します。

■ 手動で接続する

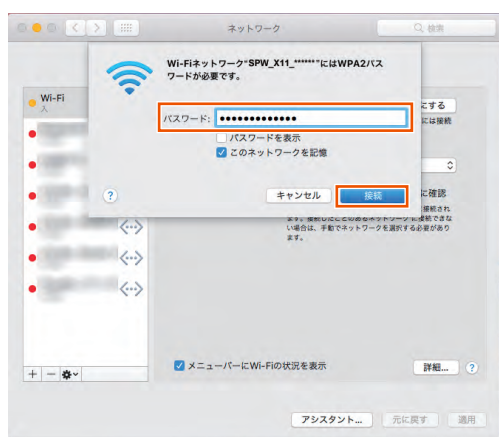
- 1 パソコンの無線 LAN (Wi-Fi®) 機能を有効にする
設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 アップルメニューの [システム環境設定] - [ネットワーク] アイコンをクリックする
- 3 サービスリストから [Wi-Fi] を選択する
- 4 [ネットワーク名] のプルダウンメニューで本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する

本製品のネットワーク名 (SSID) は、ホーム画面 - 「情報」 - 「Wi-Fi 情報」から確認してください。(▶ P.36)



- 5 [パスワード] に本製品の暗号化キー (パスワード) を入力して、[接続] をクリックする

本製品の暗号化キーは、ホーム画面 - 「情報」 - 「Wi-Fi 情報」 から確認してください。(▶ P.36)



- 6 「状況」に「接続済み」と表示される



- 7 画面を閉じる

- 8 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

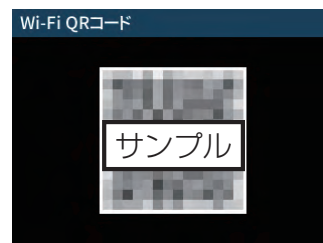
スマートフォン／タブレット (Android™ 端末) を接続する

無線 LAN (Wi-Fi®) 対応の Android 端末で Wi-Fi QR コードで接続する方法と手動で接続する方法を説明しています。

■ Wi-Fi QR コードで接続する

- Android の対応バージョン：10 以降

- 1 Android 端末のカメラを起動し、カメラビュー画面で、本製品のディスプレイから「Wi-Fi QR コード」を読み取る



- 本製品の表示方法：ホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「詳細設定」 - 「Wi-Fi 接続」 - 「Wi-Fi QR コード」 - 確認画面で「はい」 - QR コードを表示

- 2 Android 端末のカメラビュー画面下部に表示された「SPW_X11_*****」をタップし、Wi-Fi 画面で本製品が「接続済み」表示になっていることを確認する

- 3 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

! ご注意

- 暗号化キーに 64 桁の 16 進数を設定した場合、接続できません。
- 事前に同一 SSID の設定を Android 端末に登録している場合、Android 端末の設定は更新されません。
- ご使用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の機種とバージョンによっては、暗号化モードが「WPA3-SAE(AES)」のときは、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末のカメラビューでは、Wi-Fi QR コードを使った無線 LAN (Wi-Fi®) 接続ができないことがあります。

■ スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」で接続する

スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」の設定ウィザードを使用します。

- 1 Google Play ストアで「NEC WiMAX +5G Tool」をキーワードにアプリを検索してダウンロードおよびインストールする



memo

◎ スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。

2021 年 9 月現在では、Android 端末 (対応 OS: Android 11/10/9/8.1/8.0/7.1/7.0/6.0/5.1/5.0) でのご利用となります。

なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のデータ通信料はお客様まで負担となります。

- 2 スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」を起動する



- 3 「NEC WiMAX +5G Tool」のメイン画面で、☰ [メニュー] - 「設定ウィザード」をタップする



- 4 「設定を開く」をタップする



memo

© Android 端末の OS バージョンによっては、「QR コードを読む」が表示されていることがあります。その場合は、「QR コードを読む」をタップすると Android 端末のカメラが起動します。手順 7 に進みます。

- 5 「詳細」をタップする



- 6 「ネットワークを追加」の右側の QR コードマークをタップする

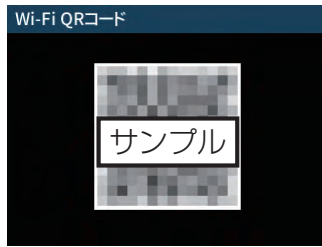
※ スマートフォンの機種によって画面が異なります。QR コードをスキャンする画面の表示方法は、ご使用のスマートフォンの取扱説明書などを参照してください。



<Android 11 の画面例 >

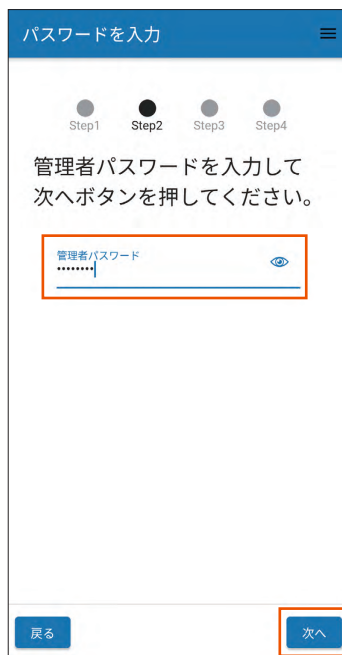
- Android 端末のカメラが起動します。

- 7 Android 端末のカメラビュー画面で、本製品のディスプレイから「Wi-Fi QR コード」を読み取る



- 本製品の表示方法：ホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「Wi-Fi 接続」－「Wi-Fi QR コード」－確認画面を下まで読んで [はい] を選択・決定－QR コードを表示
- QR コードを読み取ったら、⊙ を押し「ホーム画面に戻りますか？」画面で「はい」を選択・決定してホーム画面に戻ります。

- 8 スマートフォンアプリの設定ウィザード Step 2 で、管理者パスワードを入力し、[次へ] をタップする



- 「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

操作方法：ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「端末情報」－「管理者パスワードの初期値」

- 9 スマートフォンアプリの設定ウィザード Step 3 と Step 4 で、管理者パスワード・ネットワーク名 (SSID) ・暗号化キーを変更する

変更をスキップすることもできます。

- 詳細は、「5-2 スマートフォンアプリを使う」(▶ P.55) を参照してください。
- 変更した管理者パスワード・ネットワーク名 (SSID) ・暗号化キーは、控えておいてください。
- 管理者パスワード・ネットワーク名 (SSID) ・暗号化キーの変更を行うと、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続が切断されます。再度、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続してください。

- 10 「設定完了」画面で、SSID と PASS (暗号化キー) を確認して、[終了] をタップする



- スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」のメイン画面を表示します。

- 11 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

■ 手動で接続する

以下は、Android 端末での接続例です。Android 端末の取扱説明書などを参照してください。

- 1 Android 端末を起動し、[設定] をタップする
- 2 [Wi-Fi] を [ON] にしてから [Wi-Fi] をタップする
- 3 ネットワーク一覧画面より、本製品のネットワーク名 (SSID) をタップする
本製品のネットワーク名 (SSID) は、ホーム画面－「情報」－「Wi-Fi 情報」から確認してください。(▶ P.36)
- 4 本製品の暗号化キー (パスワード) を入力する (半角小文字)
本製品の暗号化キーは、ホーム画面－「情報」－「Wi-Fi 情報」から確認してください。(▶ P.36)
- 5 [接続] をタップする
- 6 Android 端末のステータスバーに Wi-Fi 接続中のアイコンが表示されたら、接続完了
- 7 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する
接続台数が数字で表示されます。

iPhone/iPod touch/iPad/ iPad mini を接続する

iOS/iPadOS 端末で Wi-Fi QR コードで接続する方法と手動で接続する方法を説明しています。

■ Wi-Fi QR コードで接続する

- iOS の対応バージョン：11.0 以降
- iPadOS の対応バージョン：13.0 以降

- 1 iOS/iPadOS 端末のカメラを起動し、カメラビュー画面で、本製品のディスプレイから「Wi-Fi QR コード」を読み取る



- 本製品の表示方法：ホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「Wi-Fi 接続」－「Wi-Fi QR コード」－確認画面で「はい」－QR コードを表示

- 2 iOS/iPadOS 端末のカメラビュー画面上部に表示された「Wi-Fi QR コード ネットワーク “SPW_X11_*****” に接続」をタップし、ポップアップされた確認画面で「接続」をタップする

! ご注意

- Wi-Fi QR コードで接続した SSID に対して、手動で接続を試みた場合（「ネットワークの選択」から本製品の SSID を選択した場合）、暗号化キーの再入力が必要となる可能性があります。
- 暗号化キーに 64 桁の 16 進数を設定した場合、接続できません。
- ご使用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の機種とバージョンによっては、暗号化モードが「WPA3-SAE(AES)」のときは、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末のカメラビューでは、Wi-Fi QR コードを使った無線 LAN (Wi-Fi®) 接続ができないことがあります。

- 3 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する
接続台数が数字で表示されます。

■ スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」で接続する

スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」の設定ウィザードを使用します。

- 1 App Store で「NEC WiMAX +5G Tool」をキーワードにアプリを検索してダウンロードおよびインストールする



memo

◎ スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン/タブレット端末でご利用いただけます。

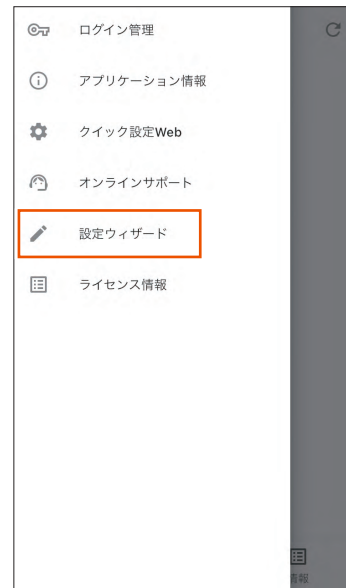
2021 年 9 月現在では、iOS 端末（対応 OS:iOS 14.x/13.x/12.x/11.x）、iPadOS 端末（対応 OS:iPadOS 14.x/13.x）でのご利用となります。

なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のデータ通信料はお客様ご負担となります。

- 2 スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」を起動する



- 3 「NEC WiMAX +5G Tool」のメイン画面で、≡（メニュー）－「設定ウィザード」をタップする

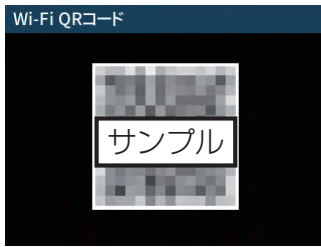


- 4 「QR コードを読む」をタップする



- iOS/iPadOS 端末のカメラが起動します。

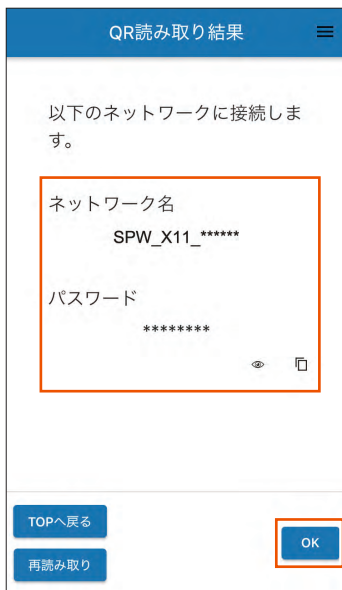
- 5 iOS/iPadOS 端末のカメラビュー画面で、本製品のディスプレイから「Wi-Fi QR コード」を読み取る



本製品の表示方法：ホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「Wi-Fi 接続」－「Wi-Fi QR コード」－確認画面を下まで読んで「はい」を選択・決定－QR コードを表示

- QR コードを読み取ったら、 を押し「ホーム画面に戻りますか？」画面で「はい」を選択・決定してホーム画面に戻ります。

- 6 「QR 読み取り結果」画面で、ネットワーク名とパスワードを確認して、**OK** をタップする

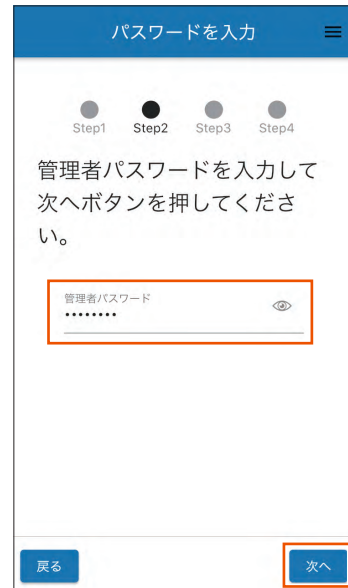


- 7 以降、画面に従い「接続」・「OK」をタップする

- 8 スマートフォンアプリの設定ウィザード画面 (Step 1) に戻るので、「次へ」をタップする



- 9 スマートフォンアプリの設定ウィザード Step 2 で、管理者パスワードを入力し、「次へ」をタップする



- 「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

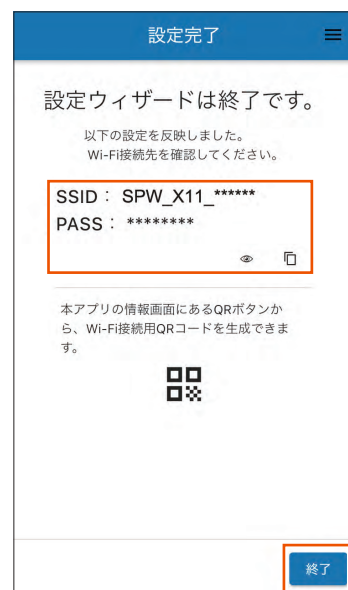
操作方法：ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「端末情報」－「管理者パスワードの初期値」

- 10 スマートフォンアプリの設定ウィザード Step 3 と Step 4 で、管理者パスワード・ネットワーク名 (SSID)・暗号化キーを変更する

変更をスキップすることもできます。

- 詳細は、「5-2 スマートフォンアプリを使う」(▶ P.55) を参照してください。
- 変更した管理者パスワード・ネットワーク名 (SSID)・暗号化キーは、控えておいてください。
- 管理者パスワード・ネットワーク名 (SSID)・暗号化キーの変更を行うと、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続が切断されます。再度、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続してください。

- 11 「設定完了」画面で、SSID と PASS (暗号化キー) を確認して、「終了」をタップする




- スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」のメイン画面を表示します。

- 12 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。


■ 手動で接続する

- 1 ホーム画面から [設定] をタップし、[機内モード] をオフに、[Wi-Fi] をオンにする
- 2 ネットワーク一覧画面より、本製品のネットワーク名 (SSID) をタップする
本製品のネットワーク名 (SSID) は、ホーム画面 - 「情報」 - 「Wi-Fi 情報」 から確認してください。(▶ P.36)
- 3 [パスワード] に本製品の暗号化キー (半角英数) を入力し、[Join] をタップする
本製品の暗号化キーは、ホーム画面 - 「情報」 - 「Wi-Fi 情報」 から確認してください。(▶ P.36)
- 4 iOS/iPadOS 端末のステータスバーに Wi-Fi® のアイコンが表示されたら、接続完了
- 5 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する
接続台数が数字で表示されます。

ゲーム機を接続する

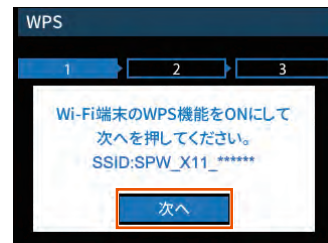
ゲーム機を WPS 機能で接続する方法を説明します。

事前に、ゲーム機本体の無線機能が「ON」になっていることをご確認ください。

- 1 ゲーム機側で、WPS を起動する
起動方法は、ゲーム機の取扱説明書などを参照してください。
- 2 本製品のホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「詳細設定」 - 「Wi-Fi 接続」 - 「WPS」を選択・決定する
本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押してホーム画面表示にしてください。



- 3 本製品の SSID を確認し、「次へ」を選択・決定する



- 4 本製品のディスプレイに表示されている「WPS」を選択・決定する



- 5 本製品のディスプレイに「接続に成功しました。」と表示されたら、「終了」を選択・決定する



- 6 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続が完了する
ゲーム機側のモニタなどで、結果を確認してください。

WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続する

本製品は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN (Wi-Fi®) の自動設定を行うことができます。
設定するには、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側も WPS に対応している必要があります。

WPS とは、Wi-Fi Alliance が策定した無線 LAN (Wi-Fi®) の接続設定を簡単に行うための規格です。


設定には、以下の方法があります。

- ・ ディスプレイメニューによる設定 (▶下記)
- ・ PIN 方式による設定 (▶下記)

! ご注意

- Android 11/10/9 は、機種によっては WPS 機能に対応していません。
- 本製品の暗号化モードに「WPA3-SAE (AES)」または「暗号化無効」を設定している場合、WPS 機能は使えません。

memo

- ◎ WPS 機能の接続設定は機器によって異なりますので、お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。
- ◎ 本製品の設定で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」(▶ P.70) が「ON」のとき、WPS 機能での設定に失敗します。本製品側の設定を確認してください。(▶ P.86)
- ◎ WPS 機能での設定中は他の無線接続はいったん切断されることがあります。
- ◎ 本製品は、工場出荷時の状態で自動消灯時間 (15 秒)、省電力状態切り替え機能 (休止状態) が設定されており、起動後 15 秒でディスプレイは消灯し、10 分後に休止状態になります。ディスプレイメニューによる設定を実行する際は、電源ボタン  を押してディスプレイを通常点灯させてから行ってください。

ディスプレイメニューによる設定

本製品のディスプレイメニューで WPS 機能を起動させて無線 LAN (Wi-Fi®) 接続します。設定方法は、「Windows パソコンを接続する」(▶ P.39) を参照してください。

設定の際は、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は近くに置いた状態で設定してください。(目安：1m 程度)

- ・ 操作方法：ホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「詳細設定」 - 「Wi-Fi 接続」 - 「WPS」

memo

- ◎ 本製品の設定で「MAC アドレスフィルタリング機能」が「ON」になっている場合、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては WPS 機能で設定できません。本製品側の設定を確認してください。(▶ P.86、P.87)

PIN 方式による設定

PIN 方式を使って、本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に設定します。

memo

- ◎ 本製品の設定で「MAC アドレスフィルタリング機能」が「ON」になっている場合、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては WPS 機能で設定できません。本製品側の設定を確認してください。(▶ P.86、P.87)

- 1 パソコンと本製品を USB ケーブル (市販品) で接続する
- 2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

- 3 ログイン画面で、管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックする

[パスワード] には管理者パスワードを入力してください。

- ・ 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.80) を参照してください。

- 4 「Wi-Fi 設定」の [WPS 設定] をクリックする

- 5 「Wi-Fi 端末の PIN コード」に無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の PIN コードを入力する

無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の PIN コードは、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。



- 6 「WPS (PIN 方式)」をクリックする



<画面は参考例です>

- 7 パソコンから USB ケーブル (市販品) を取り外して、10 秒待つ
- 8 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で WPS 機能を起動する
起動方法については、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。
- 9 本製品のディスプレイに「接続に成功しました。」と表示され、設定が完了する

3-2 USB で接続する

USB 接続モードについて

本製品とパソコンを USB ケーブル（市販品）で接続して、充電やデータ通信ができます。

本製品には次の 2 つの接続モードがあります。

- USB 通信「使用する」：USB 接続したパソコンから充電を行いながら、データ通信ができます。
- USB 通信「使用しない」：USB 接続したパソコンから充電のみを行います。

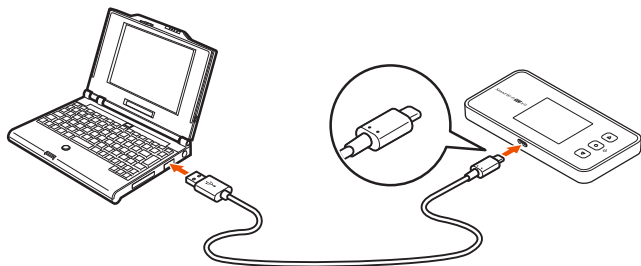
お買い上げ時の USB 接続モードは USB 通信「使用する」に設定されています。USB 接続でデータ通信を行うには、USB 接続モードを USB 通信を「使用する」に設定したまままでご利用ください。（▶ P.100）

Windows パソコンに USB で接続する場合

1 本製品の USB ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブル（市販品）で接続する

本製品のディスプレイに USB アイコン  が表示されます。

- USB コネクタ（Type C）は本製品の USB ポート（Type C）にまっすぐに差し込んでください。
- USB コネクタ（Type A）の表と裏を逆にすると接続できません。逆にした状態で無理に差すと USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。



Mac で USB 接続する場合

本製品を USB 接続で初めてネットワーク接続するとき、以下の設定が必要な場合があります。

macOS v10.14 の例：

- ①本製品とパソコンを USB ケーブル（市販品）で接続すると「新しいネットワークインターフェイスが検出されました」と画面表示される
- ②[“ネットワーク”環境設定] をクリックする
- ③[ネットワーク] の画面が表示されたら、IPv4 の構成で「DHCP サーバを使用」が表示されているのを確認し、[適用] をクリックする

memo

- ◎ USB コネクタ（Type A）の表と裏を逆にすると接続できません。無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。
- ◎ USB 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB 2.0 以上での使用をおすすめします。
なお、すべてのパソコンについて動作保証するものではありません。
本製品は USB ハブ（市販品）を使用して接続しないでください。
- ◎ 本製品を USB ケーブル（市販品）経由でパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（サスペンド/レジューム）または休止（ハイバネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず USB ケーブル（市販品）を取り外してから、スタンバイ（サスペンド/レジューム）または休止（ハイバネーション）を行ってください。
また、本製品を USB ケーブル（市販品）経由でパソコンに取り付けた状態で再起動や電源を入れると、正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に USB ケーブル（市販品）を取り外してください。
- ◎ 本製品を USB ケーブル（市販品）経由でパソコンに取り付けても動作しない場合は、いったん USB ケーブル（市販品）を取り外した上で約 5 秒以上待ってから再度取り付けてください。（お使いのパソコンや環境によっては、約 5 秒待ってから取り付けても正しく認識できない場合があります。その場合は、さらに時間をおいて、いったん本製品の電源を OFF/ON してから取り付けてください。）

4章 WAN側回線の接続設定

4-1 WAN側回線接続	50
4-2 通信モードを切り替える	51

4-1 WAN 側回線接続

本製品は、初期値で指定の WAN 側回線のプロファイル（インターネットサービスプロバイダなどの接続設定）が設定されていますので、通常はそのままお使いいただけます。

本製品にあらかじめ設定されているプロファイル（プロファイル名「Internet」）でインターネットの接続ができます。

新規にプロファイルを作成する場合

新規にプロファイルを作成する場合や、au 以外でご契約の WiMAX 事業者からインターネット接続に必要な接続設定情報（ユーザー名、パスワードなど）が指定されている場合は、以下の手順に従いクイック設定 Web でプロファイルの追加を行ってください。

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

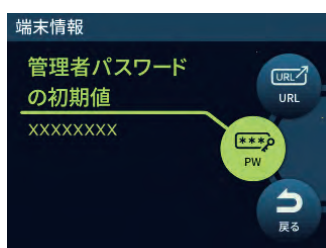
2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

3 ログイン画面で、管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックする

[パスワード] には管理者パスワードを入力してください。

- 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.80) を参照してください。
- 「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

操作方法：ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「端末情報」－「管理者パスワードの初期値」



4 「ネットワーク設定」の「プロファイル設定」をクリックする

5 「プロファイルリスト」で [no setup] を選択後、[選択] をクリックし、ご契約されている WiMAX 事業者の APN などの設定情報を入力し、[設定] をクリックする

- 表示内容はグレーアウトされている場合があります。
- ご不明な点はご契約された WiMAX 事業者にお問い合わせください。

6 「ネットワーク設定」の「接続設定」をクリックする

7 「プロファイル選択」で、上記で設定したプロファイルを選択し、[設定] をクリックする

4-2 通信モードを切り替える

WAN 側回線の電波受信レベルが不安定になったり圏外になったりしたときなど通信モードを切り替えると電波受信レベルが上がり、安定した WAN 側回線接続ができる場合があります。

本製品は、以下の通信モードを選択いただけます。

「スタンダード (ST)」モード	5G、LTE、または WiMAX 2+ ネットワークに接続します。
「プラスエリア (+A)」モード	5G、LTE、または WiMAX 2+ ネットワークに接続します。 「スタンダード (ST)」モードより広いエリアでの通信が可能となります。

※ 初期設定は、「スタンダード (ST)」モードです。

※ 「スタンダード (ST)」モードで通信できないエリアに移動した場合に、一時的に「プラスエリア (+A)」モードに切り替える「ワントタイム +A」モードがあります (▶ P.52)。

！ ご注意

- 「プラスエリア (+A)」モードまたは「ワントタイム +A」モードを設定するとお客様の料金プランによっては追加料金が掛かる場合がございますので、ご注意ください。

memo

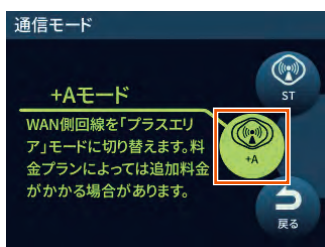
◎ au をご契約の場合、海外では、LTE 方式および UMTS 方式を利用してデータ通信を行うことができます。詳しくは「10-1 au 世界サービスについて」(▶ P.105) を参照してください。

「プラスエリア (+A)」モードに切り替える

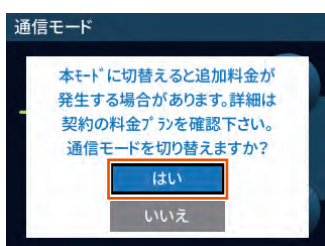
- 1 本製品のホーム画面-「クイックメニュー」-「通信モード」を選択・決定する



- 2 「+A モード」を選択・決定する



- 3 通信モード切り替えの確認が表示されるので「はい」を選択・決定する



- 4 ステータスバーに、「+A」が表示されることを確認する

memo

◎ 「スタンダード (ST)」モードに戻すときは、手順 2 の画面で「ST モード」を選択・設定します。

「プラスエリア (+A)」モードを利用規制する

「プラスエリア (+A)」モードへの通信モード切替をできないように規制する「プラスエリアモード規制」をクイック設定 Web で設定します。

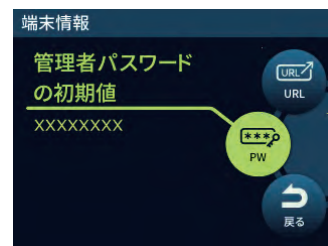
- 1 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

- 2 ログイン画面で、管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックする

[パスワード] には管理者パスワードを入力してください。

- 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.80) を参照してください。
- 「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

操作方法：ホーム画面-「情報」-「端末情報」-「端末情報」-「管理者パスワードの初期値」



- 3 「ネットワーク設定」の [基本設定] - 「基本設定」で、「プラスエリアモード規制」を ON にして、[設定] をクリックする

(初期設定：OFF)



- 4 確認画面で、[OK] をクリックする

「ワンタイム+A」モードに切り替える

「ワンタイム+A」モードに切り替えると、「プラスエリア (+A)」モードでデータ通信を行います。下記の条件になった場合に「スタンダード (ST)」モードに戻ります。

- ・ 休止
- ・ 電源 OFF
- ・ 解除するデータ通信時間に達したとき
- ・ 解除するデータ通信量に達したとき
- ・ 再起動

「スタンダード (ST)」モードで通信できないエリアに移動した場合に、一時的に「プラスエリア (+A)」モードを使って通信する時などに、通信モードの戻し忘れがなく便利です。

また、設定したデータ通信量を超えると「ワンタイム+A」モードが解除される「解除するデータ通信時間」と「解除するデータ通信量」を設定することもできます。

1 本製品のホーム画面－「クイックメニュー」－「ワンタイム+A」を選択・決定する

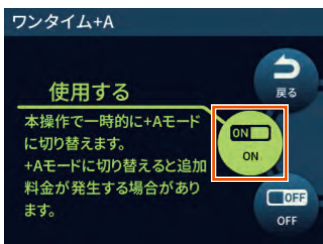


2 「ワンタイム+A」の「使用する」を選択・決定して、有効にする

「解除するデータ通信時間」で 1 ～ 10 時間の範囲で数値を変更できます (初期値: 10 時間)。

「解除するデータ通信量」で 1 ～ 150GB の範囲で数値を変更できます (初期値: 14GB)。

ここで設定したデータ通信時間またはデータ通信量を超えると「ワンタイム+A」モードが解除され、「スタンダード (ST)」モードに戻ります。



3 ステータスバーに、+A が表示されることを確認する

memo

- ◎ 「ワンタイム+A」モードを解除するときは、手順 2 の画面で「ワンタイム+A」を「使用しない」を選択・決定する、またはホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「ネットワーク」－「ワンタイム+A」で、「ワンタイム+A」を「使用しない」を選択・決定する。



- ◎ 「ワンタイム+A」モード設定時、通信モードを「プラスエリア (+A)」モードに設定した場合、「ワンタイム+A」モード設定は解除されます。
- ◎ 「解除するデータ通信量」設定 (▶ P.84) は、通信量カウンターやカウントしたデータ通信量表示には影響しません。

5章 便利な機能

5-1 5GHz 帯で利用する	54
5-2 スマートフォンアプリを使う	55
5-3 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う	62
5-4 ECO 機能を使う	63
5-5 データ通信量推移を確認する	65
5-6 データ通信量で通信を制限する	66
5-7 その他の便利な機能	67

5GHz 帯と 2.4GHz 帯を同時利用する

5GHz 帯と 2.4GHz 帯の周波数帯を同時に利用する設定ができます。

！ ご注意

- 周波数帯の自動切替機能はありません。
- 動作モードが「ブリッジモード (USB/ クレードル)」または「ブリッジモード (Wi-Fi)」の場合、「Wi-Fi 周波数設定」はできません。
- IEEE 802.11ax モードを ON (初期設定 : ON) にしても、2.4GHz/5GHz 同時通信にした場合、5GHz は IEEE 802.11ax になりますが、2.4GHz は IEEE 802.11n 通信のままです。

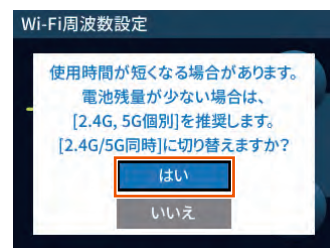
1 本製品のホーム画面－「クイックメニュー」－「Wi-Fi 周波数設定」を選択・決定する





2 「2.4G/5G 同時 (屋内)」、 「2.4G/5GHz 同時 (屋外)」 または 「2.4G/5GHz (屋外、144ch 有)」 を選択・決定する



3 Wi-Fi 周波数設定の切り替え確認が表示されるので「はい」を選択・決定する



memo

- ◎ ステータスアイコン表示 : 2.4G/5G 同時 (屋内) 設定時 :  2.4G/5G 同時 (屋外) 設定時 : 

5-1 5GHz 帯で利用する

本製品では、無線 LAN (Wi-Fi[®]) に 5GHz 帯を利用することができます。

！ ご注意

- 5GHz 帯域を使用する場合、5.2GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 「5GHz 帯 (屋内)」で使用しているとき、ウェーティングや休止状態に移行しても、「5GHz 帯 (屋内)」を使用しています。屋外に移動しないでください。屋外に移動する場合は、設定を「5GHz (屋外)」または「2.4GHz」に変更してください。
- 「5GHz (屋外)」を選択したときは、気象レーダーなどの干渉を避けるために DFS チェック (▶ P.35) が行われ、ディスプレイ上は「利用チャンネル確認中」が表示されます。
- Wi-Fi 周波数設定の設定後、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続が切断されます。再度、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続してください。
- 動作モードが「ブリッジモード (USB / クレードル)」または「ブリッジモード (Wi-Fi)」の場合、「Wi-Fi 周波数設定」はできません。
- 国際ローミング (au をご契約のみ対応) 有効時は、5GHz 帯は無効になります。

本製品のディスプレイメニューまたはクイック設定 Web で設定します。

■ ディスプレイメニューで設定する場合

1 本製品のホーム画面－「クイックメニュー」－「Wi-Fi 周波数設定」を選択・決定する

2 「5GHz (屋内)」、 「5GHz (屋外)」 または 「5GHz (屋外、144ch 有)」 を選択・決定する



3 ディスプレイに次のメッセージが表示されることを確認し、「OK」を選択・決定する

- 本製品のご使用開始時 (または初期化した後) は、「5GHz 帯 Wi-Fi の利用上の注意事項」が表示されます。

屋内の場合 : 「5GHz (屋内)」を使用します。屋内でのみご利用ください。屋外移動時は帯域を変更してください」

屋外の場合 : 無線チャンネル確認の後、「5GHz (屋外)」を使用します」

■ クイック設定 Web で設定する場合

1 クイック設定 Web を起動する (▶ P.79)

2 パスワードを入力し [ログイン] をクリックする

[パスワード] には管理者パスワードを入力してください。

- 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」 (▶ P.80) を参照してください。

3 「Wi-Fi 設定」の [Wi-Fi 設定] をクリックする

4 「Wi-Fi 周波数設定」の「帯域設定」で「5GHz (屋内)」、 「5GHz (屋外 144ch 含む)」 または 「5GHz (屋外 144ch 含まない)」 を選択する

5 [設定] をクリックする

6 メッセージが表示されるので、内容を確認して [OK] をクリックする

5-2 スマートフォンアプリを使う

本製品の情報を、スマートフォンなどにインストールした「NEC WiMAX +5G Tool」で確認することができます。
ファームウェアの更新や休止状態への移行、インターネットの接続先切り替えなどを画面操作で行うこともできます。

<アプリでできること>

確認・操作項目	内容	掲載画面
本製品の状態表示	WAN 側回線の種類	メイン画面
	アンテナレベルと電波状態	メイン画面
	通信モード	
	LAN 側状態 (周波数帯と接続台数)	メイン画面
	電池残量	メイン画面
	データ通信量 (月間、3日間)	メイン画面
	データ通信量推移(グラフ) (月間、3日間)	メイン画面
	WAN 側 IP 情報	情報表示画面
	ファームウェアバージョン	情報表示画面
	電話番号	情報表示画面
お知らせ	ステータスバー	
変更 / 設定操作	休止状態に移行	クイックメニュー画面
	ワンタイム +A モードに切り替え	クイックメニュー画面
	省電力モード切り替え	クイックメニュー画面
	通信モード切り替え	ネットワーク設定画面
	プロファイル設定	ネットワーク設定画面
	Wi-Fi 帯域切り替え	LAN 設定画面
	再起動	メンテナンス画面
	ログイン管理	メニュー画面
	ファームウェアの更新	最新のファームウェアがあるとき、起動画面
通信確認操作	インターネット接続確認	メンテナンス画面
アクセス(起動)操作	クイック設定 Web 起動	メニュー画面
	オンラインサポートページ起動	メニュー画面

<設定手順例>

- 通信モードの切り替え：メイン画面 - ⚙️ (設定) - [ネットワーク設定] で、「ST:スタンダードモード」/「+A:プラスエリアモード」から選択し、**設定適用** をタップ
 - 「ワンタイム +A モード」に切り替えるときは、メイン画面 - ⚙️ (クイックメニュー) - Ⓜ️ (ワンタイム +A) をタップし、確認画面で [OK] をタップ
- Wi-Fi 帯域の切り替え：メイン画面 - ⚙️ (設定) - [LAN 設定] の「帯域設定」で、「使用しない」/「2.4GHz」/「5GHz」/「2.4GHz/5GHz」から選択
「5GHz」または「2.4GHz/5GHz」を選択時は、「5GHz 設定」で、「5GHz 屋内」/「5GHz 屋外 144ch 含まない」/「5GHz 屋外 144ch 含む」から選択
選択後、**設定適用** をタップ
- 省電力モードの切り替え：メイン画面 - ⚙️ (クイックメニュー) - Ⓜ️ (省電力モード) で、「ハイパフォーマンス (通信速度優先)」/「ノーマル (バランス)」/「エコ (電池優先)」から選択し、**設定適用** をタップし、確認画面で [OK] をタップ

⚠️ ご注意

- スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」は、ゲスト SSID に接続しているスマートフォンや、プライバシーセパレータ機能が有効な SSID に接続しているスマートフォンからはご利用できません。

「NEC WiMAX +5G Tool」をダウンロード／インストールする

- スマートフォンなどから、Google Play ストアや App Store で「NEC WiMAX +5G Tool」をキーワードにアプリを検索してダウンロードページを開く

< Google Play ストア >



< App Store >



(2021年9月現在)

memo

© 2021年9月現在では、Android 端末 (対応 OS : Android 5.0 以降) および iOS 端末 (対応 OS : iOS 11.0 以降)、iPadOS 端末 (対応 OS : iPadOS 13.0 以降) でのご利用となります。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のデータ通信料はお客様ご負担となります。

- ダウンロードページから「NEC WiMAX +5G Tool」をダウンロードおよびインストールする
- スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」を起動する

接続設定ウィザード

本製品とスマートフォンなどとの接続が切断されている場合、「装置情報の取得に失敗しました」と表示します。

≡ (メニュー) - [設定ウィザード] をタップすると、Wi-Fi 接続設定を開始し、Wi-Fi QR コードを使って本製品と接続できます。

- 管理者パスワードが必要です。
- 「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

操作方法：ホーム画面 - 「情報」 - 「端末情報」 - 「端末情報」 - 「管理者パスワードの初期値」

(スマートフォンアプリとクイック設定 Web のパスワードは、同じ管理者パスワードを使用します。)



[QR コードを読む] が表示されているときはタップし、カメラビュー画面で、本製品のディスプレイから「Wi-Fi QR コード」を読み取る (▶次ページ)

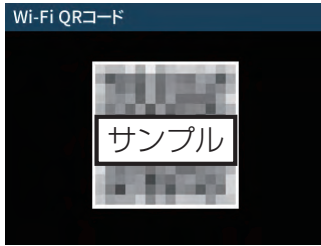


<Android 11 端末の画面例 (※)>

<Android 11 端末の画面例 (※)>

※スマートフォンの機種によって画面が異なります。QR コードをスキャンする画面の表示方法は、ご使用のスマートフォンの取扱説明書などを参照してください。

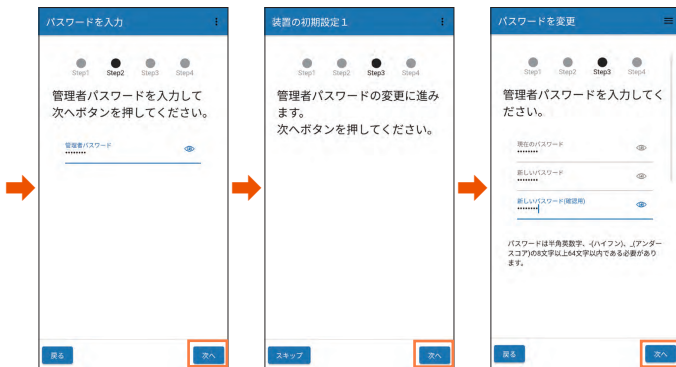
無線 LAN (Wi-Fi®) 端末のカメラビュー画面で、本製品のディスプレイから「Wi-Fi QRコード」を読み取る。



- 本製品の表示方法：ホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「詳細設定」 - 「Wi-Fi 接続」 - 「Wi-Fi QRコード」

Step 2 で、管理者パスワードを入力し、[次へ] をタップする
Step 3 と Step 4 で、管理者パスワード・ネットワーク名 (SSID) ・暗号化キーの変更ができます。

- 変更した管理者パスワード・ネットワーク名 (SSID) ・暗号化キーは、控えておいてください。
- 管理者パスワード・ネットワーク名 (SSID) ・暗号化キーの変更を行うと、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続が切断されます。再度、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続してください。



※ スキップすることもできます。



※ スキップすることもできます。

memo

- ◎ 「利用規約」画面が表示されたら、「同意する」にチェックを入れて、[次へ] をタップしてください。
- ◎ クイック設定 Web から管理者パスワードを変更済みの場合、Step 3 以降はスキップします。
- ◎ 本製品との通信に失敗、もしくは、本製品側が処理中で情報の取得ができなかった場合は、エラーが表示されるので、🔄 (情報更新) をタップして情報を取得してください。
- ◎ スマートフォンアプリのメニューや機能は、バージョンアップによって変更される場合があります。

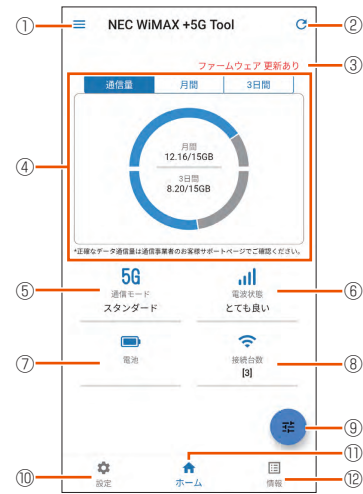
情報表示

情報は、一定間隔で更新されます。現在のステータスを確認したい場合は、「NEC WiMAX +5G Tool」アプリのメイン画面で 🔄 (情報更新) をタップしてください。

本製品とスマートフォンなどとの接続が切断されている場合は、🔄 (情報更新) をタップしても、情報が更新されません。接続し直してください。表示内容は参考です。OS やバージョンによって異なります。

※本製品で、ディスプレイ表示中のときは、「NEC WiMAX +5G Tool」で設定できません。また、「NEC WiMAX +5G Tool」で設定中に本製品のディスプレイを操作すると、「NEC WiMAX +5G Tool」での設定が中断される場合があります。ディスプレイをホーム画面表示にしてください。

メイン画面



< Android 端末の画面例 >

① **メニュー**

メニュー (ログイン管理、アプリケーション情報、クイック設定 Web、オンラインサポート、設定ウィザード、ライセンス情報) を表示します。

② **情報更新**

手動で情報を取得できます。

③ **メッセージ**

メッセージを表示します。

④ **データ通信量**

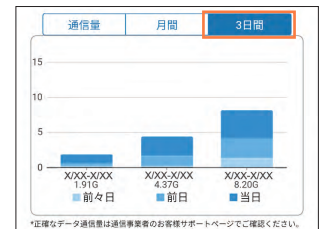
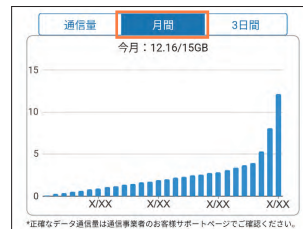
月間と3日間のデータ通信量を表示します。

月間の通信量および上限値、本日までの3日間の通信量および上限値を表示します。

「月間」とタップすると、今月のデータ通信量をグラフ表示します。

「3日間」とタップすると、本日から2日前までの日ごとのデータ通信量をグラフ表示します。

また、クイック設定 Web の「通信量カウンター」(▶ P.85) で、設定値を変えることができます。



⑤ **通信モード**

利用している WAN 側回線の種類 (5G/4G) と通信モード (スタンダード / プラスエリア) を表示します。

⑥ **アンテナレベル (アンテナバーで表示) と電波状態**

WAN 側回線の信号の強度を 4 段階で表示します。(圏外の時は、アイコン表示しません。)

電波状態を表示します。

⑦ 電池残量

電池アイコンで表示します。  は充電中の表示です。

%表示するときは、「電池残量表示 (%)」を「使用する」にします。(▶ P.100)

⑧ LAN 側情報

無線 LAN (Wi-Fi®) の状態 (電波状態) と接続している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の台数を表示します。

⑨ クイックメニュー

クイックメニュー (省電力モード、ワнтаイム +A、休止) を表示します。

⑩ 設定

設定メニュー (ネットワーク設定、LAN 設定、SSID 設定、ゲスト SSID 設定、省電力モード、メンテナンス) と「クイック設定 Web を開く」を表示します。

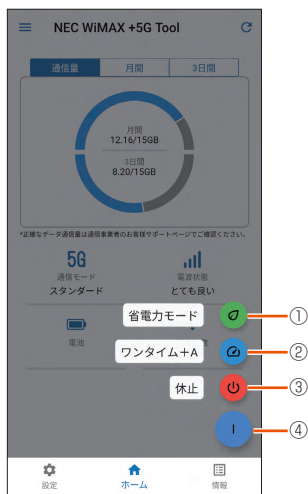
⑪ ホーム

ホーム画面 (メイン画面) に戻します。

⑫ 情報表示

情報メニュー (端末情報、Wi-Fi 情報) を表示します。

クイックメニュー画面



< Android 端末の画面例 >

① 省電力モード

省電力モード画面を表示します。

② ワнтаイム +A

「ワнтаイム +A」モード設定 (または設定解除) 画面を表示します。

※「プラスエリアモード規制」を「ON」にしている場合は表示しません。

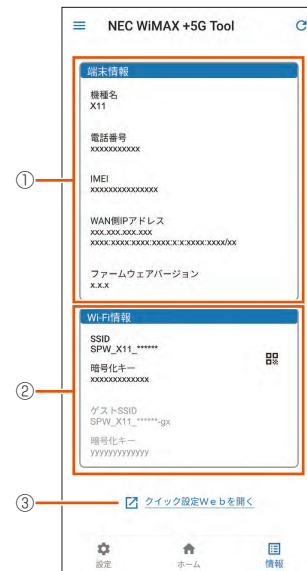
③ 休止

本製品の休止設定を行う画面を表示します。

④ 閉じる

クイックメニューを閉じるときタップします。

情報表示画面



< Android 端末の画面例 >

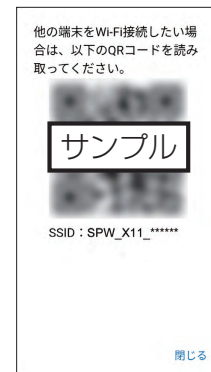
① 端末情報

機種名、電話番号 (SIM カードの電話番号)、IMEI、WAN 側 IP アドレス、ファームウェアバージョンを表示します。

② Wi-Fi 情報

無線 LAN (Wi-Fi®) 接続するための Wi-Fi 情報 (SSID とゲスト SSID それぞれの SSID、暗号化キー、QR コード) を表示します。

 をタップすると、他の端末を無線 LAN (Wi-Fi®) 接続したい場合の QR コードと本製品の SSID を表示します。



③ クイック設定 Web を開く

クイック設定 Web 画面を開くときタップします。

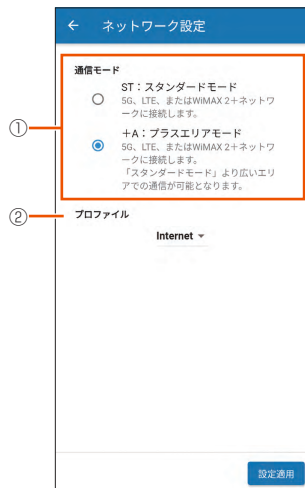
設定

設定メニュー（ネットワーク設定、LAN 設定、オーナー SSID 設定、ゲスト SSID 設定、省電力モード、メンテナンス）から、各種設定ができます。クイック設定 Web を開くこともできます。



< Android 端末の画面例 >

ネットワーク設定画面



< Android 端末の画面例 >

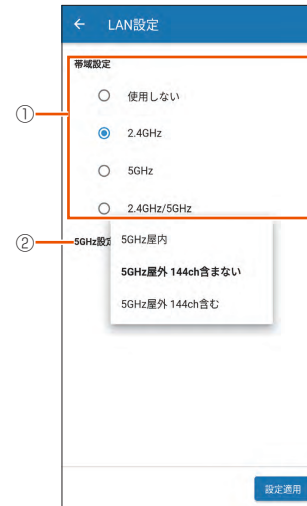
① 通信モード切り替え

「ST：スタンダードモード」、「+A：プラスエリアモード」から選択します。
 ・「+A：プラスエリアモード」に設定すると、お客様の料金プランによっては追加料金が掛かる場合がございますので、ご注意ください。

② プロファイル設定

「Internet」、…から選択します。
 ・選択後、**設定適用** をタップします。

LAN 設定画面



< Android 端末の画面例 >

① 帯域設定

「使用しない」／「2.4GHz」／「5GHz」／「2.4GHz/5GHz」から選択します。

② 5GHz 設定

帯域設定で「5GHz」または「2.4GHz/5GHz」を選択時に、「5GHz 屋内」／「5GHz 屋外 144ch 含まない」／「5GHz 屋外 144ch 含む」を選択します。

・選択後、**設定適用** をタップします。

SSID 設定画面



< Android 端末の画面例 >

① SSID 設定

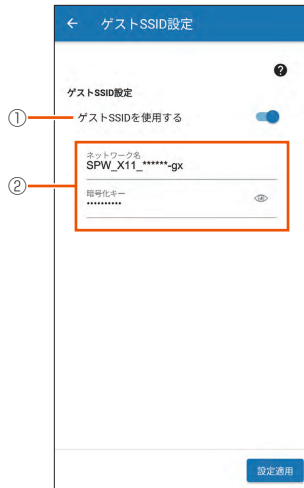
ネットワーク名と暗号化キーを入力できます。

② Wi-Fi 暗号化強化

Wi-Fi 暗号化強化を ON/OFF します。

・選択後、**設定適用** をタップします。

ゲストSSID 設定画面



< Android 端末の画面例 >

① ゲスト SSID 設定

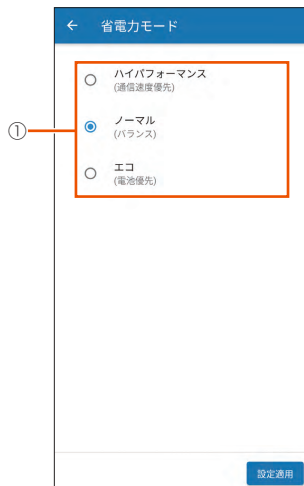
「ゲスト SSID を使用する」を ON/OFF 設定します。

② SSID 設定

ゲスト SSID のネットワーク名と暗号化キーを入力できます。
「ゲスト SSID を使用する : OFF」のときは、入力できません。

- 選択後、**設定適用** をタップします。

省電力モード画面



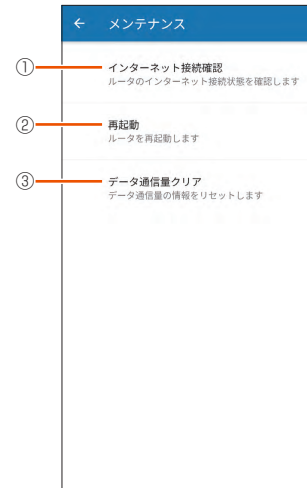
< Android 端末の画面例 >

① 省電力モード

「ハイパフォーマンス (通信速度優先)」／「ノーマル (バランス)」／「エコ (電池優先)」から選択します。

- 選択後、**設定適用** をタップします。

メンテナンス画面



< Android 端末の画面例 >

① インターネット接続確認

インターネットに接続しているか確認する場合にタップします。

② 再起動

再起動するときはタップします。

③ データ通信量クリア

データ通信量をクリアします。

- カウンタをクリアするので、クイック設定 Web の「通信量カウンター」(▶ P.85) で設定をしている場合は、注意してください。

■ ファームウェアの更新

現在お使いのバージョンよりも新しいファームウェアが存在している場合、アプリを起動すると、「新しいファームウェア更新があります。クイック設定 Web を表示しますか」と表示されるので、メッセージを確認し、[はい] をタップします。

クイック設定 Web が起動するのでログインします。(▶ P.80)

ファームウェア更新画面が表示されたら、[確認 / 更新] ボタンをタップし、ファームウェアの更新を完了してください。



<Android 端末の画面例 >

■ リモート起動

スマートフォンアプリを用いて本製品を休止状態から起動させることができます。リモート起動を使用するときは、あらかじめクイック設定 Web 画面にて次の設定が必要です。

- ・ [ECO 設定] - [ECO 設定] - 「自動省電力設定」の「省電力状態切り替え機能」を「休止状態」に設定 (初期設定: 休止状態)

リモート起動はスマートフォンの Bluetooth® 機能を用いて手動でも行うことができます。

休止状態から起動する (リモート起動)

本製品が休止状態のときにスマートフォンなどにインストールした「NEC WiMAX +5G Tool」や Bluetooth® 搭載端末からの操作で、すぐに起動することができます。

! ご注意



- リモート起動は、本製品が休止状態のときにご利用いただけます。
- スマートフォンの機種によっては、他の Bluetooth® 機器を使用しているとリモート起動の動作が正常に動作しない場合があります。その場合は、他の Bluetooth® 機器をいったん停止してから使用してください。
- リモート起動をご利用する際は、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末と本製品の距離を 10m 以上離さないでください。

■ 休止状態にする

■ アプリで休止状態にする

1 本製品とスマートフォンが無線 LAN (Wi-Fi®) 接続されていることを確認する

2 「NEC WiMAX +5G Tool」を起動する

3  (クイックメニュー) をタップし、 (休止) をタップする

メッセージが表示されるのでメッセージの内容を確認後、[OK] をタップします。画面がグレースアウトし、休止状態となります。



■ クイック設定 Web で休止状態に設定する


クイック設定 Web の「ECO 設定」 - 「ECO 設定」で設定します。

「自動省電力設定」の「省電力状態切り替え機能」で「休止状態」に設定します。

■ 本製品の電源ボタン を長押しして、休止状態に設定する

あらかじめ休止状態に設定されているか確認してください。

- ・ 本製品のディスプレイで休止状態に設定していることを確認するには、充電中に電源ボタン  を押してください。休止状態のときは、 が表示されます。


1 ディスプレイがホーム画面表示されていることを確認し、電源ボタン  を長押しする

2 電源オプション画面で「休止」を選択・決定する

■ 起動方法

■ アプリでリモート起動する

1 「NEC WiMAX +5G Tool」を起動する



2 「装置情報の取得に失敗しました」画面に  のボタンが表示されたらタップする

メッセージが表示されるので [OK] をタップします。

3 本製品がリモート起動する

本製品のディスプレイに「NEC」と表示され、起動します。

! ご注意

- 本製品の電源ボタン  を長押し、またはクイック設定 Web にて休止状態にしていた場合、「NEC WiMAX +5G Tool (iOS 版)」で「リモート起動」が表示されないことがあります。その場合は、「NEC WiMAX +5G Tool (iOS 版)」を終了し、再起動させてください。
-  (メニュー) - 「ログイン管理」画面で「アプリによるリモート起動」が「ON」設定時に有効です。(初期設定: ON)

■ スマートフォンから Bluetooth® 機能でリモート起動する

デバイス名は本製品のホーム画面－「情報」－「端末情報」－「Bluetooth 情報」－「デバイス名（リモート起動）」で前もって確認しておきます。

・デバイス名は、「NEC WiMAX +5G Tool」のアプリケーション情報でも確認できます。（▶ P.56）

1 スマートフォン側の Bluetooth® 機能を有効にする

スマートフォン側の Bluetooth® 機能についてはスマートフォンの取扱説明書を確認してください。

2 Bluetooth® 検索をする

3 検索結果から本製品のデバイス名を選択してタップする

・デバイス名は、本製品が休止状態のときにスマートフォン側の Bluetooth® 検索結果に表示されます。

4 本製品がリモート起動する

本製品のディスプレイに「NEC」と表示され、起動します。

！ ご注意

- Bluetooth® 機能を使ってリモート起動する際、スマートフォン側で「ペアリング失敗 *****.bt と通信できません」などと表示されてもリモート起動が正常に行われている場合もあります。

お知らせ機能

スマートフォンなどにインストールした「NEC WiMAX +5G Tool」で、本製品の電池残量低下やデータ通信量の状況（お知らせ）を通知します。事前に、本製品のバッテリー切れや速度制限がかかるデータ通信量などの状況を把握することができます。

！ ご注意

- スマートフォンが通知を受け取れる状態（通知許可）であることが必要です。
- 本製品のホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「データ通信量」－「月次通信量」－「超過通知機能」が「通知する」（初期値）の設定時に有効です。（▶ P.101）
- iOS をご利用の場合は、通知が遅くなる場合があります。

■ 表示内容

メッセージ	表示例	説明
バッテリー残量が低下しています。	①	電池残量が 20%以下になると通知します。
本日までの 3 日間の通信量が上限を超えました。	②	日次（3 日間）の通信量が上限を超えると通知します。*1
本日までの 3 日間の通信量が通知するデータ通信量を超えました	③	日次（3 日間）の通信量が「通知するデータ通信量設定」の数値を超えると通知します。*2
月間通信量が上限を超えました。	④	月次の通信量が上限を超えると通知します。*3
月間データ通信量が通知するデータ通信量を超えました。	⑤	月次通信量が「通知するデータ通信量設定」の数値を超えると通知します。*4

* 1：上限値は、クイック設定 Web の「ネットワーク設定」－「通信量カウンター」－「日次通信量」の「上限値（3 日間）」（▶ P.85）で設定した数値

* 2：クイック設定 Web の「ネットワーク設定」－「通信量カウンター」－「日次通信量」の「通知するデータ通信量設定」（▶ P.85）で設定した数値

* 3：上限値は、クイック設定 Web の「ネットワーク設定」－「通信量カウンター」－「月次通信量」の「最大データ通信量設定」（▶ P.85）で設定した数値

* 4：クイック設定 Web の「ネットワーク設定」－「通信量カウンター」－「月次通信量」の「通知するデータ通信量設定」（▶ P.85）で設定した数値

・「超過通知機能」を「通知して通信を停止」に設定していると、通信を停止します。（「5-6 データ通信量で通信を制限する」（▶ P.66）参照）

■ 表示例

スマートフォンなどのステータスバーに表示される通知内容を確認してください。

- NEC WiMAX +5G Tool
バッテリー残量が低下しています。
- NEC WiMAX +5G Tool
本日までの3日間の通信量が上限を超えました。
- NEC WiMAX +5G Tool
本日までの3日間の通信量が通知するデータ通信量を..
- NEC WiMAX +5G Tool
月間通信量が上限を超えました。
- NEC WiMAX +5G Tool
月間データ通信量が通知するデータ通信量を超えまし..

5-3 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う

「Wi-Fi 設定お引越し」機能を使うと、以前に使用していたルータの無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を、本製品へ引き継ぐことができます。無線 LAN (Wi-Fi®) 設定のやり直しなどの作業が不要です。

！ ご注意

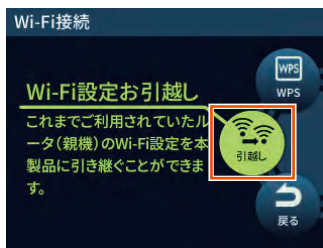
- これまでお使いのルータの暗号化モードが「WPA3」設定の場合は、本機能は使用できません。

memo

- ◎ これまでお使いのルータが WPS に対応している必要があります。
また、これまでお使いのルータの機能・設定内容（使用不可の文字や暗号化モードなど）によって、無線 LAN (Wi-Fi®) 設定が引き継げない場合があります。
- ◎ これまでお使いのルータから引き継ぐ内容は、下記の通りです。
 - ・ SSID
 - ・ 暗号化モード
 - ・ 暗号化キー
 引き継いだ SSID は、SSID に引き継ぎます。
(ゲスト SSID には引き継がれません。)

設定方法

- 1 本製品のホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「Wi-Fi 接続」－「Wi-Fi 設定お引越し」を選択・決定する



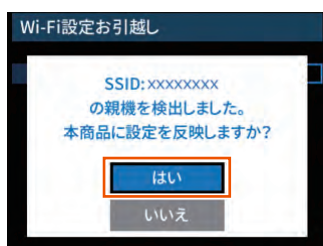
- 2 確認画面を下まで読んで「はい」を選択・決定し、次の画面で「Wi-Fi 設定お引越し」を選択・決定する



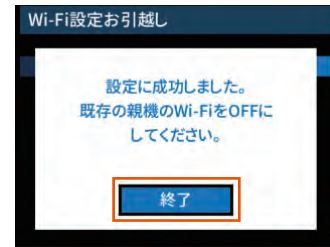
- 3 これまでお使いのルータの WPS 機能を実行する

WPS 機能の実行のしかたは、お使いのルータの取扱説明書を参照してください。

- 4 親機検出画面で「はい」を選択・決定する



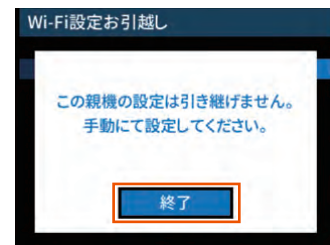
- 5 設定成功画面で、「終了」を選択・決定する
これまでお使いのルータの電源を切る



- 6 ホーム画面が表示される
「情報」－「Wi-Fi 情報」画面で、「SSID」がこれまでお使いのルータの SSID になっていることを確認する

memo

- ◎ これまでお使いのルータの暗号化モードが暗号化なしの場合、SSID・暗号化キーに使えない記号、スペース文字が含まれている場合は、本機能は無効となります。
(使用できる文字は、「8-4 Wi-Fi 設定」の「Wi-Fi 設定」(▶ P.86) を参照してください。)
- 「この親機の設定は引き継げません。手動にて設定してください。」と表示されるので、「終了」を選択・決定して手動で設定してください。



！ ご注意

- Wi-Fi 設定お引越し機能で引き継いだ SSID (ネットワーク名) と暗号化キー (パスワード) は、控えておいてください。なお、本製品を初期化 (▶ P.76) すると、工場出荷時の設定に戻ります。

5-4 ECO 機能を使う

自動省電力設定

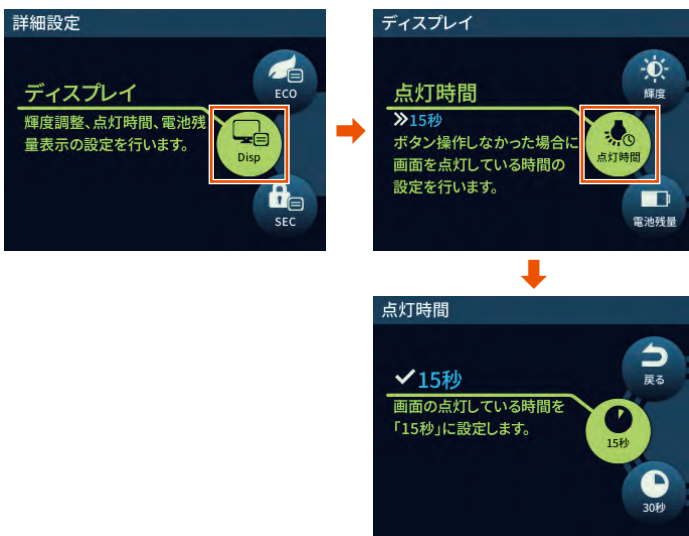
クイック設定 Web から詳細設定にログインして設定します。「ECO 設定」－「ECO 設定」の「自動省電力設定」で設定します。(▶ P.89)
ディスプレイが自動消灯するまでの時間や、省電力状態切り替え機能のモード(ウェイトング/休止状態/電源 OFF)の選択や切り替えまでの時間を設定できます。

自動消灯時間

ディスプレイを自動消灯するまでの時間を設定できます。

ホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「ディスプレイ」－「点灯時間」または、クイック設定 Web の「ECO 設定」の「ECO 設定」－「自動省電力設定」の「自動消灯時間」で設定します。

15 秒、30 秒、60 秒、120 秒から選択します。(初期値：15 秒)



省電力状態切り替え機能

無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との接続がない場合、一定時間経過した後、指定した状態(ウェイトング/休止状態/電源 OFF)に移行し、電力の消費を抑えます。指定した状態に移行するまでの時間(1～60分)を設定することができます。

ディスプレイ表示がホーム画面表示以外の場合は、省電力状態(ウェイトング/休止状態/電源 OFF)に切り替えしません。

無線 LAN (Wi-Fi®) 端末と通信している場合や AC アダプタ接続、USB 接続、およびクレードル(別売)に接続しているときは、省電力状態切り替え機能は無効となります。

■ ウェイトング

ウェイトングとは、動作中の消費電力を抑え、利用可能時間を長くする機能です。

ウェイトングに移行するのは、無線 LAN (Wi-Fi®) 利用時のみです。本製品を起動してから一定時間(初期値：10分)が経過すると、ウェイトング状態になります。ただし、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の検出状況によっては、設定している時間よりも長くなる場合があります。

無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側の仕様によっては、無通信でも接続が維持されてしまい、一定時間が経過してもウェイトングに入らない場合があります。そのときは、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側の無線接続を OFF にしてください。

WAN 側回線通信は切断されます。

AC アダプタ接続、USB 接続およびクレードル(別売)に接続している場合は、ウェイトングは無効となります。

ウェイトング中の待機可能時間は、最大約 35 時間です。

<ウェイトングに設定する>

クイック設定 Web 画面で設定できます。

「省電力状態切り替え設定時間」でウェイトングに移行する時間(初期値：10分)を設定します。

<ウェイトングからの復帰>

ウェイトングからの復帰は、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との無線接続が開始されると復帰します。また、電源ボタン (⏻) を押したときに復帰し、ホーム画面表示になります。

■ 休止状態

休止状態とは、無線の停止状態からでもすばやく利用可能状態にする機能です。

本製品を起動してから一定時間(初期値：10分)が経過すると、休止状態になります。ただし、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の検出状況によっては、設定している時間よりも長くなる場合があります。ディスプレイがホーム画面表示のときに、電源ボタン (⏻) を長押しし、電源オプション画面で「休止」を選択・決定すると、休止状態に移行します。

WAN 側回線通信は切断されます。

休止状態に設定した場合、最大約 400 時間待機できます。

本製品は、工場出荷時「休止状態」に設定されています。

<休止状態に設定する>

クイック設定 Web 画面で設定できます。

「省電力状態切り替え設定時間」で休止状態に移行する時間を設定します。初期値は「10分」です。

<休止状態からの復帰>

電源ボタン (⏻) を長押しすると「NEC」と表示され、本製品が起動します。スマートフォンアプリを用いて本製品を休止状態から起動させることができます。(▶ P.60)

省電力モード

WAN 側回線、無線 LAN (Wi-Fi[®]) での通信速度を制限することにより電力の消費を抑え、連続動作時間を延ばすことができます。

「ハイパフォーマンス (通信速度優先)」、「ノーマル」、「エコ」から選択します。初期設定は「ノーマル」です。

ホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「ECO」 - 「省電力モード」または、クイック設定 Web の「ネットワーク設定」の [基本設定] - 「省電力モード」で設定します。

・クイック設定 Web では、それぞれハイパフォーマンス、ノーマル、エコと表示します。



メニュー	特徴
ハイパフォーマンス (通信速度優先)	通信速度は制限しませんが、連続動作時間は短くなります。
ノーマル	電池残量が十分にある状態では通信速度を制限しませんが、電池残量が少ない状態では通信速度を制限し連続動作時間が長くなるようにします。この切り替えは、WAN 側回線の無通信状態が継続した際に行います。
エコ	通信速度を制限して、連続動作時間が長くなるようにします。

また、クイック設定 Web で、「ネットワーク設定」の [基本設定] - 「充電時高パフォーマンス」を「ON」に設定すると、充電時に省電力モードによる WAN 側回線の通信速度の制限がなくなります。(「8-3 ネットワーク設定」の「基本設定」(▶ P.84) 参照)

memo

- ◎ 省電力モード切替時には、Wi-Fi[®] 接続が途切れることがあります。
- ◎ 「エコ」モードまたは「ノーマル」モードに設定時、通信中にディスプレイを操作すると、本製品のパフォーマンスが低下する場合があります。
- ◎ 自動消灯は、下記の条件では無効となります。
 - ・ Wi-Fi 設定お引越し中
 - ・ WPS で無線設定を実行中
 - ・ ファームウェアのバージョンアップ中
 - ・ 利用チャンネル確認中
- ◎ 本製品がウェイトリングに移行するとき、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末側の仕様によっては、無通信でも接続が維持されてしまい、一定時間が経過してもウェイトリングに入らない場合があります。そのときは、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末側の無線接続を OFF にしてください。
- ◎ 省電力モードが「エコ」モードを選択した場合、WAN 側回線「5G」は無効となります。
- ◎ 省電力モードが「ノーマル」モードと「エコ」モードで電池残量が少ない場合、WAN 側回線「5G」は無効となります。充電してください。

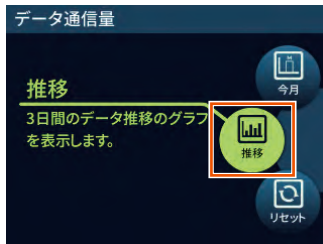
5-5 データ通信量推移を確認する

データ通信量推移をディスプレイに表示します。

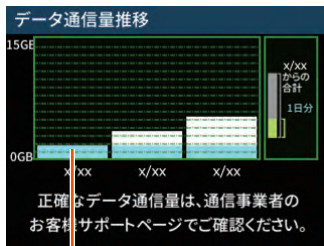
- データ通信量推移画面は、Wi-Fi アクセスポイントモードでクレードル（別売）に接続しているときは表示しません。
- データ通信量推移画面から、通信量設定画面を開くことができます。
- 正確なデータ通信量は、au をご契約の場合は My au など、au 以外の WiMAX 事業者をご契約の場合はご契約された WiMAX 事業者のお客さまサポートページなどでご確認ください。

データ通信量推移を表示する

- 1 本製品のホーム画面－「情報」－「データ通信量」－「推移」を選択・決定する



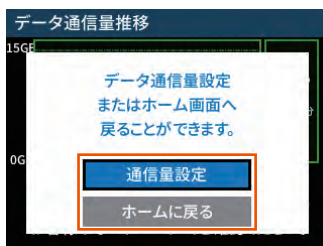
- 2 データ通信量推移画面で、データ通信量推移を確認する



3 日間のデータ通信量（前日までの合計値）を表示
（青色は、1 日分の通信量を表示）

※ データ通信量推移表示はイメージです。

- 3  を押して、データ通信量設定画面に戻るか、ホーム画面に戻るかを選択する



「通信量設定」を選択・決定すると、通信量の設定ができます。

「9-1 ディスプレイメニュー一覧」の「詳細設定」－「データ通信量」を参照してください。（▶ P.101）

5-6 データ通信量で通信を制限する

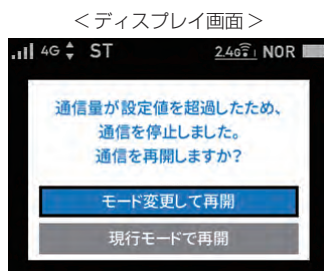
月ごとのデータ通信量に応じて、通信を制限(停止)することができます。通信を停止したとき、通信モードを選択して通信を再開できます。

！ ご注意

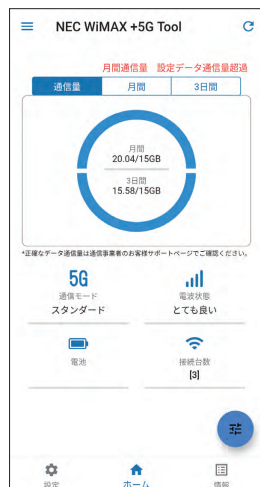
- 「データ通信量超過通知機能」を「通知して通信を停止」に設定しておきます。
(初期設定：通知する)
操作方法：ホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「データ通信量」－「月次通信量」－「超過通知機能」－「通知して通信を停止」を選択・決定
(「9-1 ディスプレイメニュー一覧」(▶ P.100) 参照)
- 「通知する設定値」の数字入力範囲は、1～150 [GB] です。
(初期設定：14 [GB])
操作方法：ホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「データ通信量」－「月次通信量」－「通知する設定値」で数値を入力
(「9-1 ディスプレイメニュー一覧」(▶ P.100) 参照)
- 通信量カウントは、通信モード「スタンダード (ST)」モードと「プラスエリア (+A)」モードそれぞれまたは両方の合算値に設定できます。
(初期設定：通信量カウント(ST)：使用しない、通信量カウント(+A)：使用する (両方の合算値))
(「9-1 ディスプレイメニュー一覧」(▶ P.100) 参照)

通信停止画面から通信を再開する

- 1 月次通信量の「通知する設定値」(初期設定：14 [GB])を超えると、通信を停止し確認画面を表示する



<スマートフォンアプリ画面>



- 2 再開する通信モードを選択する

[モード変更して再開] または [現行モードで再開] を選択・決定する

- 3 確認画面で、[OK] を選択・決定する

通信が再開されます。

！ ご注意

- 通信モード変更で、「プラスエリア (+A)」モードまたは「ワンタイム +A」モードを設定すると、お客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。手順 2 の後、確認画面が表示されます。

5-7 その他の便利な機能

IP パケットフィルタリング

あらかじめ設定した条件に従って、インターネットへ通過するパケットを制限する機能です。

不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

本製品では、「パケットフィルタエントリ」のパターンを最大50個設定できます。クイック設定 Web で設定します。(▶ P.91、P.93)

ポートマッピング

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。

本機能によりグローバルネットワーク側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。

必要に応じて NAT エントリ設定をすることで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルータ機能ではアドバンスド NAT 機能 (IP マスカレード /NAPT) が働いてオンラインゲームができなくなる場合があります。

これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、オンラインゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするために起こります。本機能を使用することで、この問題を回避できることがあります。

そのほか、本製品のルータ機能を使っている環境に Web カメラなどを設置して、外部からアクセスすることが可能です。

クイック設定 Web で設定します。(▶ P.93)

UPnP 機能

UPnP (ユニバーサル・プラグアンドプレイ) 機能を利用すると、NAT による IP アドレスやポート番号の変換を気にすることなく、UPnP 機能対応アプリケーションを複数のパソコンから同時にご利用いただけます。

本製品とパソコン側の設定が必要です。本製品の設定は初期値で「OFF」になっていますので、クイック設定 Web で、「UPnP 機能」を「ON」にしてください。(▶ P.94)

パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用できます。

Windows パソコンで UPnP 設定をする

Windows® 10 の場合の例です。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックする
- 3 [ネットワークと共有センター] をクリックする
- 4 [共有の詳細設定の変更] をクリックする
- 5 「ネットワーク探索を有効にする」にチェックして [変更の保存] または [適用] をクリックする
- 6 本製品の UPnP が正常に動作すると、「ネットワーク」に [Speed Wi-Fi 5G router] アイコンが表示される

memo

© UPnP 機能は、Windows® 10/8.1 のパソコンでのみご利用になれます。

ブリッジモード

本製品をブリッジモードにすると、ルータ機能を停止し、接続できる端末は 1 台だけになります。(初期設定：ルータモード)

ブリッジモードでは、接続できる端末は 1 台だけになります。

端末を接続するインタフェースに応じた、次の 2 種類のブリッジモードがあります。

- ブリッジモード (USB/ クレドール)：端末を、USB 接続するとき、またはクレドール (別売) を使って有線で接続するときに設定します。
無線 LAN (Wi-Fi®) 接続はできません。
- ブリッジモード (Wi-Fi)：端末を、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続するときに設定します。
USB 接続やクレドール (別売) 接続はできません。

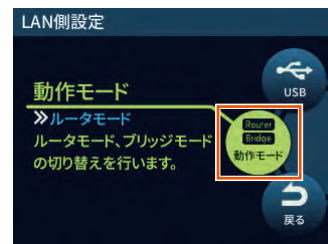


ご注意

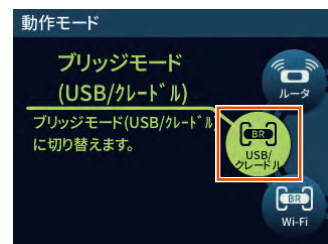
- ブリッジモード (Wi-Fi) に設定すると、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 接続中の複数の端末は一度切断されます。ブリッジモード (Wi-Fi) 動作を開始後、最初の 1 台だけが接続できます。
- ブリッジモードに設定すると、本製品に接続した端末は、クイック設定 Web を開くことができません。
- ブリッジモードに設定すると、本製品に接続した端末は、スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」で本製品の状態表示や設定操作ができません。
- ブリッジモードに設定すると、ファームウェア更新および自動ファームウェア更新機能は動作しません。

ブリッジモードに設定する

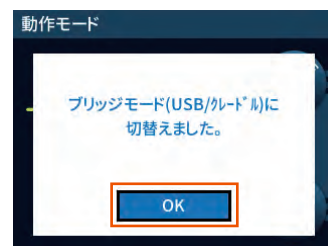
- 1 本製品のホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「詳細設定」 - 「LAN 側設定」 - 「動作モード」を選択・決定する



- 2 「ブリッジモード (USB/ クレドール)」または「ブリッジモード (Wi-Fi)」を選択・決定する



- 3 確認画面で「OK」を選択・決定する。



memo

- ◎ブリッジモードを有効にすることを不可とする「ブリッジモード規制」を設定できます。
クイック設定 Web で、「詳細設定」－[その他の設定]－「ブリッジモード規制」で、「ブリッジモード規制」を「ON」にして「設定」をクリックする。（初期設定：OFF）
- ◎「動作モード」を「ルータモード」に設定すると、無線 LAN（Wi-Fi[®]）と USB 接続が同時接続できる状態になります。

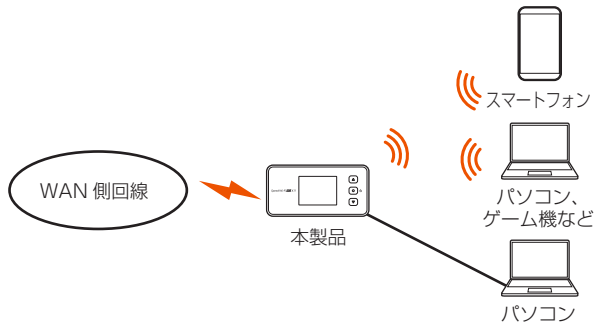
6章 セキュリティ対策をする

6-1 セキュリティ機能について	70
6-2 初期パスワードの変更について	73

6-1 セキュリティ機能について

セキュリティ機能について

本製品には、WAN 側からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能と、無線 LAN (Wi-Fi[®]) ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないためのセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの対策を行うことができます。セキュリティ対策の詳細については各ページを参照してください。



WAN 側セキュリティ

- IP パケットフィルタリング (▶ P.67)
- アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT) (▶ P.72)
- 不正アクセス検出機能 (▶ P.72)
- ダイナミックポートコントロール機能 (▶ P.72)

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 内ネットワークセキュリティ

- 暗号化* (▶ 右記)
- MAC アドレスフィルタリング機能 (▶ P.71)
- ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) (▶ 右記)
- プライバシーセパレータ機能 (▶ P.71)

*本製品は、工場出荷時の状態で「SSID」と「ゲスト SSID」に AES の暗号化が設定されています。

セキュリティ対策を行うことの重要性について

- ◎ インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。
特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本製品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、ウイルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをおすすめします。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末による無線通信を行う場合は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 内のセキュリティを行うことをおすすめします。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、お客さまになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

暗号化

本製品で使用している暗号化キー（任意の文字列）と同じキーを登録した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末のみ無線 LAN (Wi-Fi[®]) 通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。
1 つのネットワークでご利用になれる暗号化モードは 1 つです。

■ 暗号化モードについて

● TKIP/AES

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) は、Wi-Fi Alliance のセキュリティプロトコル (WPA/WPA2/WPA3) に採用された暗号化モードです。

一定パケット量や一定時間ごとにキーを自動的に変更して暗号化を行います。

AES (Advanced Encryption Standard) は、米国商務省標準技術局 (NIST) が選定した次世代の暗号化モードです。TKIP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

memo

- ◎ 暗号化の設定は必ず本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末で同じ設定にしてください。
- ◎ 複数の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を使用する場合、すべての無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末に本製品と同じ暗号化キーを設定してください。
- ◎ TKIP、AES の暗号化モードをご利用になるには、対応した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末が必要です。
- ◎ 本製品を初期化した場合は、Wi-Fi 設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (SSID と呼びます) があります。

このネットワーク名 (SSID) が一致しないと無線 LAN (Wi-Fi[®]) 通信ができません。

一般に、ネットワーク名 (SSID) は無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末から検索することができるため、本製品に接続していない無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末からも本製品のネットワーク名 (SSID) が見えてしまいます。

この機能を利用し、外部からネットワーク名 (SSID) を検索されたときに知らせないことでセキュリティを強化することができます。クイック設定 Web で設定します。(▶ P.86)

memo

- ◎ ESS-ID ステルス機能を有効にすると、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末から、検索できなくなるため、ネットワーク名 (SSID)、暗号化モード、暗号化キー (パスワード) を直接入力してください。
- ◎ お客さまのご利用の端末 (OS) によっては、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続後に ESS-ID ステルス機能を有効にすると、無線 LAN (Wi-Fi[®]) が切断され、自動で再接続されない場合があります。この場合、再度手動で無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続を行ってください。

MAC アドレスフィルタリング機能

本製品は、工場出荷時の状態で無線 LAN (Wi-Fi[®]) のセキュリティ設定 (暗号化) されていますが、MAC アドレスフィルタリング機能を設定することでさらに無線 LAN (Wi-Fi[®]) のセキュリティを強化することができます。

通常、無線 LAN (Wi-Fi[®]) のネットワークは電波の届く範囲からならどこからでも接続できるため、正規の利用者以外は利用できないようにする必要があります。

本機能は、特定の MAC アドレスからしか接続できないようにする機能です。登録した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末以外は接続できなくなります。

・登録できる無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレス数は、16 件です。

■ 設定方法

1 「Wi-Fi 設定」の [MAC アドレスフィルタリング] で許可したい MAC アドレスを登録する (▶ P.87)

2 「Wi-Fi 設定」の [Wi-Fi 設定] - 「MAC アドレスフィルタリング機能」を「ON」にする (▶ P.86)

※ ゲスト SSID の場合は「Wi-Fi 設定」の [ゲスト SSID 設定] - 「MAC アドレスフィルタリング機能」を「ON」にする

memo

◎ MAC アドレスフィルタリング設定後に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 設定する場合は、すでに利用している端末などから増設する無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスをあらかじめ登録するか、いったん MAC アドレスフィルタリングの設定を解除する必要があります。

◎ Android や Windows などの端末で MAC アドレスをランダム設定にしていると本機能が正しく動作しません。本機能を利用する場合は、MAC アドレスを「固定」に設定してください。(設定方法は、ご利用端末の取扱説明書などを参照してください。)

プライバシーセパレータ機能

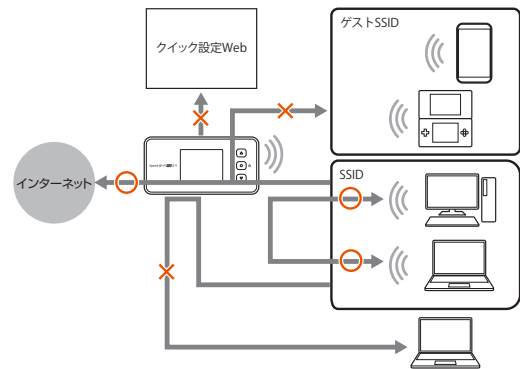
本製品は、プライバシーセパレータ機能を設定することで、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続された端末の通信を制限することができます。

プライバシーセパレータ機能を使用する場合は、「ネットワーク分離」または「Wi-Fi 端末 (子機) 分離」を選択します。

■ 「ネットワーク分離」を選択した場合

設定した SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末は、本製品の WAN 側と、同一の SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末へのアクセスのみ可能になります。

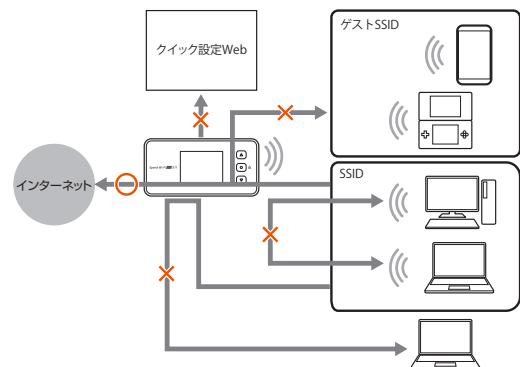
本製品の設定画面や他の SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末へのアクセスができなくなります。



■ 「Wi-Fi 端末 (子機) 分離」を選択した場合

設定した SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末は、本製品の WAN 側へのアクセスのみ可能になります。

本製品の設定画面や別の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末へのアクセスができなくなります。



memo

◎ ゲスト SSID は、プライバシーセパレータ機能の設定を変更できません。ゲスト SSID は、「Wi-Fi 端末 (子機) 分離」が固定で設定されています。そのため、SSID のプライバシーセパレータ機能 (▶ P.86) を「使用しない」に設定した場合も SSID- ゲスト SSID 間で通信は行えません。

アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)

アドバンスド NAT(IP マスカレード /NAPT) とは、WAN 側の 1 つの IP アドレスを LAN 側の複数のプライベートアドレスに変換する機能です。

これにより、1 つの IP アドレスで、プライベート IP アドレスを持つ複数のパソコンなどが同時にインターネット接続することができます。

通信事業者によっては WAN 側にプライベート IP アドレスを割り当てる場合があります。

不正アクセス検出機能

外部からの不正と思われるアクセスを監視し、不正パケットを廃棄します。

検出できる不正アクセスの種類は、下記の通りです。

- LAND 攻撃
- Smurf 攻撃
- IP Spoofing 攻撃

「LAND 攻撃」を防ぐフィルタは、「セキュリティ保護機能」が「OFF」でも有効になります。

クイック設定 Web の「セキュリティ設定」で設定します。(▶ P.94)

ダイナミックポートコントロール機能

LAN 側の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末 (パソコンなど) がアクセスすると、それに応じて WAN 側のポートが開き、通信を開始します。

データの受け取りが終わるか、または内部のタイマ (TCP タイマ / UDP タイマ) で設定してある一定の時間を超えると、自動的に WAN 側のポートが閉じます。

このような動的開閉制御をダイナミックポートコントロールと呼びます。

本機能により外部へのアクセスが行われていないときは、ポートがすべてフィルタリングされていますので、外部からの不正なアクセスを防ぐことができます。

クイック設定 Web の「詳細設定」の [その他の設定] - 「NAPT 設定」の「TCP タイマ (秒)」または「UDP タイマ (秒)」で設定します。(▶ P.94)

memo

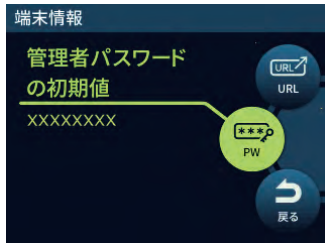
- ◎ TCP タイマ /UDP タイマは、NAPT 機能 (IP マスカレード) を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間 (秒) です。
- ◎ NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、TCP タイマ /UDP タイマを短めに設定すると解決できることがあります。

6-2 初期パスワードの変更について

セキュリティを確保するため、お買い上げ時の初期パスワード（管理者パスワードと暗号化キー）は変更してください。

- 「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面に表示していません。

操作方法：ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「端末情報」－「管理者パスワードの初期値」



管理者パスワード	クイック設定 Web の詳細設定 TOP へのログインやスマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」を利用するときに入力を要求されるパスワード
暗号化キー (パスワード)	無線 LAN (Wi-Fi®) に接続するとき SSID と共に使用するパスワード

クイック設定 Web でパスワード変更

クイック設定 Web で、管理者パスワードと暗号化キー（パスワード）を変更します。

memo

- ◎ 変更した管理者パスワードは、控えておいてください。
- ◎ 管理者パスワードを変更したときは、スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」の「ログイン管理」画面での再登録が必要です。

管理者パスワードの変更

- クイック設定 Web の詳細設定にログインする (▶ P.80)
- 「メンテナンス」－「管理者パスワードの変更」をクリックまたはタップする

- 「現在のパスワード」欄に現在の管理者パスワードを入力し、「新しいパスワード」「新しいパスワード再入力」欄に新しい管理者パスワードを入力し、「設定」をクリックまたはタップする

- パスワードに使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、-（ハイフン）、_（アンダースコア）で、半角 8 文字以上、最大半角 64 文字まで有効です。



(パソコンの画面)

暗号化キー（パスワード）の変更

- クイック設定 Web の詳細設定にログインする (▶ P.79)
- 「Wi-Fi 設定」－「Wi-Fi 設定」をクリックまたはタップする
- 「暗号化」の「WPA 暗号化キー (PSK)」の暗号化キー（パスワード）を変更し、「設定」をクリックまたはタップする (▶ P.86)

- パスワードに使用できる文字は、英数記号 (0～9、a～z、A～Z、記号) で 8～63 桁、16 進数 (0～9、a～f、A～F) で 64 桁です。

memo

- ◎ 暗号化モードに「WPA3-SAE (AES)」または「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」を設定している場合、64 桁の 16 進数を入力できません。

暗号化キー（パスワード）の変更（ゲスト SSID）

- クイック設定 Web の詳細設定にログインする (▶ P.79)
- 「Wi-Fi 設定」－「ゲスト SSID 設定」をクリックまたはタップする
- 「Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定」の「無線機能」を「ON」にして、「暗号化」の「WPA 暗号化キー (PSK)」の暗号化キー（パスワード）を変更し、「設定」をクリックまたはタップする (▶ P.87)

- パスワードに使用できる文字は、英数記号 (0～9、a～z、A～Z、記号) で 8～63 桁、16 進数 (0～9、a～f、A～F) で 64 桁です。

memo

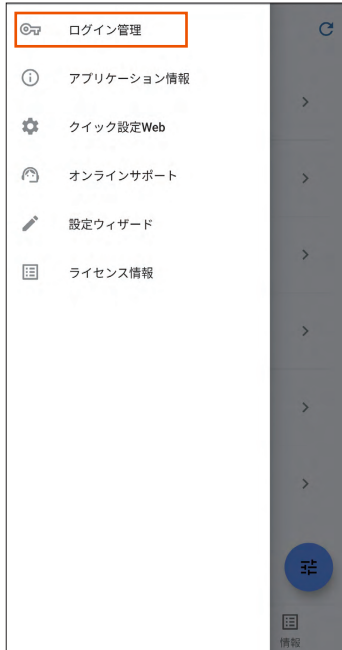
- ◎ 暗号化モードに「WPA3-SAE (AES)」または「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」を設定している場合、64 桁の 16 進数を入力できません。

スマートフォンアプリの管理者パスワード登録

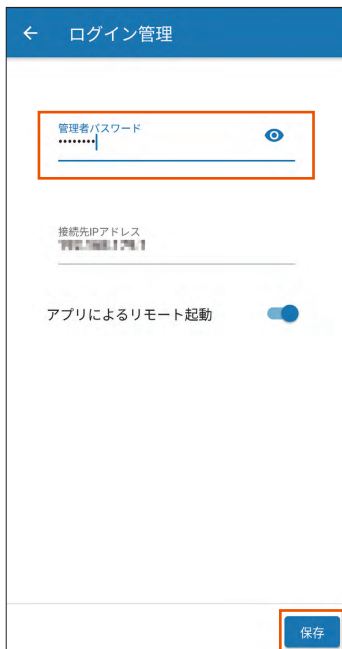
スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」の「ログイン管理」画面で、管理者パスワードを登録します。

管理者パスワードは、クイック設定 Web で設定した同じ管理者パスワードを設定します。

- 1 スマートフォンアプリ「NEC WiMAX +5G Tool」を起動する (▶ P.55)
- 2 ≡ (メニュー) - 「ログイン管理」をタップする



- 3 登録するパスワードを入力し、「保存」をタップする



memo

◎ クイック設定 Web で設定した管理者パスワードと一致しないときは、「管理者パスワードが不正です。」画面が表示されます。再度、「ログイン管理」画面で、パスワードを登録し直してください。

7章 工場出荷時の状態に戻す（初期化）

7-1 ディスプレイメニューで初期化する.....	76
7-2 クイック設定 Web で初期化する.....	77

7-1 ディスプレイメニューで初期化する

初期化とは、本製品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。

本製品がうまく動作しない場合は、本製品を初期化してはじめてから設定し直すことをおすすめします。

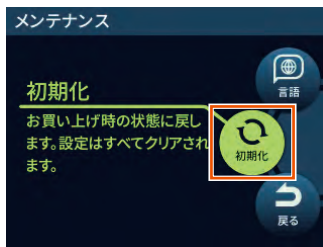
初期化をしても、お客さまがバージョンアップしたファームウェアはそのままです。

! ご注意

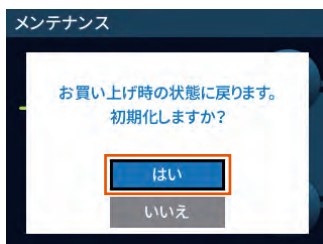
- 設定値を初期化すると、今までに設定した内容は消去されます。設定内容を復元したい場合は、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存&復元」で現在の設定内容を保存し、初期化後に復元してください。

ディスプレイメニューで初期化する

- 1 本製品のホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「メンテナンス」－「初期化」を選択・決定する



- 2 「お買い上げ時の状態に戻ります。初期化しますか？」と表示されるので、「はい」を選択・決定する



- 3 「再起動します。」と表示される

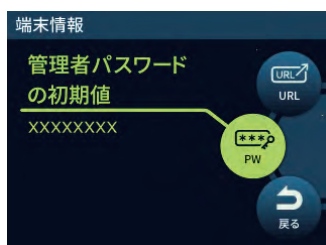


- 4 再起動し、ホーム画面が表示される

7-2 クイック設定 Web で初期化する

クイック設定 Web で初期化する

- 1 パソコンまたはスマートフォンを起動する
本製品とパソコンまたはスマートフォンがネットワーク接続されていることを確認します。
- 2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く
- 3 ログイン画面で、管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックまたはタップする
[パスワード] には管理者パスワードを入力してください。
 - 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.80) または「クイック設定 Web を起動する」(▶ P.79) を参照してください。
 - 「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。
 操作方法：ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「端末情報」－「管理者パスワードの初期値」



- 4 「メンテナンス」の「設定値の初期化」をクリックまたはタップする
- 5 「設定値の初期化」をクリックまたはタップする



(パソコンの画面)

- 6 確認画面で、[OK] をクリックまたはタップする
再起動します。

8章 機能設定

8-1 クイック設定 Web について	79
8-2 各種機能の詳細設定をする（詳細設定）.....	83
8-3 ネットワーク設定.....	84
8-4 Wi-Fi 設定	86
8-5 ECO 設定	89
8-6 セキュリティ設定.....	90
8-7 詳細設定.....	91
8-8 メンテナンス	95
8-9 情報.....	98

8-1 クイック設定 Web について

本製品に接続したパソコンなどの Web ブラウザから、Speed Wi-Fi 5G X11 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。以下の手順は無線 LAN (Wi-Fi®) で接続した場合を例にしています。本製品では、Speed Wi-Fi 5G X11 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。

memo

- ◎ クイック設定 Web が利用できる Web ブラウザについては、「接続端末の準備」(▶ P.24) を参照してください。
- ◎ 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS によって異なります。
- ◎ クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) のゲスト SSID 接続では、クイック設定 Web を表示できません。
- ◎ 本製品をクレードル (別売) に接続し、Wi-Fi アクセスポイントモードで使用する場合は、クイック設定 Web を開くことができません。
本製品をクレードル (別売) から外してから行ってください。

クイック設定 Web を起動する

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に

「http://192.168.179.1/」を入力する
クイック設定 Web が表示されます。

! ご注意

- 本製品のメニュー操作中など、ディスプレイ点灯中に、クイック設定 Web で設定変更すると「処理中のためリクエストを受け付けることができませんでした。しばらくしてから、再度実行してください。」と表示されます。その場合は、メニュー操作をやめ、ホーム画面表示に戻し設定変更を行ってください。
- ディスプレイ表示中 (ホーム画面以外) のときは、クイック設定 Web で設定できません。また、クイック設定 Web で設定中に本製品のボタンを操作すると、クイック設定 Web での設定が中断される場合があります。

クイック設定 Web のトップページ

① ピクト表示

WAN 接続 (5G/4G) と通信モード (ST/+A) の電波状態、無線 LAN (Wi-Fi®) の周波数帯 (2.4GHz/5GHz (屋内) /5GHz (屋外)) と接続端末の台数、電池状態を表示します。

② 使い方

このページの項目に関する説明を表示します。

③ ログイン

詳細設定する場合は、ログインをし、各種機能の詳細設定をします。

④ 最新の状態に更新 (または更新)

情報を最新の状態に更新します。

⑤ 装置情報

以下の情報を表示します。

- ・機種名
- ・ファームウェアバージョン
- ・接続ステータス
- ・接続通信事業者名
- ・プロフィール
- ・データ通信量（月次、日次）
- ・接続時間
- ・現在時刻
- ・IMEI

⑥ SIM カード情報

ICCID と電話番号を表示します。

⑦ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- ・プロフィールの設定

使用するプロフィールをプルダウンで選択します。

⑧ Wi-Fi 周波数設定

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 周波数の帯域設定切り替えができます。2.4GHz、5GHz（屋内）、5GHz（屋外 144ch 含む）、5GHz（屋外 144ch 含まない）、2.4GHz/5GHz（屋内）、2.4GHz/5GHz（屋外 144ch 含む）、2.4GHz/5GHz（屋外 144ch 含まない）から選択します。

⑨ 言語（English / 日本語）

日本語と英語の切り替えができます。

切り替えするには、ログインが必要です。

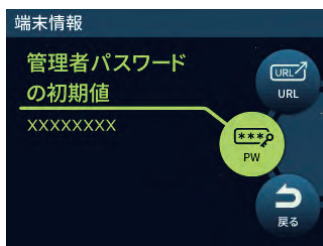
詳細設定にログインする

1 クイック設定 Web のログイン画面で、管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックする

「パスワード」には、管理者パスワードの初期値を入力してください。

- ・「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

操作方法：ホーム画面 - [情報] - [端末情報] - [端末情報] - [管理者パスワードの初期値]



2 管理者パスワードの変更画面が表示されたら、「初期パスワード」欄に現在の管理者パスワードの初期値を入力し、「新しいパスワード」「新しいパスワードの再入力」欄に新しい管理者パスワード（※）を入力し、[変更] をクリックする

- ・「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

※ パスワードに使用できる文字は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、半角 8 文字以上、最大半角 64 文字まで有効です。

この管理者パスワードは、本製品の「クイック設定 Web」を開くときに必要となります。忘れないように控えておいてください。

3 「Wi-Fi 設定」の「Wi-Fi アクセスポイント（親機）設定」画面が表示されたら、「ネットワーク名（SSID）」欄に新しいネットワーク名（SSID）（※ 1）を入力し、「WPA 暗号化キー（PSK）」欄に新しい暗号化キー（パスワード）（※ 2）を入力し、[変更] をクリックする

変更をスキップすることもできます。

※ 1 ネットワーク名（SSID）に使用できる文字は、最大 32 文字までの半角英数字、-（ハイフン）、_（アンダースコア）です。

※ 2 暗号化キー（パスワード）に使用できる文字は、8 文字以上 63 文字までの英数記号（0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z）です。

この「ネットワーク名（SSID）」と「暗号化キー（パスワード）」は、本製品と無線 LAN（Wi-Fi[®]）接続するとき必要となります。忘れないように控えておいてください。

詳細設定のトップページ設定画面

クイック設定Web

Speed Wi-Fi 5G

お探しの機器は X11-xxxxxxx

ホーム 使い方 ログアウト

① ② ③ ④

⑤ 最新の状態に更新

⑥ 装置情報

機種名	X11
ファームウェアバージョン	X.X.X
接続ステータス	インターネット利用可能
接続通信事業者名	
プロファイル	Internet
データ通信量(月次)	0.00 byte/15 GB
データ通信量(日次)	0.00 byte/15 GB
接続時間	XX:XX:XX
現在時刻	XX:XX
IMEI	

⑦ SIMカード情報

ICCID

電話番号 xxxxxxxxxxxx

⑧ 簡易設定

プロファイルの設定 Internet

設定

⑨ Wi-Fi周波数設定

帯域設定 2.4GHz

設定

⑩ ネットワーク設定

- 基本設定
- 接続設定
- プロファイル設定
- 通信量カウンター

Wi-Fi設定

- Wi-Fi設定
- ゲストSSID設定
- MACアドレスフィルタリング
- WPS設定

⑪

⑫ ECO設定

- ECO設定

⑬ セキュリティ設定

- セキュリティ設定

⑭ 詳細設定

- LAN側設定
- DHCP固定割当設定
- IPv4パケットフィルタ設定
- IPv6パケットフィルタ設定
- ポートマッピング設定
- その他の設定

メンテナンス

- 管理者パスワードの変更
- 設定値の保存 & 復元
- 設定値の初期化
- ファームウェア更新
- PINコード管理
- 再起動
- ディスプレイ設定

⑮

⑯ 情報

- 現在の状態
- URLの状況
- マニュアル

⑰ English

⑱ ホーム 使い方 ログアウト

⑲

Copyright© NEC Platforms, Ltd. 2021

① ピクト表示

WAN 接続 (5G/4G) と通信モード (ST/+A) の電波状態、無線 LAN (Wi-Fi[®]) の周波数帯 (2.4GHz/5GHz (屋内) /5GHz (屋外)) と接続端末の台数、電池状態を表示します。

② ホーム

詳細設定のトップページを表示します。

③ 使い方

このページの項目に関する説明を表示します。

④ ログアウト

クイック設定 Web をログアウトします。

再度、ログインする場合は、Web ブラウザを一度終了したあと、再度開き直してください。

⑤ 最新の状態に更新 (または更新)

情報を最新の状態に更新します。

⑥ 装置情報

以下の情報を表示します。

- ・機種名
- ・ファームウェアバージョン
最新のファームウェアがあるときは、[ファームウェア更新] を表示します。ファームウェア更新できます。
- ・接続ステータス
- ・接続通信事業者名
- ・プロファイル
- ・データ通信量 (月次、日次)
- ・接続時間
- ・現在時刻
- ・IMEI

⑦ SIM カード情報

ICCID と電話番号を表示します。

⑧ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- ・プロファイルの設定
使用するプロファイルを選択します。

⑨ Wi-Fi 周波数設定

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 周波数の帯域設定切り替えができます。2.4GHz、5GHz (屋内)、5GHz (屋外 144ch 含む)、5GHz (屋外 144ch 含まない)、2.4GHz/5GHz (屋内)、2.4GHz/5GHz (屋外 144ch 含む)、2.4GHz/5GHz (屋外 144ch 含まない) から選択します。

⑩ ネットワーク設定

以下のページを表示します。

- ・基本設定
- ・帯域設定
- ・プロファイル設定
- ・通信量カウンター

⑪ Wi-Fi 設定

以下のページを表示します。

- ・Wi-Fi 設定
- ・ゲスト SSID 設定
- ・MAC アドレスフィルタリング
- ・WPS 設定

⑫ ECO 設定

ECO 設定のページを表示します。

⑬ セキュリティ設定

セキュリティ設定のページを表示します。

⑭ 詳細設定

以下のページを表示します。

- LAN 側設定
- DHCP 固定割当設定
- IPv4 パケットフィルタ設定
- IPv6 パケットフィルタ設定
- ポートマッピング設定
- その他の設定

⑮ メンテナンス

以下のページを表示します。

- 管理者パスワードの変更
- 設定値の保存&復元
- 設定値の初期化
- ファームウェア更新
- PIN コード管理
- 再移動
- ディスプレイ設定

⑯ 情報

以下のページを表示します。

- 現在の状態
- UPnP の状態
- マニュアル

⑰ 言語 (English / 日本語)

日本語と英語の切り替えができます。

8-2 各種機能の詳細設定をする (詳細設定)

詳細設定する機能を選択する

- ネットワーク設定
WAN 側回線の接続に関する詳細機能を設定します。(▶ P.84)
- Wi-Fi 設定
無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能に関する詳細機能を設定します。(▶ P.86)
- ECO 設定
ECO 機能に関する詳細機能を設定します。(▶ P.89)
- セキュリティ設定
本製品が、紛失・盗難などにより不正に利用されないために、セキュリティとしてパスコードを設定します。(▶ P.90)
- 詳細設定
ポートマッピングや IP パケットフィルタリングなどのセキュリティに関する詳細機能を設定します。(▶ P.91)
- メンテナンス
ファームウェアの更新や初期化などのメンテナンスに関する詳細機能を設定します。(▶ P.95)
- 情報
現在の状態などを表示します。(▶ P.98)

8-3 ネットワーク設定

WAN 側回線への接続方法や省電力モードなどを設定します。

基本設定

通信モードの設定ができます。「スタンダード (ST)」モード、「プラスエリア (+A)」モードから選択します。

※ 一時的に「プラスエリア (+A)」モードに切り替える「ワнтаイム +A」モードがあります (▶ P.52)。

「プラスエリア (+A)」モード、「ワнтаイム +A」モードに切り替えてご利用の場合、お客さまの料金プランによっては追加料金が掛かる場合があります。

省電力モードの設定ができます。ハイパフォーマンスモード、ノーマルモード、エコモードから選択します。

ハイパフォーマンスモードは、通信速度は制限しませんが、連続動作時間は短くなります。

エコモードは、通信速度を制限して、連続動作時間が長くなるようにします。

ノーマルモードは、電池残量が十分にある状態では通信速度は制限しませんが、電池残量が少ない状態では通信速度を制限し連続動作時間が長くなるようにします。この切り替えは、WAN 側回線の無通信状態が継続した際に行います。

充電時高パフォーマンスを「ON」に設定すると、充電時に省電力モードによる WAN 側回線 (5G / LTE / WiMAX 2+) の通信速度の制限がなくなります。

ワнтаイム機能の使いかたは、「4-2 通信モードを切り替える」の「ワントイム +A」モードに切り替える (▶ P.52) を参照してください。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
基本設定			
通信モード	通信モードを選択します。	スタンダードモード、プラスエリアモード* ¹	スタンダードモード
プラスエリアモード規制	「プラスエリア (+A)」モードへの通信モード切替をできないように規制します。	OFF、ON	OFF
省電力モード	本製品を省電力モードに設定すると WAN 側回線および無線 LAN (Wi-Fi [®]) の通信を制限して省電力化します。	ハイパフォーマンス、ノーマル、エコ	ノーマル
充電時高パフォーマンス	充電時に省電力モードによる WAN 側回線 (5G / LTE / WiMAX 2+) の通信速度の制限がなくなります。	OFF、ON	OFF
ワントイム +A 設定			
ワントイム +A * ¹ (ワントイム解除)	一時的に「プラスエリア (+A)」モードに切り替え後、時間経過 (または休止、電源 OFF、再起動) で「スタンダード (ST)」モードに切り替わります。		
解除するデータ通信量	解除するデータ通信量を入力します。解除するデータ通信量の値を少し越えたところで解除する可能性があります。通知するデータ通信量を停止したい値から少し余裕を持って設定してください。	1 ~ 150 (GB)	14
解除通信時間	解除通信時間を設定します。	1 ~ 10 (時間)	10

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ローミング*²			
国際ローミング機能	au をご契約で、国際ローミング機能を使用する場合は、ON にします。	OFF、ON	OFF
通信事業者選択方法	通信事業者を選択する方法を選択します。 自動を選択した場合には、SIM に保存されているネットワーク / キャリアを自動的に選択します。 手動を選択した場合は、通信事業者から選択します。	自動、手動	自動
通信事業者	通信事業者選択で手動を選択した場合に、通信事業者を選択します。		
国際ローミング規制	国際ローミング機能を有効にすることを不可とする場合には、ON にします。	OFF、ON	OFF

* 1 : 「プラスエリア (+A)」モードまたは「ワントイム +A」モードへ切り替えてご利用の場合、お客さまの料金プランによっては追加料金が掛かる場合があります。

* 2 : au 以外の WiMAX 事業者をご契約の場合、設定できません。

2 「設定」をクリックする

接続設定

プロファイルの選択ができます。

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル選択	使用するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大 12 件*	Internet (登録されているプロファイル名)*

* お買い上げ時に設定されているプロファイル「Internet」含む 12 件は、変更、削除できません。

2 「設定」をクリックする

プロフィール設定

プロフィール（インターネットサービスプロバイダなどの接続設定）の登録、編集ができます。

■ プロファイルを新規に設定する場合

- 1 「プロフィールリスト」のプルダウンで [no setup] を選択し、[選択] をクリックする
- 2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロフィール名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大 64 文字（半角）までの文字列。全角の場合は 32 文字まで（?、半角スペースを除く） ディスプレイメニューの「APN」に表示されますが、半角 10 文字程度までしか表示されないため長い文字列はおすすめしません。	Internet（登録されているプロファイル名）*1、*2
APN（接続先情報）	APN（接続先情報）は、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報を入力します。	最大 62 文字（半角英数記号）（?、（半角スペース）、*、&、.、:、;、<、>、\ を除く）	●●●●●●*1、*2
ユーザー名	ユーザー名は、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報を入力します。	最大 63 文字（半角英数記号）（?、半角スペースを除く）	●●●●●●*1、*2
パスワード	パスワードは、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報を入力します。	最大 63 文字（半角英数記号）（?、半角スペースを除く）	●●●●●●*1、*2
認証タイプ	認証タイプは、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報で選択します。	CHAP、PAP	CHAP *1、*2
IP タイプ	IP タイプは、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報で選択します。	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6	IPv4&IPv6 *2

* 1 お買い上げ時に設定されているプロフィール「Internet」含む 12 件は、変更、削除できません。

* 2 新規設定では、「プロフィール名」から「パスワード」までは空欄です。「認証タイプ」の「CHAP」、IP タイプ」の「IPv4」が表示されます。

- 3 [設定] をクリックする

■ 作成したプロフィールを編集する場合

- 1 「プロフィールリスト」から編集したいプロフィールを選択し、[選択] をクリックする
- 2 編集が終了したら [設定] をクリックする

memo

◎ 作成したプロフィールを個別に削除するときは、プロフィールを指定して [削除] をクリックします。

！ ご注意

- 初期化にて工場出荷時の状態に戻した場合、お買い上げ時に設定されているプロフィール以外はすべて削除され、その他の設定済みの項目も工場出荷時の状態に戻ります。

通信量カウンター

データ通信量の確認や設定を行います。カウントするデータ通信量は目安であり、実際のデータ通信量とは異なる場合があります。データ通信量を手動でクリアするときは、[クリア] をクリックしてください。

また、本製品を初期化した場合や、別の SIM カードを差して起動した場合（PIN 認証が有効のときは、認証後）は、データ通信量はクリアされます。電源ボタンの長押しにより強制的に電源 OFF した場合は、その時点で保存されていないデータ通信量はクリアされます。

- 1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
月次通信量			
通信量カウント (ST) *1	「スタンダード (ST)」モードでデータ通信量をカウントする場合は ON にします。	OFF、ON	OFF
通信量カウント (+A) *1	「プラスエリア (+A)」モードでデータ通信量をカウントする場合は ON にします。	OFF、ON	ON
最大データ通信量設定	最大データ通信量を設定します。通知するデータ通信量より小さい値は設定できません。	1-150(GB)	15
カウント開始日 *2	通信量カウンターのカウント開始日を入力します。毎月、カウント開始日に通信量カウントをクリアします。	1 ~ 31 (日)	1
通知設定	使用する通知設定を選択します。通知する場合、「通知するデータ通信量設定」で設定したデータ通信量を超えると通信量カウンターのページにダイアログが表示され、通知します。通知して通信を停止する場合、通知と合わせて通信を停止します。	使用しない、通知する、通知して通信を停止	通知する
通知するデータ通信量設定	通知するデータ通信量を設定します。最大データ通信量より大きい値は設定できません。	1-150(GB)	14
日次通信量 *3			
通信量カウント (ST)	「スタンダード (ST)」モードでデータ通信量をカウントする場合は ON にします。	OFF、ON	ON
通信量カウント (+A)	「プラスエリア (+A)」モードでデータ通信量をカウントする場合は ON にします。	OFF、ON	ON
上限値 (3 日間)	日次カウンターの通信量表示の上限値を設定します。通知するデータ通信量より小さい値は設定できません。	1-150(GB)	15
通知設定	使用する通知設定を選択します。通知する場合、「通知するデータ通信量設定」で設定したデータ通信量を超えると通信量カウンターのページにダイアログが表示され、通知します。	通知しない、通知する	通知する
通知するデータ通信量設定	通知するデータ通信量を設定します。最大データ通信量より大きい値は設定できません。	1-150 (GB)	14

* 1 「通信量カウント (ST)」と「通信量カウント (+A)」を両方共に「ON」にすると、「データ通信量表示」に ST モードと +A モードの通信量の合算値を表示します。

* 2 「カウント開始日」を毎月 31 日に設定したとき、31 日までない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。

* 3 日次通信量は、時刻情報が取得できないと表示しません。

- 2 [設定] をクリックする

8-4 Wi-Fi 設定

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能の各種設定ができます。

Wi-Fi 設定

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) アクセスポイント (親機) としてセキュリティ設定 (暗号化機能、ESS-ID ステルス機能、MAC アドレスフィルタリング機能) を行うことができます。

本製品の SSID は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯で同じ SSID を使用しています。

■ SSID (WPA3/WPA2/WPA) を設定する場合

1 各項目を設定する

以下の項目は、SSID で設定できる項目のみです。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi 周波数設定			
帯域設定	帯域を選択します。	2.4GHz、5GHz (屋内)、5GHz (屋外 144ch 含む)、5GHz (屋外 144ch 含まない)、2.4GHz/5GHz (屋内)、2.4GHz/5GHz (屋外 144ch 含む)、2.4GHz/5GHz (屋外 144ch 含まない)	2.4GHz
IEEE 802.11ax モード	IEEE 802.11ax モードを使用する場合は、ON にします。	OFF、ON	ON
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能	無線 LAN (Wi-Fi [®]) を使用する場合は ON にします。	OFF、ON	ON
ネットワーク名 (SSID)	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末に表示される本製品のネットワーク名 (SSID) を変更できます。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	SPW_X11_***** ^{*1}
プライバシーセパレータ機能	プライバシーセパレータ機能を使用する場合は、「ネットワーク分離」または「Wi-Fi 端末 (子機) 分離」を選択します。「ネットワーク分離」を選択した場合、設定した SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末は、本製品の WAN 側と、同一の SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末へのアクセスのみ可能になります。本製品の設定画面や他の SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末へのアクセスができなくなります。	使用しない、ネットワーク分離、Wi-Fi 端末 (子機) 分離	使用しない
SSID・暗号化キー表示	SSID 表示を使用する場合は ON にします。「ON」に設定した場合は、ディスプレイメニューにて SSID と暗号化キーが表示されます。	OFF、ON	ON

設定項目	説明	設定範囲	初期値
2.4GHz 設定			
デュアルチャンネル機能	デュアルチャンネル機能を使用する場合は ON にします。	OFF、ON	OFF
使用チャンネル	使用チャンネルを選択します。オートチャンネルセレクト機能を選択した場合、空いているチャンネルを検出し、電波状態の良いチャンネルを自動選択します。	オートチャンネルセレクト機能、1、2、…、12、13(ch)	オートチャンネルセレクト機能 ^{*2}
暗号化			
暗号化モード	暗号化モードを選択します。	暗号化無効、WPA3-SAE (AES)、WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化キーを入力します。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F) ^{*3}	xxxxxxxxxxx xxx
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) ^{*4}	ESS-ID ステルス機能を使用する場合は ON にします。あらかじめ本製品のネットワーク名 (SSID) を知っている無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外からの本製品への接続を制限できます。	OFF、ON	OFF
MAC アドレスフィルタリング機能	本製品に設定されている MAC アドレスを持つ無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外から本製品への接続を制限する場合は、ON にします。	OFF、ON	OFF
最大接続台数	同時に接続可能な無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の最大数を設定します。	1-16 (台)	16
拡張設定			
送信出力	無線 LAN (Wi-Fi [®]) の送信出力を選択します。送信出力を抑えると他のネットワークへの電波干渉を回避できます。	100%、50%、25%、12.5%	100%
Wi-Fi 暗号化強化	Wi-Fi 管理フレームの一部を保護する機能 (PMF) を有効にします。本機能の使用を要求してきた無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末に対してのみ、保護機能が働きます。	OFF、ON	ON

* 1 ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

* 2 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の通信で、オートチャンネルセレクトは、1/6/11ch のいずれかを選択します。

オートチャンネルセレクトはチャンネル設定として、1/6/11ch のいずれかにすることを推奨していますが、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 以外のシステムとの干渉を避けるために推奨のチャンネル以外を使用しなければならないときは、手動でチャンネル変更してください。

* 3 暗号化モードに「WPA3-SAE (AES)」または「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」を設定している場合、64 桁の 16 進数を入力できません。

* 4 お客さまのご利用の端末 (OS) によっては、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続後に ESS-ID ステルス機能を有効にすると、無線 LAN (Wi-Fi[®]) が切断され、自動で再接続されない場合があります。この場合、再度手動で無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続を行ってください。

2 [設定] をクリックする

ゲスト SSID 設定

ゲスト SSID の無線 LAN (Wi-Fi[®]) を設定します。

1 各項目を設定する

ゲスト SSID を有効にしてから設定内容の変更をしてください。「無線機能」を「ON」にします。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能	ゲスト SSID を使用する場合は ON にします。	OFF、ON	OFF
有効時間	ゲスト SSID の有効時間を設定します。有効時間を経過すると、ゲスト SSID の「無線機能」は「OFF」設定に戻ります。	無制限、1 時間、2 時間、4 時間、6 時間	4 時間
ネットワーク名 (SSID)	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末に表示される本製品のネットワーク名 (SSID) を変更できます。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	SPW_X11-*****-gx ^{*1}
暗号化			
暗号化モード	暗号化モードを選択します。	暗号化無効、WPA2-PSK (AES)、WPA3-SAE (AES)、WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)	WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化キーを入力します。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F) ^{*2}	XXXXXXXXXX XXX
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) ^{*3}	ESS-ID ステルス機能を使用する場合は ON にします。あらかじめ本製品のネットワーク名 (SSID) を知っている無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外からの本製品への接続を制限できます。	OFF、ON	OFF
MAC アドレスフィルタリング機能	本製品に設定されている MAC アドレスを持つ無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外から本製品への接続を制限する場合は、ON にします。	OFF、ON	OFF

* 1 ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

* 2 暗号化モードに「WPA3-SAE (AES)」または「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」を設定している場合、64 桁の 16 進数を入力できません。

* 3 お客様のご利用の端末 (OS) によっては、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続後に ESS-ID ステルス機能を有効にすると、無線 LAN (Wi-Fi[®]) が切断され、自動で再接続されない場合があります。この場合、再度手動で無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続を行ってください。

2 [設定] をクリックする

MAC アドレスフィルタリング

本機能は、特定の MAC アドレスからしか接続できないようにする機能です。登録した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末以外は接続できなくなります。

• 登録できる無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレス数は、16 件です。



ご注意

- MAC アドレスフィルタリング設定後に、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続する場合は、すでに利用している端末などから増設する無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスを登録するか、いったん MAC アドレスフィルタリングの設定を解除する必要があります。
- 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスを本製品に登録しますので、あらかじめ MAC アドレスを確認 (メモするなど) してください。
- 設定変更後、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続が切断されます。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続し直してください。
- Android や Windows などの端末で MAC アドレスをランダム設定していると本機能が正しく動作しません。本機能を利用する場合は、MAC アドレスを「固定」に設定してください。(設定方法は、ご利用端末の取扱説明書などを参照してください。)

1 [追加] をクリックする

MAC アドレスエントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
指定方法	追加する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスの指定方法を選択します。	手動設定、選択設定	手動設定
MAC アドレス	本製品に設定する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスを入力します。	「手動設定」の場合、[xx:xx:xx:xx:xx:xx] 形式で直接入力。 「選択設定」の場合、「接続子機一覧」の中から指定する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスを選択する。 [00:00:00:00:00:00] のようにすべて「0」は入力不可	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリ一覧に登録した MAC アドレスが表示されていることを確認する

5 [Wi-Fi 設定] - [Wi-Fi 設定] - [Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限] の [MAC アドレスフィルタリング機能] を「ON」にする

※ ゲスト SSID の場合は [Wi-Fi 設定] - [ゲスト SSID 設定] - [MAC アドレスフィルタリング機能] を「ON」にする

6 メッセージが表示されるので [OK] をクリックする

7 [設定] をクリックする

8 メッセージが表示されるので [OK] をクリックする



ご注意

- 本機能を設定変更後、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続が切断されますのでご注意ください。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続し直してください。

WPS 設定

本製品に WPS 設定の PIN 方式で無線 LAN (Wi-Fi®) 設定をします。詳細は、「WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続する」(▶ P.47)を参照してください。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi 端末の PIN コード	無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の PIN コードを入力します。		(なし)

2 「Wi-Fi 端末の PIN コード」入力欄に PIN コードを入力し、 [WPS (PIN 方式)] をクリックする

3 [設定] をクリックする

8-5 ECO 設定

本製品の電池残量が表示されたり、省電力に関する設定をします。詳細は、「5-4 ECO 機能を使う」(▶ P.63) を参照してください。

ECO 設定

「電池残量と充電」では、本製品の電池残量を表示します。(％単位で表示) [最新の状態に更新 (または更新)] をクリックすると画面が最新の情報に更新されます。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
電池残量と充電			
電池残量表示 (%)	本製品の端末情報 (▶P.23)、スマートフォンアプリ (▶P.55) およびクイック設定 Web のピクト情報 (▶P.79) に電池残量 (%) を表示する場合は ON にします。	OFF、ON	OFF
ロングライフ充電	ロングライフ充電を使用する場合は ON にします。	OFF、ON	OFF* ¹
自動省電力設定			
自動消灯時間	ディスプレイが自動消灯するまでの時間を選択します。	15 秒、30 秒、60 秒、120 秒* ²	15 秒
省電力状態切り替え機能	省電力状態切り替え機能のモードを設定します。	使用しない、ウェイクアップ、休止状態、電源 OFF	休止状態
省電力状態切り替え設定時間	省電力状態切り替え機能で設定したモードになるまでの時間を入力します。	1 ~ 60 (分)	10

* 1 本製品のご使用開始時 (または初期化した後)、最初に電源を入れたときに表示される「ご利用にあたってのお願い」(ロングライフ充電) で、[はい] を選択した場合は、「ON」になります。

* 2 自動消灯時間の設定にかかわらず、ディスプレイの以下の画面は約 10 分表示します。
設定ウィザード画面、Wi-Fi 設定お引越し開始前の確認画面、Wi-Fi 情報画面、Wi-Fi QR コード画面、データ通信量画面、PIN 入力画面

2 [設定] をクリックする

8-6 セキュリティ設定

本製品が、紛失・盗難などにより不正に利用されないために、セキュリティとしてパスコードを設定します。

パスコードを設定すると、本製品の起動時や休止状態から復帰したとき、ディスプレイを点灯表示させたときなどに、パスコードの入力を求められます。本機能により他人に不正利用されることを防ぎます。

- パスコードは、お買い上げ時の状態で、初期値（1234）が設定されていますが、パスコード変更されることをおすすめします。
- パスコードと管理者パスワードを両方忘れてしまった場合、本製品の初期化ができないため、本製品のご利用ができなくなってしまいます。
- 変更したパスコードやクイック設定 Web の管理者パスワードは、忘れないように控えておいてください。

セキュリティ設定

パスコード機能を設定します。本製品のディスプレイロックを使用する場合は、「ディスプレイ」を選択してください。本製品のセキュリティロックを使用する場合は、「セキュリティ」を選択してください。

- 「ディスプレイ」…ディスプレイ操作（メニュー操作）を抑制します。
- 「セキュリティ」…ディスプレイ操作（メニュー操作）を抑制します。
 - USB 接続時およびクレードル（別売）で有線 LAN 接続時に、インターネット接続などの通信機能を抑制します。

解除用パスコードの初期値は、「1234」です。

パスコードを変更することができます。

パスコードを初期化するときは、「パスコード初期化」をクリックします。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
パスコード設定			
パスコード機能	本製品のディスプレイロックを使用する場合は、ディスプレイを選択します。本製品のセキュリティロックを使用する場合は、セキュリティを選択します。	使用しない、ディスプレイ、セキュリティ	使用しない
セキュリティタイマー	本製品のセキュリティタイマーを入力します。無線 LAN (Wi-Fi [®]) 接続がない状態で、設定した時間を経過するとセキュリティロック状態になります。	1 ~ 10 (分)	5
パスコード変更			
現在のパスコード	現在のパスコードを入力します。	0 ~ 9 の数字 4 桁	(1234)
新しいパスコード	新しいパスコードを入力します。	0 ~ 9 の数字 4 桁	(なし)
新しいパスコードの再入力	確認のため、新しいパスコードを再入力します。	0 ~ 9 の数字 4 桁	(なし)

2 [設定] または [パスコード変更] をクリックする

■ パスコードの初期化方法

1 [パスコードの初期化] をクリックする

8-7 詳細設定

本製品の LAN 側の設定やセキュリティに関するパケットフィルタやポートマッピングの設定ができます。

LAN 側設定

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス			
IP アドレス/ ネットマスク (ビット指定)	本製品の LAN 側の IP アドレスとネットマスクを入力します。通常、変更する必要はありません。変更する場合は、WAN 側の IP アドレスと競合しないネットワークアドレス範囲となるように入力してください。	ネットマスクはビット形式で 1 ~ 30 例： 0 ~ 255 の 4 組の数字の形式 [255.255.255.0] の場合は、ビット形式では「24」になります。	192.168.179.1/24
DHCP サーバ			
DHCP サーバ機能	本製品の DHCP サーバを使用する場合は、ON にします。	OFF、ON	ON
リースタイム (時間)	DHCP サーバでクライアントに割り当てる IP アドレスの貸出時間が変更可能です。	0 (無制限)、 1 ~ 72 (時間)	24
アドレス割当パターン	割り当てパターンを選択できます。[自動設定] の場合は、本製品 LAN インタフェースの IP アドレスの次の IP アドレスから割当数分のアドレスプールを確保します。[手動設定] の場合、DHCP エントリで設定されたアドレス割当パターンが使用されます。	自動設定、手動設定	自動設定
割当先頭アドレス	アドレス割当パターンで [手動設定] を選択した場合は、DHCP クライアントに割り当てる IP アドレスの先頭アドレスを入力します。		(なし)
割当数	DHCP クライアントの割り当てられる IP アドレス割当数を入力します。	1 ~ 32	32

2 [設定] をクリックする

DHCP 固定割当設定

特定の MAC アドレスに固定 IP アドレスを割り当てます。

1 [追加] をクリックする

DHCP 固定割当エントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MAC アドレス	特定端末に固定の IP アドレスを割り当てる場合に入力します。	[xx:xx:xx:xx:xx:xx] 形式で入力	(なし)
IP アドレス	特定端末に割り当てを行う固定の IP アドレスを入力します。[MAC アドレス] で指定した端末に [IP アドレス] で指定した IP アドレスを入力します。		(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリ一覧に登録内容が表示されていることを確認する

IPv4 パケットフィルタ設定

IP パケットフィルタを設定します。インターネットへ通過するパケットを制限します。本製品では「パケットフィルタエントリ」のパターンを最大 50 個設定できます。

設定するときは、「対象インタフェースを選択」で「WAN」または「LAN」を選択し、「選択」をクリックしてください。

お客様の判断と責任において、IP パケットフィルタの設定を行い、使用することをおすすめします。

1 [追加] をクリックする

IPv4 パケットフィルタエントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
種別	フィルタ条件に一致したパケットの扱いを選択します。	通過 (accept)、破棄 (drop)	通過 (accept)
方向	<p>選択したインタフェース (WAN/LAN) でのフィルタ評価方向を選択します。「in」は入力フィルタを生成します。「out」は出力フィルタを生成します。</p> <p>本製品に入ってくるパケットに対する条件を設定する場合は「in」を選択します。</p> <p>(例) インタフェースが WAN の場合: インターネット→本製品 インタフェースが LAN の場合: LAN 側端末→本製品</p> <p>本製品から出ていくパケットに対する条件を設定する場合は「out」を選択します。</p> <p>(例) インタフェースが WAN の場合: 本製品→インターネット インタフェースが LAN の場合: 本製品→LAN 側端末</p>	in, out	in
プロトコル	フィルタ対象とする IP プロトコルの種別を選択します。「その他」は IP プロトコル番号を入力します。「ICMP」は、ICMP MESSAGE を選択できます。「TCP」は TCP FLAG を選択できます。	IP すべて、ICMP、TCP、UDP、その他	IP すべて
送信元 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの送信元 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
送信元ポート番号	パケットの送信元ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
宛先 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの宛先 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
宛先ポート番号	パケットの宛先ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
優先度	フィルタエントリの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

設定例

ここでは、LAN 側のパソコンの通信を制限*¹ する設定と Web ページの閲覧を制限*² する方法を例に説明します。

制限対象ではないパソコンで設定を行ってください。それ以外の環境を構築する場合は、設定内容などをご利用の環境に合うように設定してください。

* 1 インターネット、メール、FTP、クイック設定 Web などすべて利用不可

* 2 インターネット、クイック設定 Web は利用不可、メール、FTP などは利用可能

1 IPv4 パケットフィルタ設定エントリー一覧画面の「対象インタフェースを選択」で「LAN」を選択し、[選択] をクリックする

2 [追加] をクリックする

3 DHCP 固定割当てが動作するように設定を行い、[設定] をクリックする

パソコンに IP アドレスを固定している場合、Web ページの閲覧のみ制限する場合は、この手順は必要ありません。

- 種別: 「通過」
- 方向: 「in」
- プロトコル: 「IP すべて」
- 送信元 IP アドレス: 「localhost」指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。
- 送信元ポート番号: 「any」
- 宛先 IP アドレス: 「localhost」
- 宛先ポート番号: 「any」
- 優先度: 「1」

4 [前のページへ戻る] をクリックする

5 エントリー一覧に設定内容が表示されるので、再度 [追加] をクリックする

6 パソコンの通信を制限する設定を行い、[設定] をクリックする

(* 1 の設定例)

- 種別: 「破棄」
- 方向: 「in」
- プロトコル: 「IP すべて」
- 送信元 IP アドレス: 「192.168.x.y/32」
- 送信元ポート番号: 「any」
- 宛先 IP アドレス: 「any」
- 宛先ポート番号: 「any」
- 優先度: 「2」

(* 2 の設定例)

- 種別: 「破棄」
- 方向: 「in」
- プロトコル: 「TCP」
- 送信元 IP アドレス: 「192.168.x.y/32」
- 送信元ポート番号: 「any」
- 宛先 IP アドレス: 「any」
- 宛先ポート番号: 「80」
- 優先度: 「2」

7 [前のページへ戻る] をクリックする

8 [IPv4 パケットフィルタエントリー一覧] に設定内容が表示されることを確認する

IPv6 パケットフィルタ設定

IP パケットフィルタを設定します。インターネットへ通過するパケットを制限します。本製品では「パケットフィルタエントリ」のパターンを最大 50 個設定できます。

設定するときは、「対象インタフェースを選択」で「WAN」または「LAN」を選択し、「選択」をクリックしてください。

1 [追加] をクリックする

IPv6 パケットフィルタエントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
種別	フィルタ条件に一致したパケットの扱いを選択します。	通過 (accept)、 破棄 (drop)	通過 (accept)
方向	<p>選択したインタフェース (WAN/LAN) でのフィルタ評価方向を選択します。「in」は入力フィルタを生成します。「out」は出力フィルタを生成します。</p> <p>本製品に入ってくるパケットに対する条件を設定する場合は「in」を選択します。</p> <p>(例) インタフェースが WAN の場合：インターネット→本製品 インタフェースが LAN の場合：LAN 側端末→本製品</p> <p>本製品から出ていくパケットに対する条件を設定する場合は「out」を選択します。</p> <p>(例) インタフェースが WAN の場合：本製品→インターネット インタフェースが LAN の場合：本製品→LAN 側端末</p>	in, out	in
プロトコル	フィルタ対象とする IP プロトコルの種別を選択します。「その他」は IP プロトコル番号を入力します。「ICMPv6」は、ICMPv6 MESSAGE を選択できます。「TCP」は TCP FLAG を選択できます。	IPv6 すべて、 ICMPv6、TCP、 UDP、その他	IPv6 すべて
送信元 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの送信元 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「128」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
送信元ポート番号	パケットの送信元ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
宛先 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの宛先 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「128」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
宛先ポート番号	パケットの宛先ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
優先度	フィルタエントリの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリ一覧に登録内容が表示されていることを確認する

設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

ポートマッピング設定

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。グローバルネットワーク側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。必要に応じて NAT エントリ設定することで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルータ機能ではアドバンスド NAT 機能 (IP マスカレード /NAPT) が働いてオンラインゲームができなくなる場合があります。これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、オンラインゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするために起こります。本機能を使用することで、この問題を回避できることがあります。

memo

◎ ポートマッピングを設定する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、DHCP サーバ機能により IP アドレスが自動的に割り当てられないように、IP アドレスを固定しておいてください。固定する場合は、DHCP の割り当て範囲外で IP アドレスを指定することをおすすめします。

1 [追加] をクリックする

NAT エントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
LAN 側ホスト	ポートマッピングを適用する LAN 側ホストの IP アドレス (パソコン、ゲーム機など) を入力します。		(なし)
プロトコル	対象とするプロトコルを選択します。「その他」を選択した場合は、「プロトコル番号」を入力してください。	TCP、UDP、 ESP、その他	TCP
WAN ポート番号	ポートマッピングの対象とする WAN 側ポート番号を入力します。「プロトコル」で「TCP」/「UDP」を選択し、すべてのポート番号を対象とする場合は、「any」にチェックを入れてください。		any
LAN ポート番号	プロトコルに「TCP」「UDP」を選択した場合のみ設定できます。		(なし)
優先度	NAT エントリの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリ一覧に登録内容が表示されていることを確認する

設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

5 ポートを開放する機器に、以下の情報を設定する

- ・ IP アドレス : LAN 側ホストに入力した IP アドレス
- ・ ネットマスク : 255.255.255.0 (本製品の初期値)
- ・ ゲートウェイ : 192.168.179.1 (本製品の IP アドレス初期値)
- ・ プライマリ DNS : 192.168.179.1 (本製品の IP アドレス初期値)

その他の設定

その他の設定をします。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
セキュリティ設定			
セキュリティ保護機能	セキュリティ保護機能を使用する場合は、ON にします。セキュリティ保護機能を使用すると既知の外部からのアタックや不正アクセスを検出し、その不正パケットを廃棄します。検出可能な不正アクセスは、「LAND 攻撃」「Smurf 攻撃」「IP Spoofing 攻撃」です。（「LAND 攻撃」を防ぐフィルタは、セキュリティ保護機能が OFF でも有効になります。）	OFF、ON	ON
NAPT 設定			
TCP タイマ (秒)	NAPT 機能を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間 (秒) を入力します。NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、本タイマを短めに設定すると解決できることがあります。入力できる値は、300 ~ 432000 (秒) です。	300 ~ 432000 (秒)	3600
UDP タイマ (秒)	NAPT 機能を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間 (秒) を入力します。NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、本タイマを短めに設定すると解決できることがあります。入力できる値は、30 ~ 3600 (秒) です。	30 ~ 3600 (秒)	300
UPnP 設定			
UPnP 機能	UPnP (ユニバーサル・プラグアンドプレイ) 機能を使用します。最大 16 台までの端末で UPnP 機能が利用可能となります。	OFF、ON	OFF
DMZ ホスト設定			
DMZ ホスト機能	DMZ ホスト機能によって外部に公開する端末 (ホスト) の設定ができます。使用する場合は ON にします。NAPT 機能を使用する場合のみ有効です。	OFF、ON	OFF
DMZ ホストの IP アドレス	DMZ ホストの IP アドレスを入力します。本製品の LAN 側の設定で指定したネットワークアドレス範囲内の IP アドレスを入力してください。		(なし)
補助設定			
ファームウェア更新通知機能	ファームウェア更新通知機能を使用する場合は、ON にします。ファームウェアのバージョンアップが可能な場合に、本製品のディスプレイ上に、新しいファームウェアの提供を通知する機能です。	OFF、ON	ON
USB 接続時			
USB 通信	USB 通信する場合は ON にします。	OFF、ON	ON
クレードル接続時の動作モード設定			
アクセスポイントモード	Wi-Fi アクセスポイントモードを使用する場合は ON にします。	OFF、ON	OFF
時刻常時表示	クレードル (別売) に接続時、ディスプレイに時刻を常時表示する場合は ON にします。 アクセスポイントモード利用時は、時刻は表示されません。	OFF、ON	ON
ブリッジモード規制			
ブリッジモード規制	ブリッジモードを有効にすることを不可とする場合は ON にします。	OFF、ON	OFF
WAN 設定			
MTU (Bytes)	データ通信の最大転送値の設定をします。	1400 ~ 1440 (byte)	1440
PING 応答機能	PING 応答機能を使用する場合は、ON にします。本機能を使用する場合は、WAN 側からの PING に応答します。	OFF、ON	OFF

設定項目	説明	設定範囲	初期値
品質情報収集機能			
品質情報収集機能	品質情報収集機能を使用する場合は、ON にします。	OFF、ON	ON*

* 本製品のご使用開始時 (または初期化した後)、最初に電源を入れたときに表示される「ご利用にあたってのお願い」(品質情報収集) で、[はい] を選択した場合は、「ON」になります。

2 [設定] をクリックする

8-8 メンテナンス

本製品の管理者パスワードを変更したり、ファームウェアの更新をしたりするなど、本製品の設定や操作ができます。

管理者パスワードの変更

本製品の設定変更や不正アクセスを防止するために設けたパスワードです。

クイック設定 Web の各種設定をするために詳細設定へログインするときが必要です。

- 管理者パスワードの初期値は、本製品のディスプレイで確認できます。
操作方法：ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「端末情報」－「管理者パスワードの初期値」

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のパスワード	現在の管理者パスワードを入力します。		(なし)
新しいパスワード	新しい管理者パスワードを入力します。	半角 8 文字以上、最大 64 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	(なし)
新しいパスワード再入力	確認のため新しい管理者パスワードを再入力します。		(なし)

2 [設定] をクリックする

設定値の保存&復元

本製品の設定内容をパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。

! ご注意

- 管理者パスワードは保存されません。
- 設定値のファイルは圧縮形式となっており、編集はできません。

保存方法

1 [ファイルへ保存] をクリックする

2 パソコンのデスクトップなどわかりやすい場所へ保存する

お使いのパソコンの環境によっては、保存先とファイル名の指定を求められる場合があります。

復元方法

1 「設定ファイル」欄にあるボタン（[参照] など）をクリックする

表示された画面で復元するファイルを選択します。

2 選択したファイルの保存先が「設定ファイル」欄に入るので、[設定値の復元] をクリックする

3 再起動のメッセージが表示されるので [OK] をクリックする

4 再起動が完了したメッセージが表示されるので [OK] をクリックする

Web ブラウザを終了し、クイック設定 Web を再度起動してください。

設定値の初期化

設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

! ご注意

- 設定値を初期化すると、今までに設定した内容は消去されます。設定内容を復元したい場合は、「設定値の保存&復元」(▶左記)で現在の設定内容を保存し、初期化後に復元してください。
- 初期化をしてもお客さまが設定した SIM カードの PIN コードは変更されません。

1 [設定値の初期化] をクリックする

2 [OK] をクリックする

再起動します。

! ご注意

- 再起動後は、本製品にアクセスできなくなる場合があります。その場合は、Web ブラウザを一度終了し、接続する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末と Wi-Fi 接続し直して、Web ブラウザを再度起動してください。

ファームウェア更新

ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。ファームウェアは最新のバージョンで使用してください。詳細は、「11-1 ファームウェアを更新する」(▶ P.110)を参照してください。

現在のバージョンで、ファームウェアのバージョンを確認してください。

「ファームウェア更新」で、[確認/更新] をクリックすると、現在のファームウェアバージョンと最新のファームウェアバージョンを確認します。「ファームウェア最新バージョン情報」画面を表示します。

以下の手順で自動ファームウェア更新を設定してください。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
自動ファームウェア更新設定			
自動バージョンアップ	自動バージョンアップを使用する場合は、ON にします。	OFF、ON	OFF
実行時刻	自動バージョンアップを実行する時刻を選択します。	0、1、…23 時	2 時

2 [設定] をクリックする

最新のファームウェアがある場合は、設定した実行時刻にファームウェア更新が開始されます。

PIN コード管理

SIM カードに PIN コード（暗証番号）を設定すると、本製品を使用するときに PIN コードを入力しないと使用できなくなるので、不正使用を防ぐことができます。

■ PIN コードを有効にする

- 1 「PIN コード管理」－「PIN コード操作」で「有効にする」を選択する
- 2 「現在の PIN コード」に PIN コードを入力する
お買い上げ時の PIN コードは「1234」が設定されています。
- 3 「設定」をクリックし、再起動のメッセージが表示されるので「OK」をクリックする
再起動します。

■ PIN コードを無効にする場合

PIN コードが有効の場合、PIN コードを無効にします。

- 1 「PIN コード管理」－「PIN コード操作」で「無効にする」を選択する
- 2 「現在の PIN コード」に PIN コードを入力する
- 3 「設定」をクリックし、再起動のメッセージが表示されるので「OK」をクリックする
再起動します。

■ 認証を行う

PIN 認証を行うまでは、インターネットに接続できません。

■ 本製品で PIN 認証を行う

「PIN コード操作」を有効に設定してから再起動すると、ディスプレイに「PIN コード/PIN ロック解除コードを入力しますか？」と表示されます。

- 1 「はい」を選択・決定して、PIN コード入力画面が表示されたら PIN コード入力し、選択・設定する
数字の入力方法は「2-1 基本的な操作を覚える」(▶ P.28) を参照してください。
- 2 PIN コードが正しければ、ディスプレイに「PIN コード認証が正常に処理されました。」と表示されるので、「終了」を選択・決定して、ホーム画面表示する
PIN コードの入力に失敗すると、「PIN コードが違います。再入力してください。」と表示されます。

■ PIN コードを変更する

PIN コード操作が有効のとき、必要に応じて 4 ～ 8 桁のお好きな番号に変更することができます。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在の PIN コード	現在設定されている PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	(1234) *
新しい PIN コード	新しい PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	(なし)
確認用 PIN コード	確認のため新しい PIN コードを再入力します	4 ～ 8 桁の数字	(なし)

* お買い上げ時の SIM カードの PIN コードは、「1234」に設定されています。

* 本製品を初期化した場合でも、変更した PIN コードはお買い上げ時の状態には戻りません。

2 「PIN コード変更」をクリックする

■ PIN ロックを解除する

PIN コード入力に 3 回失敗した場合、ディスプレイに「PIN ロック」と表示され、PIN ロックがかかります。

PIN ロックを解除するためには、PIN ロック解除コード (PUK) が必要です。PIN ロック解除コード (PUK) については「PIN コードについて」(▶ P.12) をご参照ください。

■ クイック設定 Web で PIN ロックを解除する

- 1 「PIN ロック解除」－「PIN ロック解除コード」に、PIN ロック解除コード (PUK)、新しい PIN コード、確認用 PIN コードを入力する
- 2 「解除」をクリックする

■ 本製品で PIN ロックを解除する

- 1 ディスプレイを点灯させると「PIN コード/PIN ロック解除コードを入力しますか？」と表示される
- 2 「はい」を選択・決定し、PIN ロック解除コード (PUK) を入力する
PIN ロック解除コード (PUK) については「PIN コードについて」(▶ P.12) をご参照ください。
- 3 「PIN ロック解除コード認証が成功しました。[●●●●] で PIN コードを設定しました。」と表示されるので、「OK」を選択・決定する
PIN ロック解除コード (PUK) の入力に失敗すると「PIN ロック解除コードが違います。再入力してください。」と表示されます。
- 4 「PIN コードはクイック設定 Web にて変更できます。」と表示されるので、「終了」を選択・決定して、ホーム画面表示する



! ご注意

- 同じ SIM カードに対して PIN コードの入力を 3 回失敗すると認証エラーメッセージが表示されます。(PIN コードの入力可能回数は表示されます。) その場合は、PIN ロック状態となり、PIN ロック解除コード (PUK) が必要となります。本製品の PIN ロック解除コード (PUK) 入力画面またはクイック設定 Web の「メンテナンス」の「PIN コード管理」－「PIN ロック解除」で PIN ロック状態を解除してください。
- PIN ロック解除コード (PUK) を入力した場合は、新しく PIN コードを設定してください。
- PIN ロック解除コード (PUK) を 10 回連続して間違えると、完全にロックされます。ご契約された通信事業者までお問い合わせください。

再起動

本製品を再起動することができます。

- 1 [再起動] をクリックする
- 2 [OK] をクリックする
- 3 「再起動中」のメッセージが表示される
再起動するまでに時間がかかる場合があります。
- 4 「再起動が完了しました」とメッセージが表示されるので、
[OK] をクリックする

ディスプレイ設定

本製品のディスプレイのクイックメニュー 1～4 の項目を設定します。

クイックメニュー 2 クイックメニュー 1



クイックメニュー 3 クイックメニュー 4

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
メニュー設定			
クイックメニュー 1	本製品のディスプレイのクイックメニュー 1 の項目を設定します。	Wi-Fi 接続、通信モード、Wi-Fi 周波数設定、ファンタイム通信、ECO	通信モード
クイックメニュー 2	本製品のディスプレイのクイックメニュー 2 の項目を設定します。	Wi-Fi 接続、通信モード、Wi-Fi 周波数設定、ファンタイム通信、ECO	Wi-Fi 周波数設定
クイックメニュー 3	本製品のディスプレイのクイックメニュー 3 の項目を設定します。	Wi-Fi 接続、通信モード、Wi-Fi 周波数設定、ファンタイム通信、ECO	ファンタイム通信
クイックメニュー 4	本製品のディスプレイのクイックメニュー 4 の項目を設定します。	Wi-Fi 接続、通信モード、Wi-Fi 周波数設定、ファンタイム通信、ECO	ECO

2 [設定] をクリックする

8-9 情報

本製品に設定されている内容などの情報を確認できます。

現在の状態

本製品の装置情報や設定内容を表示します。

端末情報	装置名 ファームウェアバージョン MAC アドレス (ETHERNET) MAC アドレス (USB)
無線情報	無線動作モード 使用チャンネル (2.4GHz) 使用チャンネル (5GHz) ネットワーク名 (SSID) MAC アドレス (2.4GHz 無線) MAC アドレス (5GHz 無線) プライバシーセパレータ機能
Wi-Fi 接続子機	Wi-Fi 接続子機一覧 MAC アドレス
無線情報 (ゲスト SSID)	無線動作モード 使用チャンネル ネットワーク名 (SSID) MAC アドレス (無線) プライバシーセパレータ機能
Wi-Fi 接続子機 (ゲスト SSID)	Wi-Fi 接続子機一覧 MAC アドレス
接続状態	接続状態
LAN 側状態	IP アドレス
WAN 側状態	IP アドレス プライマリ DNS セカンダリ DNS

UPnP の状態

現在 UPnP 利用中のパソコンの IP アドレスとポート番号を表示します。

- [詳細設定] - [その他の設定] - [UPnP 設定] で「UPnP 機能」を「ON」に設定していることが必要です。

マニュアル

インターネットに接続しているときは、WiMAX Support Information ホームページにある最新版のファイルが表示されます。ただし、インターネット接続のデータ通信料はお客様ご負担となります。

9章 本製品のディスプレイメニューについて

9-1 ディスプレイメニュー一覧.....	100
9-2 メッセージ一覧.....	103

9-1 ディスプレイメニュー一覧

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	初期化対象	設定値の保存&復元
ホーム				
クイックメニュー				
HOMEに戻る	—	—	—	—
ファームウェア更新 * ¹	—	—	—	—
通信モード	STモード、+Aモード* ²	STモード	○	○
Wi-Fi 周波数設定	2.4G/5G 同時 (屋内)、2.4G/5G 同時 (屋外)、2.4G/5G 同時 (屋外、144ch 有)、5GHz (屋内)、5GHz (屋外)、5GHz (屋外、144ch 有)、2.4GHz、Wi-Fi OFF	2.4GHz	○	○
詳細設定				
Wi-Fi 接続	設定ウィザード、Wi-Fi QR コード、WPS、Wi-Fi 設定お引越し	—	—	—
ネットワーク * ¹				
通信モード設定	STモード、+Aモード* ²	STモード	○	○
ワンタイム +A				
ワンタイム +A	使用する、使用しない	使用しない	○	—
解除するデータ通信時間	1 ~ 10 [時間]	10	○	○
解除するデータ通信量	1 ~ 150 [GB]	14	○	○
戻る	—	—	—	—
APN 設定 * ¹	Internet	Internet	○	○
国際ローミング * ³				
国際ローミング	使用する、使用しない	使用しない	○	○
事業者検索	自動、手動	自動	○	○
ネットワークの選択			○	○
戻る	—	—	—	—
戻る	—	—	—	—
LAN 側設定				
Wi-Fi 周波数設定 * ⁴	2.4G/5G 同時 (屋内)、2.4G/5G 同時 (屋外)、2.4G/5G 同時 (屋外、144ch 有)、5GHz (屋内)、5GHz (屋外)、5GHz (屋外、144ch 有)、2.4GHz、Wi-Fi OFF	2.4GHz	○	○
ゲスト SSID * ⁴	使用する、使用しない	使用しない	○	○
Wi-Fi 暗号化強化 * ⁵	使用する、使用しない	使用する	○	○
USB 通信 * ⁴	使用する、使用しない	使用する	○	○
動作モード	ルータモード、ブリッジモード (USB/ クレードル)、ブリッジモード (Wi-Fi)	ルータモード	○	○
戻る	—	—	—	—
ECO				
省電力モード	ハイパフォーマンス (通信速度優先)、ノーマル、エコ	ノーマル	○	○
ロングライフ充電	使用する、使用しない	使用しない	○	○
戻る	—	—	—	—
ディスプレイ				
輝度調整	明るい、普通、暗い	普通	○	○
点灯時間	15 秒、30 秒、60 秒、120 秒	15 秒	○	○
電池残量表示 (%)	使用する、使用しない	使用しない	○	○
戻る	—	—	—	—
セキュリティ				
パスコード	OFF、ディスプレイ、セキュリティ	OFF	○	○
パスコード変更 * ⁶				
現在のパスコードを入力	4 桁の数字	(1234)	○	○
新しいパスコードを入力	4 桁の数字	—	—	—
新しいパスコードを再度入力	4 桁の数字	—	—	—
PIN コード入力 / PIN ロック解除コード入力 * ¹				
PIN コード入力	4 ~ 8 桁の数字	(1234)	—	—
PIN ロック解除コード入力	8 桁の数字 (変更不可)	—	—	—
戻る	—	—	—	—

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	初期化対象	設定値の保存&復元
クイックメニュー (つづき)				
詳細設定 (つづき)				
メンテナンス				
ファームウェア更新 * ¹	—	—	—	—
インターネット接続確認 * ¹	—	—	—	—
言語 (Language)	日本語、English	日本語	○	○
初期化	—	—	—	—
戻る	—	—	—	—
データ通信量				
ホーム画面表示				
3日	使用する、使用しない	使用する	○	○
1ヶ月	使用する、使用しない	使用する	○	○
戻る	—	—	—	—
月次通信量				
通信量カウント (ST)	使用する、使用しない	使用しない	○	○
通信量カウント (+A)	使用する、使用しない	使用する	○	○
超過通知機能	通知する、使用しない、通知して通信を停止	通知する	○	○
通知する設定値	1 ~ 150 [GB]	14	○	○
戻る	—	—	—	—
日次通信量				
通信量カウント (ST)	使用する、使用しない	使用する	○	○
通信量カウント (+A)	使用する、使用しない	使用する	○	○
戻る	—	—	—	—
戻る	—	—	—	—
HOMEに戻る	—	—	—	—
ワントタイム+A				
ワントタイム+A	使用する、使用しない	使用しない	○	—
解除するデータ通信時間	1 ~ 10 [時間]	10	○	○
解除するデータ通信量	1 ~ 150 [GB]	14	○	○
戻る	—	—	—	—
ECO				
省電力モード	ハイパフォーマンス (通信速度優先)、ノーマル、エコ	ノーマル	○	○
ロングライフ充電	使用する、使用しない	使用しない	○	○
戻る	—	—	—	—
情報				
Wi-Fi 情報				
SSID (オーナー)	—	SPW_X11_*****	—	—
パスワード (オーナー)	—	—	—	—
使用チャンネル (オーナー)	—	—	—	—
SSID (ゲスト)	—	SPW_X11_*****gx	—	—
パスワード (ゲスト)	—	—	—	—
使用チャンネル (ゲスト)	—	—	—	—
戻る	—	—	—	—
APN 情報 * ¹				
プロファイル名	—	Internet	—	—
APN (接続先)	—	—	—	—
ユーザー名	—	—	—	—
パスワード	—	—	—	—
認証タイプ	—	CHAP	—	—
IP タイプ	—	IPv4/IPv6	—	—
戻る	—	—	—	—
通信状態 * ¹				
接続先	—	Internet	—	—
戻る	—	—	—	—

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	初期化対象	設定値の保存&復元
情報 (つづき)				
データ通信量				
前日までの3日間	—	—	○	—
本日までの3日間	—	—	○	—
今月	—	—	○	—
推移	—	—	—	—
通信量設定	—	—	—	—
ホームに戻る	—	—	—	—
リセット	—	—	—	—
戻る	—	—	—	—
端末情報				
端末情報				
端末名	—	X11	—	—
電話番号 *7	—	—	—	—
ICCID *7	—	—	—	—
IMEI	—	—	—	—
シリアル番号	—	—	—	—
ファームウェアバージョン	—	—	—	—
電池残量	—	—	—	—
WAN側IPアドレス *7	—	—	—	—
LAN側IPアドレス *7	—	—	—	—
USB MAC アドレス	—	—	—	—
UIM/PIN	—	—	—	—
クイック設定 Web への URL *7	—	—	—	—
管理者パスワードの初期値	—	XXXXXX	—	—
戻る	—	—	—	—
Bluetooth 情報				
デバイス名 (リモート起動)	—	xxxxxx-bt	—	—
MAC アドレス (リモート起動)	—	—	—	—
戻る	—	—	—	—
接続機器管理				
接続機器数	—	—	—	—
接続機器 MAC アドレス	—	—	—	—
戻る	—	—	—	—
5GHz 帯利用の注意	—	—	—	—
認証情報	—	—	—	—
戻る	—	—	—	—
HOME に戻る	—	—	—	—
電源オプション				
電源 OFF	—	—	—	—
休止	—	—	—	—
再起動	—	—	—	—
戻る	—	—	—	—

* 1 Wi-Fi アクセスポイントモードでクレードル (別売) に接続しているときは、設定/表示できません。

* 2 「プラスエリア (+A)」モードまたは「ワンタイム +A」モードに切り替えてご利用の場合、お客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合があります。

* 3 au 以外の WiMAX 事業者をご契約の場合、設定/表示できません。

* 4 動作モードが、ブリッジモード (USB/クレードル) またはブリッジモード (Wi-Fi) のときは、設定/表示できません。

* 5 暗号化モード (▶ P.86) が、「WPA3-SAE (AES)」または「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」のときは、設定/表示できません。

* 6 「パスワード」が「ディスプレイ」/「セキュリティ」のときに設定できます。

* 7 Wi-Fi アクセスポイントモードでクレードル (別売) に接続しているときは、表示できません。

9-2 メッセージ一覧

■ 本製品のディスプレイに表示されるメッセージ

メッセージは、ディスプレイ画面の下に表示されます。(▶ P.15)

メッセージ	チェック内容	参照ページ
SIM カード未挿入または無効です	SIM カードが取り付けられていません。SIM カードを取り付けてください。または無効な SIM カードが挿入されています。	P.18
APN 設定を確認してください	APN (接続先) 設定内容が間違っている場合に表示されます。APN 設定内容を確認してください。ネットワーク障害のときも、このメッセージが表示されます。	P.50 P.85 P.101
PIN コードを入力してください	PIN コード認証が有効になっており、PIN コードの入力待ちです。解除されるまで表示されます。PIN コードを入力して解除してください。	P.96
PIN ロック中です	PIN コードの入力を 3 回失敗して、ロックされているときに表示されます。PIN ロック解除コード (PUK) と新しい PIN コードを入力してください。	P.12 P.96
PIN 完全ロック中です	PIN ロック解除コードの入力に 10 回失敗したため、SIM カードがロックされました。ご契約の通信事業者までお問い合わせください。	P.12
データ通信量が超過しました	データ通信管理機能で設定した場合、データ通信量が設定した上限値を超過したときに表示されます。データ通信管理機能の設定値を変更するか、データ通信量をクリアするとメッセージ表示が消えます。	P.85 P.101 P.102
最新ファームウェアがあります	ファームウェアをバージョンアップしてください。	P.110
充電停止中…温度低下をお待ちください	充電中またはパソコンと USB ケーブル (市販品) で接続中などの本製品が高温になっています。USB ケーブル (市販品) を取り外し、本製品の温度が下がるまでお待ちください。	—
充電してください	電池残量が 5% 以下で表示されます。充電してください。	P.19
低速充電中です 指定の充電機器をお使いください	充電時間が長くなる充電機器を使っているとき表示されます。指定の充電機器を使って充電してください。	P.19 P.116

10章 海外利用 (auをご契約の場合)

10-1 au 世界サービスについて	105
10-2 海外利用に関する設定を行う	106
10-3 お問い合わせ方法.....	107
10-4 海外でのご利用上のご注意	108

10-1 au 世界サービスについて

au 世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせて UMTS / LTE ネットワークのいずれでもご利用いただけます。

- 特別な申し込み手続きや月額の設定料は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
 - ※ 新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。
ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で利用した翌々日よりご利用が可能です。
- ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、au ホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■対象エリア・料金を知る

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

■海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/>

■海外でご利用のお客さま ※渡航前に必ずご確認ください

https://www.au.com/information/notice_mobile/global/

memo

- ◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ◎ 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

10-2 海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- データ通信を行う場合は、以下の方法で「国際ローミング」を有効に設定します。

memo

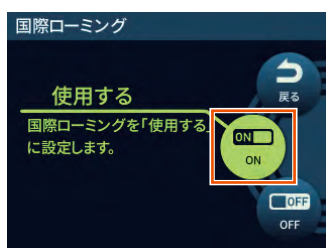
◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細は au ホームページにてご確認ください。

- 海外ダブル定額

<https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-ite/>

■ ディスプレイメニューで設定する

ホーム画面－「クイックメニュー」－「詳細設定」－「ネットワーク」－「国際ローミング」－「国際ローミング」で、「使用する」を選択・決定する。



- 「事業者検索」で、事業者の検索を「自動」/「手動」切り替えできます。(初期設定：自動)

- 「事業者検索」で、事業者の検索を「手動」を選択・決定したとき、「ネットワークの選択」で、通信事業者を選択できます。

■ クイック設定 Web で設定する

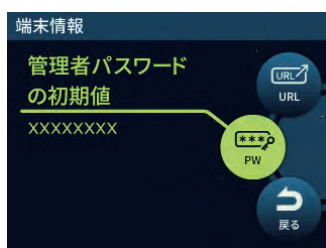
1 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「<http://192.168.179.1/>」を入力してクイック設定 Web を開く

2 ログイン画面で、管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックまたはタップする

[パスワード] には**管理者パスワード**を入力してください。

- 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.80) を参照してください。
- 「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

操作方法：ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「端末情報」－「管理者パスワードの初期値」



3 「ネットワーク設定」の「基本設定」－「ローミング」で、「国際ローミング機能」を ON にする

(初期設定：OFF)



- 「通信事業者選択方法」、「通信事業者」、「国際ローミング規制」を設定できます。詳しくは、「8-3 ネットワーク設定」(▶ P.84) を参照してください。

4 [設定] をクリックまたはタップする

! ご注意

- 「国際ローミング」有効時は、無線 LAN (Wi-Fi®) の 5GHz 帯は無効になります。
- 国際ローミング機能を ON にしたまま国内で利用した場合、お客さまの料金プランによっては通信速度の規制対象となる場合がございます。国内では国際ローミング機能を OFF にしてご利用ください。

10-3 お問い合わせ方法

■ 海外からのお問い合わせ

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報は au ホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/>

memo

◎ 渡航先でご利用いただけない場合、本製品の電源をオフ/オン（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

10-4 海外でのご利用上のご注意

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくは SIM カードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生したデータ通信料もお客さまの負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されている SIM カードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用 GSM 携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PIN コードを設定されることをおすすめします。
PIN コードの設定については「PIN コード管理」(▶ P.96) をご参照ください。





11章 付録

11-1	ファームウェアを更新する	110
11-2	故障とお考えになる前に	113
11-3	アフターサービスについて	115
11-4	周辺機器	116
11-5	製品仕様	117
11-6	データ通信端末の比吸収率 (SAR) について	119
11-7	FCC Notice (au をご契約の場合)	120
11-8	輸出管理規制	121
11-9	知的財産権について	122


11-1 ファームウェアを更新する

ファームウェアとは、本製品を動作させるソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。ファームウェアは最新のバージョンで使用してください。

！ ご注意

- 本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。
- ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が41%未満のときは、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合（電池状態：、、、）には、十分に充電してから行ってください。
(充電中は電池残量が41%未満でもバージョンアップできます。)
- データ通信量超過通知機能が「通知して通信を停止」設定し、現在のデータ通信量が「通知する設定値」まで残り90MB未満の場合、ファームウェアダウンロードが中断される場合があります。

memo





- ファームウェアのバージョンアップ中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- パソコンからクイック設定 Web 画面でバージョンアップを開始するときは、先に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。
- 省電力モードが「ハイパフォーマンス（通信速度優先）」 でのバージョンアップをおすすめします。


ディスプレイメニューからのバージョンアップ

本製品のディスプレイに「新しいファームウェアが見つかりました。更新しますか？」と表示された場合は、新しいファームウェアが存在しています。その場合、ディスプレイで「はい」を選択・決定してファームウェアの更新を行うことができます。ただし、本製品をクレードル（別売）に接続し、Wi-Fi アクセスポイントモードで使用している場合は、ファームウェアの更新ができません。本製品をクレードル（別売）から外して「アクセスポイントモード」が「OFF」設定（ルータモード）のときに行ってください。

- 本製品からインターネットに接続できている必要があります。
- 本機能は、「ファームウェア更新通知機能」の設定が「ON」に設定されている必要があります。工場出荷時は「ON」に設定されています。
「ファームウェア更新通知機能」の設定は、クイック設定 Web の「詳細設定」-「その他の設定」-「補助設定」で行います。（▶ P.94）

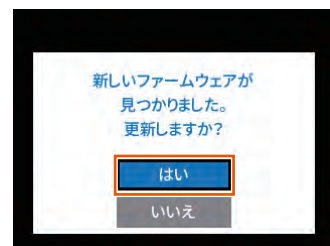
！ ご注意

- ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が41%未満のときは、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合（電池状態：、、、）には、十分に充電してから行ってください。
(充電中は電池残量が41%未満でもバージョンアップできます。)
- データ通信量超過通知機能が「通知して通信を停止」設定し、現在のデータ通信量が「通知する設定値」まで残り90MB未満の場合、ファームウェアダウンロードが中断される場合があります。

- 1 ディスプレイがホーム画面表示されていることを確認する
ディスプレイにホーム画面が表示されていることを確認してください。
消灯している場合は電源ボタン  を押して表示させてください。
- 2 ホーム画面-「クイックメニュー」-「ファームウェア更新」を選択・決定する



- 3 ディスプレイに「新しいファームウェアが見つかりました。更新しますか？」と表示されたら、「はい」を選択・決定する



- 4 ディスプレイに「ファームウェアダウンロード中」と表示される
バージョンアップ中はWAN側接続はいったん切断されます。



！ ご注意


- ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- ディスプレイに「ファームウェアの更新に失敗しました。」と表示されたら、「終了」を選択・決定して、手順 1 からやり直してください。

- 5 自動で再起動し、ディスプレイがホーム画面表示されたらファームウェアの更新は完了です

クイック設定 Web 画面でのバージョンアップ

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。

！ ご注意

- 本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。
- ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が41%未満のときは、バージョンアップをすることができません。電池残量が少ない場合（電池状態：）には、十分に充電してから行ってください。
(充電中は電池残量が41%未満でもバージョンアップできます。)
- データ通信量超過通知機能が「通知して通信を停止」設定し、現在のデータ通信量が「通知する設定値」まで残り90MB未満の場合、ファームウェアダウンロードが中断される場合があります。

1 パソコンまたはスマートフォンを起動する

本製品とパソコンまたはスマートフォンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に

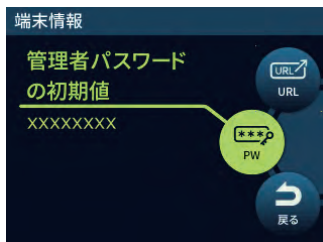
「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

3 ログイン画面で、管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックまたはタップする

[パスワード] には管理者パスワードを入力してください。

- ・ 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.80) または「クイック設定 Web を起動する」(▶ P.79) を参照してください。
- ・ 「管理者パスワードの初期値」は、ディスプレイの端末情報画面で確認できます。

操作方法：ホーム画面－「情報」－「端末情報」－「端末情報」－「管理者パスワードの初期値」



4 「メンテナンス」の「ファームウェア更新」をクリックまたはタップする

5 「ファームウェア更新」の「確認 / 更新」をクリックまたはタップする



！ ご注意

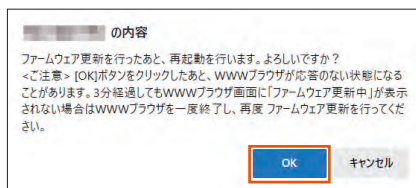
- ファームウェアの確認中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア取得失敗」と表示されたら、[Top Page] をクリックし、手順 3 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

- 6 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンへ更新] をクリックまたはタップする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。



- 7 [OK] をクリックまたはタップする

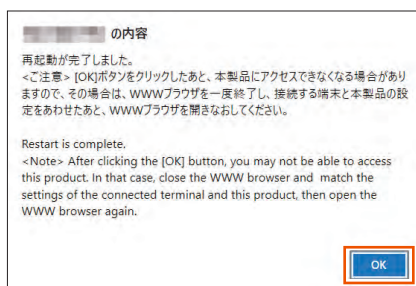


- 8 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。しばらくお待ちください」と表示される

! ご注意

- ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア更新失敗」と表示されたら、[Top Page] をクリックし、手順 3 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

- 9 [OK] をクリックまたはタップする



11-2 故障とお考えになる前に

本書を参照して設定を行っても、インターネット接続ができない場合など、お困りのときは、以下の項目をご確認ください。

症状	原因と対策
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定の充電用機器（別売）をご使用ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ クレードル（別売）使用時は、TypeC 共通 AC アダプタ 01 (0601PQA)（別売）、TypeC 共通 AC アダプタ 01U (0601PQV)（別売）または TypeC 共通 AC アダプタ 02 (0602PQA)（別売）の使用を推奨します。 ● 以下の状態により、充電できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電池寿命を長持ちさせるために充電を停止することがあります。 ・ 電源 ON の状態で長時間充電を続けると、電池保護のため自動的に電池残量を徐々に減少させて「ロングライフ充電」の状態（最大充電容量が約 70%）になります。 ・ 電池残量が約 80%以上の状態では、充電を開始しない場合があります。 ・ ロングライフ充電を「ON」に設定した場合、電池残量が約 60%以上の状態では、充電を開始しない場合があります。 ● AC アダプタ（別売）またはクレードル（別売）との接続をいったん外して、10 秒以上待ってから再度接続すると、充電を再開します。
電池残量が減るのが早く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ● 省電力モードが「ハイパフォーマンス（通信速度優先）」モードに設定されているときは、「エコ」モードに変更してください。 ● 「2.4G/5G 同時」に設定すると、電池消費が早くなります。「Wi-Fi 周波数設定」を「5GHz（屋内）」、「5GHz（屋外）」、「5GHz（屋外、144ch 有）」、または「2.4GHz」に設定変更してください。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池残量がない場合は、充電してください。（▶ P.19）
電源が切れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池残量がありません。充電してください。（▶ P.19） ● 下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に電源を OFF にします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 直射日光に当たるところで使用した場合 ・ 高温下で充電しながら使用した場合 ・ かばんなどに入れて密封して使用した場合 <p>その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。</p>
インターネットに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● サービスエリア内であることを確認してください。 ● 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良い場所でもう一度接続してください。 ● ディスプレイに「ST」または「+A」のアイコンが表示されないときは、クイック設定 Web を起動し、インターネット接続が正しく設定されていることを確認してください。 ● ご契約された WiMAX 事業者から接続先情報が提供されている場合は、正しく設定されているかクイック設定 Web などで確認してください。 ● Windows® 10 で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」（▶ P.70）が有効になっているとネットワークに接続できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 本製品の「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を無効にするか、以下の手順で接続を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、「ネットワークと共有センターを開く」 - 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする ② 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」をクリックする ③ ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーを入力して「次へ」をクリックする <p>その際、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」のチェックを入れてください。</p>

症状	原因と対策
通信がすぐ切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波状態が良くない場合があります。電波受信レベルを確認し、電波状態の良いところに移動してください。 ● 電池残量を確認してください。電池残量が少ない場合は、充電してから接続し直してください。 ● 本製品とパソコンなどが無線 LAN (Wi-Fi®) や USB ケーブル（市販品）で正しく接続されているか確認してください。 ● 本製品とパソコンなどが無線 LAN (Wi-Fi®) で接続している場合は、本製品を再起動してください。 ● 周辺に複数のアクセスポイントが設置されているなど、他のネットワークからの電波干渉がある場合は、本製品の「使用チャンネル」を変更することで改善される場合があります。（▶ P.86） ● 最新のファームウェアであることを確認してください。（確認方法：ホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「詳細設定」 - 「メンテナンス」 - 「ファームウェア更新」）ファームウェアのバージョンアップ方法は、「11-1 ファームウェアを更新する」を参照してください。（▶ P.110） ● ディスプレイメニューまたはクイック設定 Web 画面で「Wi-Fi 暗号化強化」を「使用しない」に設定または「OFF」にすることで接続できる場合があります。
通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続先が混雑している場合があります。時間を置いて再度試してください。 ● 近くに隣接する無線チャンネルを使っている人がいる、または「チャンネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth® 機能などの電波を発射する装置で電波干渉がある。 <ul style="list-style-type: none"> → クイック設定 Web を起動して「Wi-Fi 設定」 - 「Wi-Fi 設定」の「2.4GHz 設定」で「使用チャンネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャンネルから 4 チャンネル以上ずらすようにしてください。 ● 本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が近すぎる <ul style="list-style-type: none"> → 1m 以上離してください。 ● 「帯域設定」（▶ P.86）を「5GHz（屋外 144ch 含む）」に設定している場合、「5GHz（屋外 144ch 含まない）」に変更すると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては通信が安定する場合があります。
無線 LAN (Wi-Fi®) 接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスプレイメニューまたはクイック設定 Web 画面で「Wi-Fi 暗号化強化」を「使用しない」に設定または「OFF」にすると接続できる場合があります。 ● Windows® 10 で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」が有効になっている本製品と接続できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 本製品の「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を無効にするか、以下の手順で接続を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、「ネットワークと共有センターを開く」 - 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする ② 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」をクリックする ③ ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーを入力して「次へ」をクリック <p>その際、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」のチェックを入れてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電波状態やご利用帯域によっては、WPS を使った無線 LAN (Wi-Fi®) 接続ができない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 手動での無線 LAN (Wi-Fi®) 接続を行ってください。 ● 本製品の暗号化モード（▶ P.86）を「WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)」に設定してお使いの際に、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の暗号化モードが「TKIP」で接続できない場合は、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の暗号化設定を「AES」に変更すると、接続できる場合があります。 ● 本製品は IEEE 802.11ax 技術を利用し、複数の端末と同時に安定した通信を実現するため、「IEEE 802.11ax モード」の初期設定は「ON」に設定されています。（▶ P.86） <ul style="list-style-type: none"> 「IEEE 802.11ax モード」を「OFF」にすると、接続できる場合があります。 ● 本製品は、「暗号化モード」の初期設定は「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」に設定されています。（▶ P.86） <ul style="list-style-type: none"> 「WPA2-PSK (AES)」または「WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)」を選択すると、接続できる場合があります。 ● 「帯域設定」（▶ P.86）を「5GHz（屋外 144ch 含む）」に設定している場合、144 チャンネルに対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、本製品と通信できなくなる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> 「5GHz（屋外 144ch 含まない）」に変更すると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては接続できる場合があります。

症状	原因と対策
Web ブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● プロキシの設定をしていませんか → プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [LAN にプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「http://192.168.179.1/」を入れる ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(▶ P.24) ● 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続してクイック設定 Web を表示させる場合、ゲスト SSID に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続していると、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末から SSID に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続してクイック設定 Web を表示してください。 ● 本製品をクレードル (別売) から外して「アクセスポイントモード」を「OFF」設定 (ルータモード) にしてからクイック設定 Web を開いてください。 ● JavaScript が無効に設定されている → Web ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(▶ P.25) ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。
Web ブラウザでクイック設定 Web にアクセスすると、管理者パスワードを要求される	<ul style="list-style-type: none"> ● Web ブラウザでクイック設定 Web にアクセスすると、管理者パスワードを要求されます。 → [パスワード] には、Web ブラウザでクイック設定 Web に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。(▶ P.30、80) ● 管理者パスワードの初期値は、本製品のディスプレイで確認できます。 操作方法：ホーム画面 - 「情報」 - 「端末情報」 - 「端末情報」 - 「管理者パスワードの初期値」
管理者パスワードがわからない、忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(▶ P.76) ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」 - 「設定値の保存 & 復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをおすすめします。(▶ P.80、95) ● 管理者パスワードの初期値は、本製品のディスプレイで確認できます。 操作方法：ホーム画面 - 「情報」 - 「端末情報」 - 「管理者パスワードの初期値」

症状	原因と対策
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.179.XXX は、ハードウェアのアドレスが ... と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	<ul style="list-style-type: none"> ● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 < IP アドレスの再取得 > < Windows[®] 10/8.1 の場合 > ① [Windows] キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする ③ [ipconfig/release] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④ [ipconfig/renew] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < macOS の場合 > 以下は macOS v10.12 の場合の例です。 ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [ネットワーク] 画面で [Wi-Fi] を選択し、[詳細] をクリックする ③ [TCP/IP] タブをクリックする ④ [DHCP リースを更新] をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < iOS/iPadOS の場合 > 以下は iOS 11.4 の場合の例です。 ① ホーム画面の [設定] アイコンをタップする ② 設定メニューの [Wi-Fi] をタップする ③ チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある ⓘ ボタンをタップする ④ [リースを更新] をタップする ⑤ [リースを更新] をタップする
本製品のバージョンを確認したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品のディスプレイで、ホーム画面 - 「情報」 - 「端末情報」で「ファームウェアバージョン」で確認します。 ● クイック設定 Web トップページ「装置情報」欄で確認します。
ブラウザからの応答がなくなりました	<ul style="list-style-type: none"> ● クイック設定 Web では、[設定] をクリックすると設定値は即時有効となりますので、「詳細設定」 - 「LAN 側設定」、または [Wi-Fi 設定] - 「Wi-Fi 設定」の設定を変更して、[設定] をクリックすると Web ブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったんクイック設定 Web を終了させてください。(Wi-Fi 設定を変更した場合は、本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末との無線設定をし直して、接続を確立させてください。)
ボタンでディスプレイの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の手順で一度強制的に電源 OFF してから再度電源を入れてください。 ① 本製品のディスプレイに「NEC」と表示されるまで (約 10 秒間) 電源ボタンを長押しして、強制的に電源 OFF する。 ② ディスプレイ消灯後に、再度ディスプレイに「NEC」と表示されるまで電源ボタンを長押しして電源を入れる。
本製品をクレードル (別売) に設置すると再起動する	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fi アクセスポイントモードになっています。本製品をクレードル (別売) から着脱するたびに再起動します。Wi-Fi アクセスポイントモードを無効にする場合はクイック設定 Web で、「詳細設定」 - 「その他の設定」 - 「クレードル接続時の動作モード設定」で「アクセスポイントモード」を「OFF」にしてください。
本製品を工場出荷時の状態に戻したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品のディスプレイメニューで、ホーム画面 - 「クイックメニュー」 - 「詳細設定」 - 「メンテナンス」 - 「初期化」を選択・決定します。本製品を初期化すると、すべての設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

11-3 アフターサービスについて

修理を依頼されるときは (au をご契約の場合)

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客さまが新規ご購入された日より1年間です。

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いの au の端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、au アフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客さまへ返却することはできません。
- 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバーズエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。
- 本製品の本体以外の付属品は無償修理保証の対象外です。

補修用性能部品について

当社は Speed Wi-Fi 5G X11 本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

故障紛失サポートについて (au をご契約の場合)

au の端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。

月額利用料およびサービスの詳細については、au ホームページをご確認ください。

<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>

- ご入会は、au の端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回の au の端末のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のある au の端末のみが本サービスの提供対象となります。
- au の端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しい au の端末をご購入いただいた場合、以前にご利用の au の端末に対する故障紛失サポートは自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

SIM カードについて

SIM カードは、ご契約された通信事業者からお客さまにお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、ご契約された通信事業者までお問い合わせください。

11-4 周辺機器

充電するときやパソコンなどとの接続に使用可能な周辺機器は以下の通りです。

<au をご契約の場合>

X11 クレードル^(*1) NARO1PUA(別売)

TypeC 共通 AC アダプタ 01^(*2) 0601PQA (別売)

TypeC 共通 AC アダプタ 02^(*2) 0602PQA (別売)

<au 以外の WiMAX 事業者をご契約の場合>

X11 クレードル^(*1) NARO1PUU(別売)

TypeC 共通 AC アダプタ 01U^(*2) 0601PQV (別売)

(*1) 本製品と X11 クレードル (別売) を接続するときは、クレードルに同梱されている『X11 クレードル取扱説明書』を参照してください。

(*2) 本製品を X11 クレードル (別売) にセットして充電するときは、TypeC 共通 AC アダプタ 01 (別売)、TypeC 共通 AC アダプタ 01U (別売)、または TypeC 共通 AC アダプタ 02 (別売) のご使用を推奨します。

※ 周辺機器は、au オンラインショップでご購入いただけます。商品によってはお取り扱いを終了している場合がございます。

<https://onlineshop.au.com/>

※ 最新の対応周辺機器については、ご契約の通信事業者のホームページをご覧ください。

11-5 製品仕様

Speed Wi-Fi 5G X11 本体仕様

項目		諸元および機能		備考
WAN インタ フェース	5G/ LTE/WiMAX 2+	周波数範囲	5G 4G LTE WiMAX 2+	
		伝送速度 (*1)	スタンダード (ST) モード 下り最大: 2.7Gbps 上り最大: 183Mbps プラスエリア (+A) モード 下り最大: 2.7Gbps 上り最大: 183Mbps	
		アンテナ	5G/WiMAX 2+:送信 1 × 受信 4(内蔵アンテナ)	
			LTE:送信 1 × 受信 2(内蔵アンテナ) LTE、UMTS	
無線 LAN (Wi-Fi®) イ ンタフェー ス	IEEE802.11ax	周波数範囲 /チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*2) 5GHz 帯 W52、W56 (*3)	
		伝送速度 (*1)	最大 1,201Mbps	
	IEEE802.11ac	周波数範囲 /チャンネル	5GHz 帯 W52、W56 (*3)	
		伝送速度 (*1)	最大 867Mbps	
	IEEE802.11n	周波数範囲 /チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*2) 5GHz 帯 W52、W56 (*3)	
		伝送速度 (*1)	最大 300Mbps	
	IEEE802.11a	周波数範囲 /チャンネル	5GHz 帯 W52、W56 (*3)	
		伝送速度 (*1)	最大 54Mbps	
	IEEE802.11g	周波数範囲 /チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*2)	
		伝送速度 (*1)	最大 54Mbps	
IEEE802.11b	周波数範囲 /チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*2)		
	伝送速度 (*1)	最大 11Mbps		
	アンテナ	送信 2 × 受信 2 (内蔵アンテナ)		
	セキュリティ	SSID、MAC アドレスフィルタリング、ブライ パシーセパレータ機能、WPA2-PSK (AES)、 WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)、WPA3- SAE(AES)、WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)		
最大同時接続数 (*4)		Wi-Fi® : 16 台 / USB : 1 台 2.4GHz/5GHz 同時通信可能		
Bluetooth® インタフェース (*5)	対応バー ジョン	Bluetooth 5.1 ワイヤレステクノ ロジー準拠		
	周波数範囲	2.4GHz 帯 2,402 ~ 2,480MHz 79ch		
外部インタ フェース	USB ポート	USB 3.0 Super Speed Type C コネクタ × 1	USB 2.0 以上推奨 (*6)	
	クレードル ポート	USB ポート兼用		
	SIM カードス ロット	au Nano IC Card O4 LE または au Nano IC Card O4 LE U × 1		
連続動作時 間	連続通信時間 (*1) (*7) Wi-Fi® 接続 時	「ノーマル」モード	約 490 分	
		「エコ」モード	約 570 分	
連続待受時 間 (*7)	休止状態	約 400 時間		
	ウェイクティ ング時	約 35 時間		
ヒューマ ンインタ フェース	ディスプレイ	2.4 インチカラー LCD (320 × 240 ドット)		
	ボタン	電源 / 決定ボタン × 1、△ボタン × 1、 ▽ボタン × 1		

項目	諸元および機能	備考
外形寸法	約 136 (W) × 68 (H) × 14.8 (D) mm	
電池	リチウムイオン電池 公称電圧 3.8V / 定格容量 4,000mAh (内蔵タイプ)	
電源	5V DC/9V DC Max.1.5A	
消費電力	最大約 10W	本体のみ
質量	約 174g	
動作環境	温度 5 ~ 35℃、 湿度 35 ~ 85%	結露しないこと
充電時間	TypeC 共通 AC アダプタ 01 (O601PQA) (別売)、 TypeC 共通 AC アダプタ 01U (O601PQV) (別売)	約 190 分
	TypeC 共通 AC アダプタ 02 (O602PQA) (別売)	約 220 分
その他	日本製	

(*1) : 表記の通信速度はシステム上の最大速度となります。通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況などに応じて変化します。

(*2) : オートチャンネルセレクト時は、1 / 6 / 11ch

(*3) : [W52] 5.2GHz 帯 (5150 ~ 5250MHz) : 36 / 40 / 44 / 48ch ※屋内限定

[W56] 5.6GHz 帯 (5470 ~ 5725MHz) : 100 / 104 / 108 / 112 / 116 / 120 / 124 / 128 / 132 / 136 / 140 / 144ch

・ W53 (5.3GHz 帯) と W56 (5.6GHz 帯 : 132/136/140ch) は、ご利用できません。(2021 年 9 月現在)

(*4) : USB 接続または有線 LAN 接続と無線 LAN (Wi-Fi®) 接続を同時に利用した場合、合わせて最大 17 台まで接続できます。

(*5) : スマートフォンからのリモート起動に使用します。

本製品は Bluetooth® テザリング機能はありません。

(*6) : USB 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB 2.0 以上でのご使用をおすすめします。なお、すべてのパソコンについて動作保証するものではありません。

(*7) : お使いの通信ネットワークにより、連続待受時間・連続通信時間は変わります。

X11 クレードル (NAR01PUA/ NAR01PUU) (別売) 仕様

項目		諸元および機能	備考
Ethernet ポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1ポート	
	インタフェース	1000BASE-T/100BASE-TX	
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
ACアダプタ 接続ポート	物理インタフェース	USB コネクタ (Type C) (レ セプタクル) × 1ポート	USB 通信は できません。
クレードルポート (本体とのインタフェース)		USB コネクタ (Type C) (プラグ) × 1ポート	
状態表示ラ ンプ	POWER	電源通電時点灯	
	LINK	有線 LAN の通信状態表示	
クレードルアンテナ		無給電非接触アンテナ (2ストリーム)	
電源		5V DC	
外形寸法		約 156 (W) × 56 (H) × 52 (D) mm	
質量		約 99g	

※本製品の電源 ON 時に X11 クレードル (別売) で充電する場合は、消費電力が大きいため、TypeC 共通 AC アダプタ 01 (0601PQA) (別売)、TypeC 共通 AC アダプタ 01U (0601PQV) (別売) または TypeC 共通 AC アダプタ 02 (0602PQA) (別売) の使用を推奨します。

11-6 データ通信端末の比吸収率 (SAR) について

この機種 Speed Wi-Fi 5G X11 は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※ 1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合の SAR の最大値は 1.175W/kg（※ 2）です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

通信中は、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされるいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ：
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ：
<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
- NEC プラットフォームズ株式会社のホームページ：
<https://www.necplatforms.co.jp/support/wimax/x111/index.html>
- au のホームページ：
<https://www.au.com/mobile/product/sar-list/>
- UQ コミュニケーションズのホームページ：
https://www.uqwimax.jp/signup/body_s/

※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

※ 2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

11-7 FCC Notice (auをご契約の場合)

Federal Communication Commission Interference Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC Caution: Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Important safety information regarding radio frequency (RF) exposure and use when worn

The product "Speed Wi-Fi 5G X11" is declared to conform with the essential requirements of the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

This wireless portable device complies with the FCC requirements for exposure to radio waves.

Your wireless portable device is a radio transceiver and receiver. It is designed not to exceed the SAR*(Specific Absorption Rate) limits** for exposure to radiofrequency (RF) energy by the FCC Directives.

The Max. SAR* value is 0.95W/kg (1g) when it is worn on the body. To comply with the RF Exposure limits.

For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. During communication, please use an accessory designated for this product and which positions the device a minimum of 1.0cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

* The exposure standard for wireless portable devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit recommended by the FCC is 1.6W/kg averaged over 1g of tissue.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the wireless portable device while operating can be well below the maximum value. This is because the wireless portable device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radiation Exposure Statement

The product comply with the FCC portable RF exposure limit set forth for an uncontrolled environment and are safe for intended operation as described in this manual. The further RF exposure reduction can be achieved if the product can be kept as far as possible from the user body or set the device to lower output power if such function is available.

11-8 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客さまの責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

11-9 知的財産権について

商標について

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、Macintosh、Mac OS、macOS、OS X、iPadOS、AirMac、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- インテル、Intel は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chrome、Google Play は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、Wi-Fi CERTIFIED[®]、WPA[™]、WPA2[™]、WPA3[™]、Wi-Fi Protected Setup[™] とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth および Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。



- Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- USB Type-C[™] は、USB Implementers Forum の商標です。
- その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、® マークを省略している場合があります。

© NEC Platforms, Ltd. 2021

NEC プラットフォームズ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

11-10 索引

数字

2.4GHz 帯	11、16、34、54、58、86、117
4G LTE	117
5GHz 帯	11、16、34、54、58、86、102、117
5G (WAN 側回線)	14、16、51、84、117

[A ~ Z]

AC アダプタ	1、19、116、117
AC アダプタ接続ポート	17、118
AES	36、70、86、87、117
APN	50、85、100、101、103
au IC カード	1
au 世界サービス	1、105
Bluetooth® インタフェース	117
DHCP 固定割当設定	91
DHCP サーバ機能	91
ECO	63、89、100
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	70、86、87
Ethernet ポート	17、118
IEEE802.11a	117
IEEE802.11ac	117
IEEE802.11ax	117
IEEE802.11b	117
IEEE802.11g	117
IEEE802.11n	117
IPv4 パケットフィルタ設定	91
IPv6 パケットフィルタ設定	93
IP パケットフィルタリング	67
JavaScript	25
LAN 側設定	91、100
LINK ランプ	17
LTE	3、14、51、84、105、117
MAC アドレスフィルタリング	71、86、87、117
NAPT	72、94
NEC WiMAX +5G Tool	41、44、55、74
PIN コード管理	96
PIN 方式	47、88
POWER ランプ	17
SIM カード	1、10、18、103、115
取り付け	18
取り外し	18
SIM カードスロット	15、18、117
SSID	35、36、70、86、98、101、117
TKIP	70、86、117
UPnP	67、94、98
USB ケーブル	2、14、15、48
USB で接続する	24、48
USB ポート	15、48、117
WAN 側回線	16、50、51
Web ブラウザの設定	24、25
Wi-Fi QR コード	41、44、55、100
Wi-Fi 暗号化強化	86、100
Wi-Fi 周波数設定	30、80、86、100
Wi-Fi 情報	36、57、101
Wi-Fi 設定	86
Wi-Fi 設定お引越し	37、62、100
Wi-Fi 端末 (子機) 分離	71、86
WiMAX 2+	14、51、84、117
WPS	34、37、39、46、47、88、100

記号

△ボタン	3、15、28、117
▽ボタン	3、15、28、117

[ア行]

アクセスポイントモード	16、94
アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)	72
アフターサービス	1、115
暗号化	36、70、86、87
暗号化キー	34、36、73、86、87
安全上のご注意	7
ウェーティング	63、89、117
お知らせ機能	61

[カ行]

海外利用	1、106
外部インタフェース	117
各種機能の詳細設定	83
各部の名称と機能	15、17
画面ロック	12、21
管理者パスワードの変更	73、95
輝度調整	100
基本設定 (ネットワーク設定)	84
基本的な操作	28
休止状態	15、55、60、63、89、117
クイック設定 Web	24、29、55、73、77、79、102、111
～画面でのバージョンアップ	111
～で初期化する	77
～のトップページ	29、79
～を起動する	29、79
クイックメニュー	97、100
クイックメニュー画面	15、28
クイックメニュー画面 (スマートフォンアプリ)	57
グラフ	55
クリア	28、59、85
クレードル	14、16、17、94、116、118
クレードルポート	17、117、118
ゲスト SSID	16、35、36、87、98、100
決定ボタン	3、15、28、117
現在の状態	98
故障とお考えになる前に	113

[サ行]

再起動	21、35、59、97、102
材質一覧	9
時刻常時表示	15、94
自動省電力	63、89
自動消灯時間	16、19、21、63、89
充電時間	19、117
充電する	19
周辺機器	116
詳細設定	30、80、83、91、100
各種機能の～	83
～にログイン	30、80
～のトップページ設定画面	31、81
省電力モード	16、55、57、59、64、84、100、101
商標	122
情報	15、28、98、101
情報表示 (スマートフォンアプリ)	56
初期化	76、77、90、95、100、101
クイック設定 Web で～	77
設定値の～	95
ディスプレイメニューで～	76
初期パスワード	30、73、80
数字入力画面	15、28
スタンダードモード	14、16、51、58、66、84、85、117
ステータスアイコン	15、54
スマートフォンアプリ	41、44、55、73、74
製品仕様	117
セキュリティ機能	70
セキュリティ設定	86、90、94
接続状態	16、98

接続する	14、19、24、34、48
iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を～	44
Mac を～	40
USB で～	48
Windows パソコンを～	39
WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を～	47
ゲーム機を～	46
スマートフォンを～	41
タブレット (Android 端末) を～	41
無線 LAN (Wi-Fi®) で～	24、34
接続設定	25、37、50、84
接続設定ウィザード	55
接続台数	16、55、86
接続端末の準備	24
設定ウィザード	36、42、44、55、100
設定値の初期化	77、95
設定値の保存&復元	95、100
設定メッセージ表示	15
設定メニュー (スマートフォンアプリ)	58
その他の設定	94

[タ行]

ダイナミックポートコントロール機能	72
端末情報	23、57、98、102
知的財産権	122
注意事項	7
通信モード	14、51、55、84、100
通信量カウンター	56、85
通信量カウント	66、85、101
通信量設定	65、85、102
通信量表示	16、85
ディスプレイ表示	15
ディスプレイメニュー	36、100
～からのバージョンアップ	110
～で初期化する	76
データ通信量	16、30、55、66、80、84、85、101、103
データ通信量推移	55、65
電源ボタン	3、15、21、28、60、63、117
電源を入れる/切る	21
電池残量	16、19、21、23、55、89、102
電池残量表示	19、57、89、100
電池状態	16、19、29、79
点灯時間	63、100
電波受信レベル	16、51
同梱品一覧	2
取り扱い上のご注意	9
取扱説明書について	2

[ナ行]

内蔵電池	10、19
ネットワーク設定	58、84
ネットワーク分離	71、86
ネットワーク名 (SSID)	34、36、86、87、98

[ハ行]

バージョンアップ	95、110
クイック設定 Web 画面での～	111
ディスプレイメニューからの～	110
パスコード	21、90、100
パスワード	30、34、35、36、73、77、80、85、95、101
パソコンのネットワークの確認	24
比吸収率 (SAR)	119
ヒューマンインタフェース	117
ファームウェア更新	16、60、94、95、100、101、110
ファイアウォール	24
不正アクセス検出機能	72
プライバシーセパレータ機能	71、86、117
プラスエリアモード	14、16、51、58、84、85、117

ブリッジモード	16、67、94、100
プロファイル設定	50、55、85
便利な機能	53、67
ポートマッピング	67、93
ホーム画面	15、28
ホーム画面 (メニュー表示)	15、28
ボタン操作	28
本製品のご利用について	3
本製品の使いかた	14

[マ行]

マニュアル	98
無線 LAN (Wi-Fi®) 帯域	16、58、86
無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する	14、34
メイン画面 (スマートフォンアプリ)	55、56
メッセージ	15、61、103
メンテナンス	59、95、101
目次	5

[ヤ行]

輸出管理規制	121
読み替えについて	1、3

[ラ行]

ランプ表示	17
リセット	102
リチウムイオン電池	10、117
リモート起動	60、102
ログイン	29、30、55、79、80
ロングライフ充電	20、89、100、101、113

[ワ行]

ワンタイム+A	14、16、52、57、84、100
---------	--------------------

■ 本製品で使用しているソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客さまは、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL に従い、複製、頒布および改変することができます。詳細は、WiMAX Support Information ホームページを参照してください。

<https://www.necplatforms.co.jp/support/wimax/x11/index.html>

■ LK

```
/*
 * Copyright (c) 2008-2015 Travis Geiselbrecht
 *
 * Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining
 * a copy of this software and associated documentation files
 * (the "Software"), to deal in the Software without restriction,
 * including without limitation the rights to use, copy, modify, merge,
 * publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software,
 * and to permit persons to whom the Software is furnished to do so,
 * subject to the following conditions:
 *
 * The above copyright notice and this permission notice shall be
 * included in all copies or substantial portions of the Software.
 *
 * THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,
 * EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF
 * MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
 * IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY
 * CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT,
 * TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE
 * SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
 */
```

■ expat

Copyright (c) 1998-2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Copyright (c) 2001-2017 Expat maintainers

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the Software), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ fontconfig

fontconfig/COPYING

Copyright © 2000,2001,2002,2003,2004,2006,2007 Keith Packard

Copyright © 2005 Patrick Lam

Copyright © 2009 Roozbeh Pournader

Copyright © 2008,2009 Red Hat, Inc.

Copyright © 2008 Danilo Šegan

Copyright © 2012 Google, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of the author(s) not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior

permission. The authors make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THE AUTHOR(S) DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■ harfbuzz

HarfBuzz is licensed under the so-called "Old MIT" license. Details follow. For parts of HarfBuzz that are licensed under different licenses see individual files names COPYING in subdirectories where applicable.

Copyright © 2010,2011,2012 Google, Inc.

Copyright © 2012 Mozilla Foundation

Copyright © 2011 Codethink Limited

Copyright © 2008,2010 Nokia Corporation and/or its subsidiary(-ies)

Copyright © 2009 Keith Stribley

Copyright © 2009 Martin Hosken and SIL International

Copyright © 2007 Chris Wilson

Copyright © 2006 Behdad Esfahbod

Copyright © 2005 David Turner

Copyright © 2004,2007,2008,2009,2010 Red Hat, Inc.

Copyright © 1998-2004 David Turner and Werner Lemberg

For full copyright notices consult the individual files in the package.

Permission is hereby granted, without written agreement and without license or royalty fees, to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose, provided that the above copyright notice and the following two paragraphs appear in all copies of this software.

IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE TO ANY PARTY FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE AND ITS DOCUMENTATION, EVEN IF THE COPYRIGHT HOLDER HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THE COPYRIGHT HOLDER SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE SOFTWARE PROVIDED HEREUNDER IS ON AN "AS IS" BASIS, AND THE COPYRIGHT HOLDER HAS NO OBLIGATION TO PROVIDE MAINTENANCE, SUPPORT, UPDATES, ENHANCEMENTS, OR MODIFICATIONS.

■ jpeg

"this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

■ libcurl

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2019, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>, and many contributors, see the THANKS file.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

■ libffi

libffi - Copyright (c) 1996-2014 Anthony Green, Red Hat, Inc and others.

See source files for details.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ libpcap

License: BSD

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

■ OpenSSL 1.1.1

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts.

OpenSSL License

/* =====

- * Copyright (c) 1998-2019 The OpenSSL Project. All rights reserved.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- *
- * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- *
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in
- * the documentation and/or other materials provided with the
- * distribution.
- *
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
- * software must display the following acknowledgment:
- * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
- * for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
- *
- * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to

* endorse or promote products derived from this software without
* prior written permission. For written permission, please contact
* openssl-core@openssl.org.

* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
* permission of the OpenSSL Project.

* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
* acknowledgment:
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* =====

* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

* All rights reserved.

*

* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

*

* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*

* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.

* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.

* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions

* are met:

- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
 - * "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 - * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
 - * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

*/

■ libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2012 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ ncurses

Copyright (c) 1998-2017,2018 Free Software Foundation, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the Software), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization.

-- vile:txtmode fc=72

-- \$Id: COPYING,v 1.6 2018/01/01 12:00:00 tom Exp \$

■ pixman

The following is the 'standard copyright' agreed upon by most contributors, and is currently the canonical license, though a modification is currently under discussion. Copyright holders of new code should use this license statement where possible, and append their name to this list.

Copyright 1987, 1988, 1989, 1998 The Open Group
Copyright 1987, 1988, 1989 Digital Equipment Corporation
Copyright 1999, 2004, 2008 Keith Packard
Copyright 2000 SuSE, Inc.
Copyright 2000 Keith Packard, member of The XFree86 Project, Inc.
Copyright 2004, 2005, 2007, 2008 Red Hat, Inc.
Copyright 2004 Nicholas Miell
Copyright 2005 Lars Knoll & Zack Rusin, Trolltech
Copyright 2005 Trolltech AS
Copyright 2007 Luca Barbato
Copyright 2008 Aaron Plattner, NVIDIA Corporation
Copyright 2008 Rodrigo Kumpeta
Copyright 2008 André Tupinambá
Copyright 2008 Mozilla Corporation
Copyright 2008 Frederic Plourde

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice (including the next paragraph) shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ zlib

ZLIB DATA COMPRESSION LIBRARY

zlib 1.2.11 is a general purpose data compression library. All the code is thread safe. The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments) 1950 to 1952 in the files <http://tools.ietf.org/html/rfc1950> (zlib format), [rfc1951](http://tools.ietf.org/html/rfc1951) (deflate format) and [rfc1952](http://tools.ietf.org/html/rfc1952) (gzip format).

All functions of the compression library are documented in the file `zlib.h` (volunteer to write man pages welcome, contact zlib@gzip.org). A usage example of the library is given in the file `test/example.c` which also tests that the library is working correctly. Another example is given in the file `test/minigzip.c`. The compression library itself is composed of all source files in the root directory.

To compile all files and run the test program, follow the instructions given at the top of `Makefile.in`. In short `./configure; make test`, and if that goes well, `make install` should work for most flavors of Unix. For Windows, use one of the special makefiles in `win32/` or `contrib/vstudio/`. For VMS, use `make_vms.com`.

Questions about zlib should be sent to zlib@gzip.org, or to Gilles Vollant info@winimage.com for the Windows DLL version. The zlib home

page is <http://zlib.net/> . Before reporting a problem, please check this site to verify that you have the latest version of zlib; otherwise get the latest version and check whether the problem still exists or not.

PLEASE read the zlib FAQ http://zlib.net/zlib_faq.html before asking for help.

Mark Nelson <markn@ieee.org> wrote an article about zlib for the Jan. 1997 issue of Dr. Dobbs's Journal; a copy of the article is available at <http://marknelson.us/1997/01/01/zlib-engine/> .

The changes made in version 1.2.11 are documented in the file ChangeLog.

Unsupported third party contributions are provided in directory contrib/ .

zlib is available in Java using the `java.util.zip` package, documented at <http://java.sun.com/developer/technicalArticles/Programming/compression/> .

A Perl interface to zlib written by Paul Marquess <pmqs@cpan.org> is available at CPAN (Comprehensive Perl Archive Network) sites, including <http://search.cpan.org/~pmqs/IO-Compress-Zlib/> .

A Python interface to zlib written by A.M. Kuchling <amk@amk.ca> is available in Python 1.5 and later versions, see <http://docs.python.org/library/zlib.html> .

zlib is built into tcl: <http://wiki.tcl.tk/4610> .

An experimental package to read and write files in .zip format, written on top of zlib by Gilles Vollant <info@winimage.com>, is available in the contrib/minizip directory of zlib.

Notes for some targets:

- For Windows DLL versions, please see WIN32/DLL_FAQ.txt
- For 64-bit Irix, deflate.c must be compiled without any optimization. With -O, one libpng test fails. The test works in 32 bit mode (with the -n32 compiler flag). The compiler bug has been reported to SGI.
- zlib doesn't work with gcc 2.6.3 on a DEC 3000/300LX under OSF/1 2.1 it works when compiled with cc.
- On Digital Unix 4.0D (formerly OSF/1) on AlphaServer, the cc option -std1 is necessary to get gzprintf working correctly. This is done by configure.
- zlib doesn't work on HP-UX 9.05 with some versions of /bin/cc. It works with other compilers. Use "make test" to check your compiler.
- gzdopen is not supported On RISCOS or BEOS.
- For PalmOs, see <http://palmzlib.sourceforge.net/>

Acknowledgments:

The deflate format used by zlib was defined by Phil Katz. The deflate and zlib specifications were written by L. Peter Deutsch. Thanks to all the people who reported problems and suggested various improvements in zlib; they are too numerous to cite here.

Copyright notice:

(C) 1995-2017 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

■ wpa_supplicant / hostapd
wpa_supplicant and hostapd

Copyright (c) 2002-2019, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors All Rights Reserved.

See the README file for the current license terms.

This software was previously distributed under BSD/GPL v2 dual license terms that allowed either of those license alternatives to be selected. As of February 11, 2012, the project has chosen to use only the BSD license option for future distribution. As such, the GPL v2 license option is no longer used. It should be noted that the BSD license option (the one with advertisement clause removed) is compatible with GPL and as such, does not prevent use of this software in projects that use GPL.

Some of the files may still include pointers to GPL version 2 license terms. However, such copyright and license notifications are maintained only for attribution purposes and any distribution of this software after February 11, 2012 is no longer under the GPL v2 option.

■ HTTP-Client

```
/* -
 * Copyright (c) 1998 Dag-Erling Coodan Smxrgrav
 * All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer
 * in this position and unchanged.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 * documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. The name of the author may not be used to endorse or promote products
 * derived from this software without specific prior written permission
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR
 * IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
 * OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
 * IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
 * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
 * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
 * (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
 * THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 */
```

■ iperf

Copyright (c) 1999-2007, The Board of Trustees of the University of Illinois All Rights Reserved.

Iperf performance test

Mark Gates

Ajay Tirumala

Jim Ferguson

Jon Dugan

Feng Qin

Kevin Gibbs

John Estabrook

National Laboratory for Applied Network Research

National Center for Supercomputing Applications

University of Illinois at Urbana-Champaign

<http://www.ncsa.uiuc.edu>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (Iperf) and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of the University of Illinois, NCSA, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission. THE SOFTWARE IS PROVIDED AS IS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ iw

Copyright (c) 2007, 2008

Johannes Berg

Copyright (c) 2007

Andy Lutomirski

Copyright (c) 2007

Mike Kershaw

Copyright (c) 2008-2009

Luis R. Rodriguez

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■ MiniUPnPd

MiniUPnPd

Copyright (c) 2006-2019, Thomas BERNARD All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,

INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ tcpdump

License: BSD

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

■ Info-ZIP

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.

The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

■ SIL Open Font License 1.1

SIL OPEN FONT LICENSE

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

Font Software refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

Reserved Font Name refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

Original Version refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

Modified Version refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting - in part or in whole - any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

Author refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

■ lua
Lua License

Lua is licensed under the terms of the MIT license reproduced below. This means that Lua is free software and can be used for both academic and commercial purposes at absolutely no cost.

For details and rationale, see <http://www.lua.org/license.html>.

=====
Copyright (C) 1994-2012 Lua.org, PUC-Rio.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

=====
■ OpenSSH

This file is part of the OpenSSH software.

The licences which components of this software fall under are as follows. First, we will summarize and say that all components are under a BSD licence, or a licence more free than that.

OpenSSH contains no GPL code.

1)

- * Copyright (c) 1995 Tatu Ylonen <ylo@cs.hut.fi>, Espoo, Finland
- * All rights reserved
- *
- * As far as I am concerned, the code I have written for this software
- * can be used freely for any purpose. Any derived versions of this
- * software must be clearly marked as such, and if the derived work is
- * incompatible with the protocol description in the RFC file, it must be
- * called by a name other than "ssh" or "Secure Shell".

[Tatu continues]

- * However, I am not implying to give any licenses to any patents or
- * copyrights held by third parties, and the software includes parts that
- * are not under my direct control. As far as I know, all included
- * source code is used in accordance with the relevant license agreements
- * and can be used freely for any purpose (the GNU license being the most
- * restrictive); see below for details.

[However, none of that term is relevant at this point in time. All of these restrictively licenced software components which he talks about have been removed from OpenSSH, i.e.,

- RSA is no longer included, found in the OpenSSL library
- IDEA is no longer included, its use is deprecated
- DES is now external, in the OpenSSL library
- GMP is no longer used, and instead we call BN code from OpenSSL
- Zlib is now external, in a library
- The make-ssh-known-hosts script is no longer included
- TSS has been removed
- MD5 is now external, in the OpenSSL library
- RC4 support has been replaced with ARC4 support from OpenSSL

- Blowfish is now external, in the OpenSSL library

[The licence continues]

Note that any information and cryptographic algorithms used in this software are publicly available on the Internet and at any major bookstore, scientific library, and patent office worldwide. More information can be found e.g. at "<http://www.cs.hut.fi/crypto>".

The legal status of this program is some combination of all these permissions and restrictions. Use only at your own responsibility. You will be responsible for any legal consequences yourself; I am not making any claims whether possessing or using this is legal or not in your country, and I am not taking any responsibility on your behalf.

NO WARRANTY

BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

3)

ssh-keyscan was contributed by David Mazieres under a BSD-style license.

* Copyright 1995, 1996 by David Mazieres <dm@lcs.mit.edu>.

*

* Modification and redistribution in source and binary forms is

* permitted provided that due credit is given to the author and the

* OpenBSD project by leaving this copyright notice intact.

4)

The Rijndael implementation by Vincent Rijmen, Antoon Bosselaers and Paulo Barreto is in the public domain and distributed with the following license:

* @version 3.0 (December 2000)

*

* Optimised ANSI C code for the Rijndael cipher (now AES)

*

* @author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>

* @author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>

* @author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>

*

* This code is hereby placed in the public domain.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS "AS IS" AND ANY EXPRESS

* OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED

* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE

* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE

* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR

* CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF

* SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR

* BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,

* WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE

* OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE,

* EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

5)

One component of the ssh source code is under a 3-clause BSD license, held by the University of California, since we pulled these parts from original Berkeley code.

* Copyright (c) 1983, 1990, 1992, 1993, 1995

* The Regents of the University of California. All rights reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions

* are met:

* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the

* documentation and/or other materials provided with the distribution.

* 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors

* may be used to endorse or promote products derived from this software

* without specific prior written permission.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND

* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE

* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE

* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE

* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL

* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS

* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY

* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF

* SUCH DAMAGE.

6)

Remaining components of the software are provided under a standard 2-term BSD licence with the following names as copyright holders:

Markus Friedl

Theo de Raadt

Niels Provos

Dug Song

Aaron Campbell

Damien Miller

Kevin Steves

Daniel Kouril

Wesley Griffin

Per Allansson

Nils Nordman

Simon Wilkinson

Portable OpenSSH additionally includes code from the following copyright holders, also under the 2-term BSD license:

Ben Lindstrom

Tim Rice

Andre Lucas

Chris Adams

Corinna Vinschen

Cray Inc.

Denis Parker

Gert Doering

Jakob Schlyter

Jason Downs

Juha Yrjola
Michael Stone
Networks Associates Technology, Inc.
Solar Designer
Todd C. Miller
Wayne Schroeder
William Jones
Darren Tucker
Sun Microsystems
The SCO Group
Daniel Walsh
Red Hat, Inc
Simon Vallet / Genoscope

- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR
- * IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
- * OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
- * IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
- * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
- * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
- * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
- * THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
- * (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
- * THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

8) Portable OpenSSH contains the following additional licenses:

a) md5crypt.c, md5crypt.h

- * "THE BEER-WARE LICENSE" (Revision 42):
- * <phk@login.dknet.dk> wrote this file. As long as you retain this
- * notice you can do whatever you want with this stuff. If we meet
- * some day, and you think this stuff is worth it, you can buy me a
- * beer in return. Poul-Henning Kamp

b) snprintf replacement

- * Copyright Patrick Powell 1995
- * This code is based on code written by Patrick Powell
- * (papowell@astart.com) It may be used for any purpose as long as this
- * notice remains intact on all source code distributions

c) Compatibility code (openbsd-compat)

Apart from the previously mentioned licenses, various pieces of code in the openbsd-compat/ subdirectory are licensed as follows:

Some code is licensed under a 3-term BSD license, to the following copyright holders:

Todd C. Miller
Theo de Raadt

Damien Miller
Eric P. Allman
The Regents of the University of California
Constantin S. Svintsoff

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors
* may be used to endorse or promote products derived from this software
* without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.

Some code is licensed under an ISC-style license, to the following copyright holders:

Internet Software Consortium.
Todd C. Miller
Reyk Floeter
Chad Mynhier

* Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any
* purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above
* copyright notice and this permission notice appear in all copies.
*
* THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND TODD C. MILLER DISCLAIMS ALL
* WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES
* OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL TODD C. MILLER BE LIABLE
* FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES
* WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION
* OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN
* CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Some code is licensed under a MIT-style license to the following copyright holders:

Free Software Foundation, Inc.

* Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a
* copy of this software and associated documentation files (the
* "Software"), to deal in the Software without restriction, including
* without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish,
* distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell
* copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is
* furnished to do so, subject to the following conditions:
*

*
* The above copyright notice and this permission notice shall be included
* in all copies or substantial portions of the Software.
*
* THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS
* OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF
* MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
* IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM,
* DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR
* OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR
* THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
*
* Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright
* holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the
* sale, use or other dealings in this Software without prior written
* authorization.
*****/

\$OpenBSD: LICENCE.v 1.20 2017/04/30 23:26:16 djm Exp \$

<auをご契約の場合>

auサポート

- 請求金額/データ通信料/ポイントの照会
- 住所やお支払い方法などの変更手続き

- サービスのお申し込みやデータチャージ
- 操作・設定方法のご確認&サポート



アプリや Web サイトなら、その場で解決。

auホームページ <https://www.au.com/>



My auアプリ

ご利用料金、ポイント、ご契約内容などの確認や、各種お手続きができます。

ダウンロードは
コチラ



auサポート (web)

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

詳細は
コチラ



または で検索



メッセージ

24 時間お問い合わせを受付しています。
電話しにくい場所や時間帯でも、
気軽に利用できます。

● お問い合わせ方法

QR コードへアクセスし、お好きなアプリでお問い合わせください。

対応アプリ：My au、LINE、+メッセージ



詳細は
コチラ



電話

お問い合わせ内容ごとの直通番号を au ホームページでご案内しています。

詳細は
コチラ



または で検索

お客さまセンター (年中無休 / 通話料無料)

au 携帯電話から

au 携帯電話以外 / 一般電話から

左記番号が繋がらない場合

総合案内 (受付 9:00~20:00)

局番なし 157

0077-7-111

0120-977-033

盗難・紛失・故障案内 (24 時間受付)

局番なし 113

0077-7-113

0120-925-314

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます (メンテナンス時を除く)。

【故障紛失サポート会員向けサービス】

故障紛失サポートセンター (年中無休 / 通話料無料)

au 携帯電話 / au 携帯電話以外 / 一般電話から

故障相談・交換用電話機お届けサービス受付
(受付 9:00~20:00)

0120-925-919

<au以外のWiMAX事業者をご契約の場合>

ご契約された WiMAX 事業者へお問い合わせください。



濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



衝撃や過度な外圧を加えると、電池
の破損・変形等により発煙・発火等
の原因となり大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHS のリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用
するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・
充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお
店で回収し、リサイクルを行っています。